

平成27年度

# 市民まちづくりアンケート

【集計結果】

まちづくりにあなたのご意見を

平成27年 8 月

帯広市

(政策推進部企画課)

# 目次

① アンケートの概要	.....	1
② アンケート回答者の属性	.....	2
○あなたの性別は？ ○あなたの年齢は？	.....	2
○あなたの職業は？ ○あなたの居住年数は？	.....	3
○お住まいの地区	.....	4
③ 住みごころ	.....	5
○帯広市の住みごころは？	.....	5
④ 定住意識	.....	7
○これからも帯広市に住み続けたい？	.....	7
○住み続けたい理由は？	.....	9
○移りたい地域は？	.....	10
○移りたい理由は？	.....	11
⑤ まちづくりに対する市民実感	.....	12
○市民実感度順位	.....	14
○市民実感度	.....	16
⑥ 協働のまちづくり	.....	67
⑦ 自由記述意見（まちづくりに対する意見・提案）	.....	74
参考資料 市民まちづくりアンケート票	.....	75
○市民まちづくりアンケート A票	.....	76
○市民まちづくりアンケート B票	.....	91

# 1

## アンケートの概要

### ◇目的

このアンケートは、帯広市の住みごちやまちづくりについて、市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」などを調査するために実施しています。  
アンケート結果は、第六期帯広市総合計画を効果的・効率的にすすめるための政策・施策評価や市の仕事を効率的に行うための重要な情報として活用します。

### ◇内容

このアンケートは、大きく次の3区分について実施しました。  
 (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問1～9)  
 (2) 市民実感について・・・(問10～34)  
 (3) 協働のまちづくりについて・・・(問35～42)  
 ※市民実感についての設問(問10～34)は、調査票をA票とB票の2つに分けて実施しています。

### ◇対象地域

帯広市内

### ◇対象者

満20歳以上の帯広市民

### ◇標本数

3,000人  
※市民実感についての設問は、A票、B票それぞれ1,500人

### ◇標本抽出方法

無作為抽出

### ◇調査方法

郵便による発送・回収

### ◇調査時期

平成27年5月1日(金)～5月27日(水)

### ◇回収結果

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H27年度	3,000	3,000	1,559	52.0
(A票)	(1,500)	(1,500)	(772)	(51.5)
(B票)	(1,500)	(1,500)	(787)	(52.5)

#### 【年次推移】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H26年度	3,000	3,000	1,534	51.1
H25年度	3,000	3,000	1,404	46.8
H24年度	3,000	3,000	1,375	45.8
H23年度	3,000	3,000	1,374	45.8
H22年度	3,000	3,000	1,349	45.0
H21年度	3,000	3,000	1,194	39.8
H20年度	3,000	2,996	1,126	37.6
H19年度	3,000	2,957	1,144	38.7

### ◇アンケートの精度

本調査の回収数は、1,559件(A票772件、B票787件)で、信頼度95%・標本誤差を5%とした場合の統計学上の必要標本数384件を上回り、本調査から得られた分析結果は、帯広市全体としての意見を推定するために、十分な精度を得ています。

#### 【必要サンプル数の算出式】

$$n \geq N \div [(e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \times 4] + 1$$

N=母集団の数(調査対象者数)(=139,779人:平成27年3月31日現在の20歳以上人口)

e=標本誤差(=0.05)

n=必要標本数

(※ 1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数)

計算の結果、 $n \geq 383.1098 \dots$ となり、必要サンプル数は384となります。

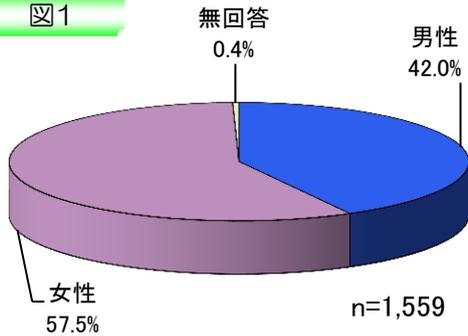
## 2

# アンケート回答者の属性

◆小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。  
 ◆回答数を(n= )で表示しています。

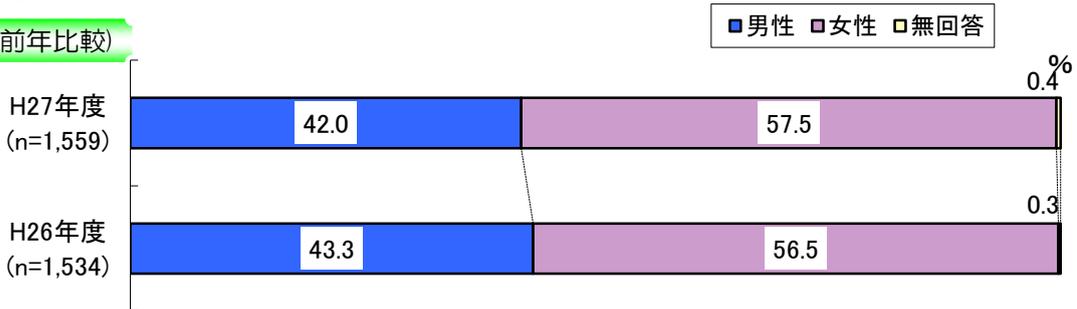
## 問1 あなたの性別は？

図1



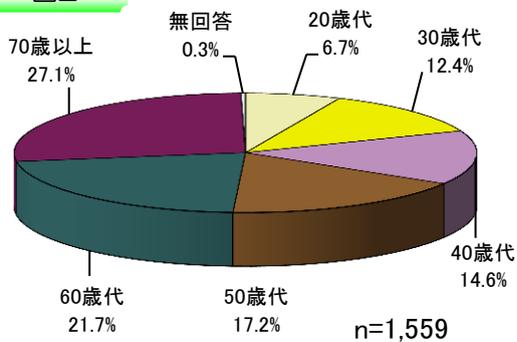
性別では、  
 [男性] 42.0% (655人)、  
 [女性] 57.5% (897人)、  
 [無回答] 0.4% (7人)となり、  
 [女性]の割合が高くなっています。(図1)

### 参考(前年比較)



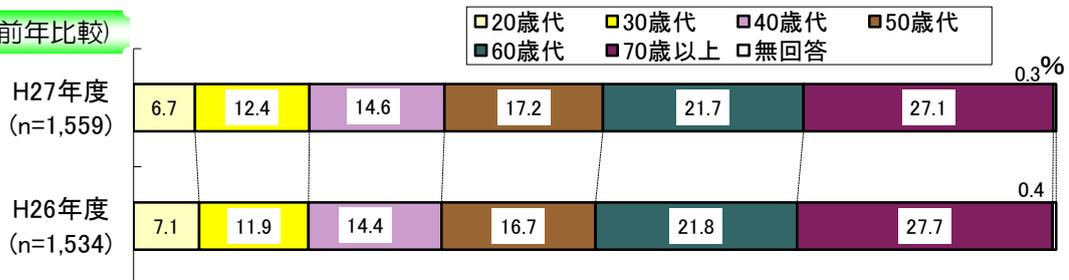
## 問2 あなたの年齢は？

図2



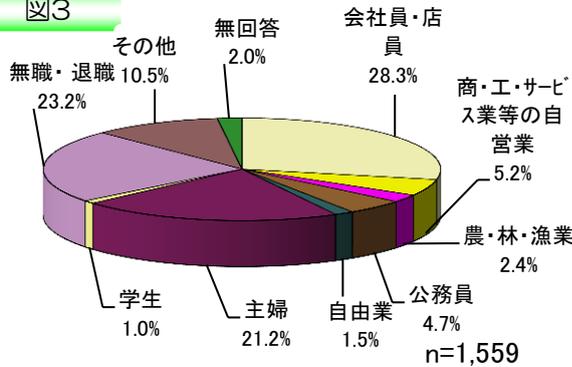
年齢別では、  
 [20歳代] 6.7% (104人)、  
 [30歳代] 12.4% (193人)、  
 [40歳代] 14.6% (228人)、  
 [50歳代] 17.2% (268人)、  
 [60歳代] 21.7% (339人)、  
 [70歳以上] 27.1% (422人)、  
 [無回答] 0.3% (5人)となり、  
 年代が上がるにつれて割合が高くなっています。(図2)

### 参考(前年比較)



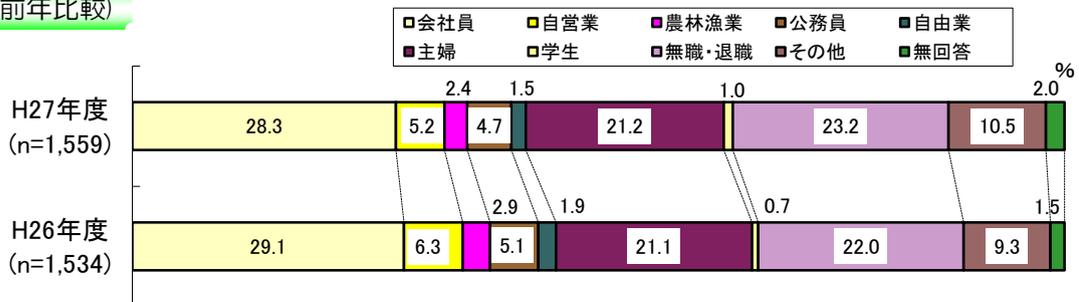
### 問3 あなたの職業は？

図3



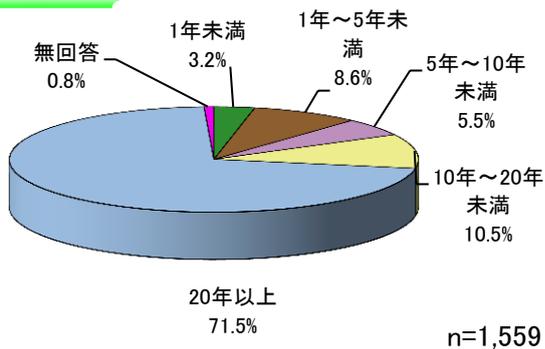
職業別では、  
 [会社員・店員] 28.3% (441人)、  
 [商・工・サービス業等の自営業] 5.2% (81人)、  
 [農・林・漁業] 2.4% (38人)、  
 [公務員] 4.7% (74人)、  
 [自由業] 1.5% (24人)、  
 [主婦] 21.2% (331人)、  
 [学生] 1.0% (15人)、  
 [無職・退職] 23.2% (361人)、  
 [その他] 10.5% (163人)、  
 [無回答] 2.0% (31人)となっており、  
 [会社員・店員]、[主婦]、[無職・退職]が多くなっています。(図3)

参考(前年比較)



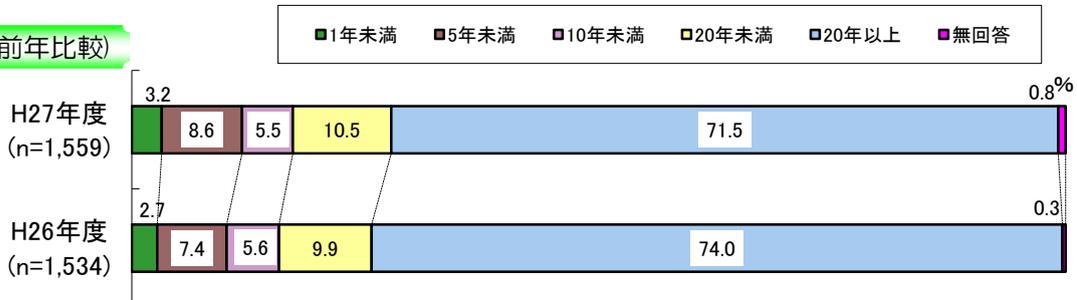
### 問4 あなたの居住年数は？

図4

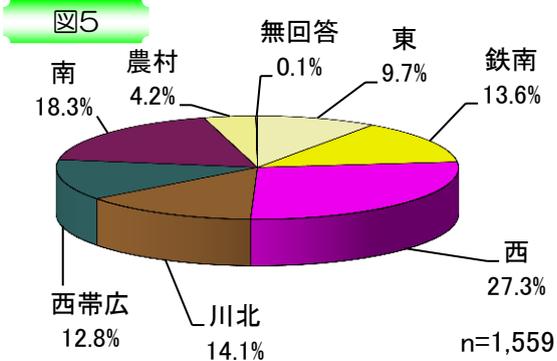


居住年数別では、  
 [1年未満] 3.2% (50人)、  
 [1年~5年未満] 8.6% (134人)、  
 [5年~10年未満] 5.5% (85人)、  
 [10年~20年未満] 10.5% (164人)、  
 [20年以上] 71.5% (1,114人)、  
 [無回答] 0.8% (12人)となり、  
 [20年以上]が、全体の7割以上を占めています。(図4)

参考(前年比較)

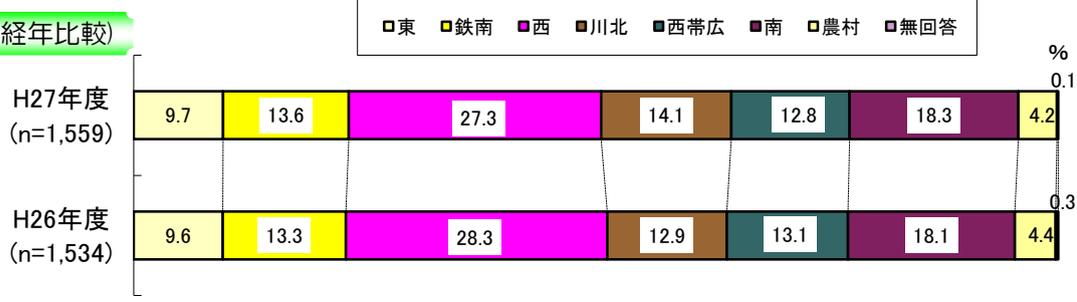


# お住まいの地区



地区別では、  
 [東] 9.7% (151人)、  
 [鉄南] 13.6% (212人)、  
 [西] 27.3% (425人)、  
 [川北] 14.1% (220人)、  
 [西帯広] 12.8% (199人)、  
 [南] 18.3% (285人)、  
 [農村] 4.2% (65人)、  
 [無回答] 0.1% (2人)となっています。  
 (図5)

## 参考(経年比較)



◆帯広市では下図のとおり7つの地区を設定しています。

**西帯広地区：**  
 市街地の西部に位置し、東は西18条通・西10号、西は市町村界、南は南6線、北は十勝川以北の中島地区を含む地区  
 (西帯広住区・開西住区)

**西地区：**  
 市街地の中西部に位置し、東は西8条通、西は西10号、南は自衛隊北側の崖、北は帯広川に囲まれた地区  
 (競馬場住区・緑ヶ丘住区・柏林台住区・白樺住区・広陽住区・若葉住区)

**農村地区：**  
 本市の南部に広大な農業地帯として広がり、東は幕別町、西は芽室町、南は中札内村、北は稲田3号・帯広刑務所以南に囲まれた地区  
 (大正住区・川西住区)

**南地区：**  
 市街地の南部に位置し、東は札内川、西は市町村界、南は清流の里を含む稲田3号線、北は売買川・自衛隊北側の崖に囲まれた地区  
 (豊成住区・南町住区・稲田住区・大空住区)

**川北地区：**  
 市街地の北部に位置し、東は国道241号・236号、西は西18条通、南は帯広川、北は十勝川に囲まれた地区  
 (北栄住区・啓北住区・栄住区)

**東地区：**  
 市街地の東部に位置し、東は札内川、西は帯広川・ウツベツ川、南は根室本線、北は十勝川に囲まれた地区  
 (東住区・駅前住区・柏住区)

**鉄南地区：**  
 市街地の東南部に位置し、東は札内川、西は西8条通・緑ヶ丘公園、南は売買川、北は根室本線に囲まれた地区  
 (駅南住区・光南住区・明星住区・緑栄住区)

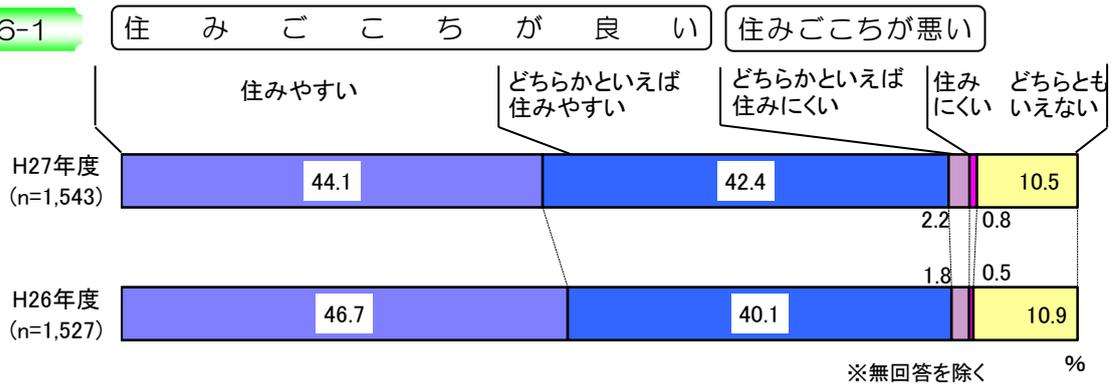
### 3

## 住みごこち

### 問5 帯広市の住みごこちは？

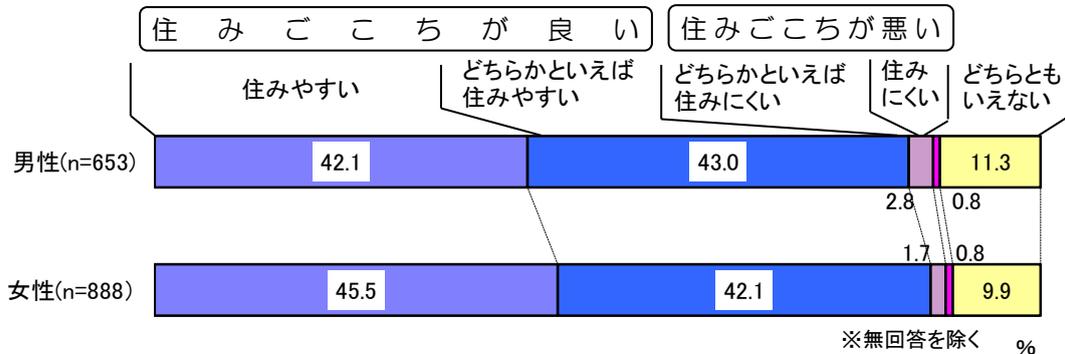
- 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた、“住みごこちが良い”とした人の割合は、昨年度より0.3ポイント減少し、86.5%（1,335人）となっています。  
なお、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた、“住みごこちが悪い”とした割合は、3.0%（46人）となっています。（図6-1）
- 男女別で“住みごこちが良い”とした割合は、[男性]85.1%、[女性]87.6%となっており、[女性]の割合が若干高くなっています。（図6-2）
- 地区別で“住みごこちが良い”とした割合は、[鉄南地区]89.2%と、他の地区と比べて高くなっています。（図6-3）
- 年代別で“住みごこちが良い”とした割合は、[50歳代]以上では、年代が上がるにつれて“住みごこちが良い”とする割合が高くなります。一方、[40歳]以下では、年代が上がるにつれて、“住みごこちが良い”とする割合が低くなります（図6-4）
- 居住年数別で“住みごこちが良い”とした割合は、[20年以上]89.6%、[5年以上～10年未満]87.9%と、その他の居住年数と比べてやや高くなっています。（図6-5）

図6-1



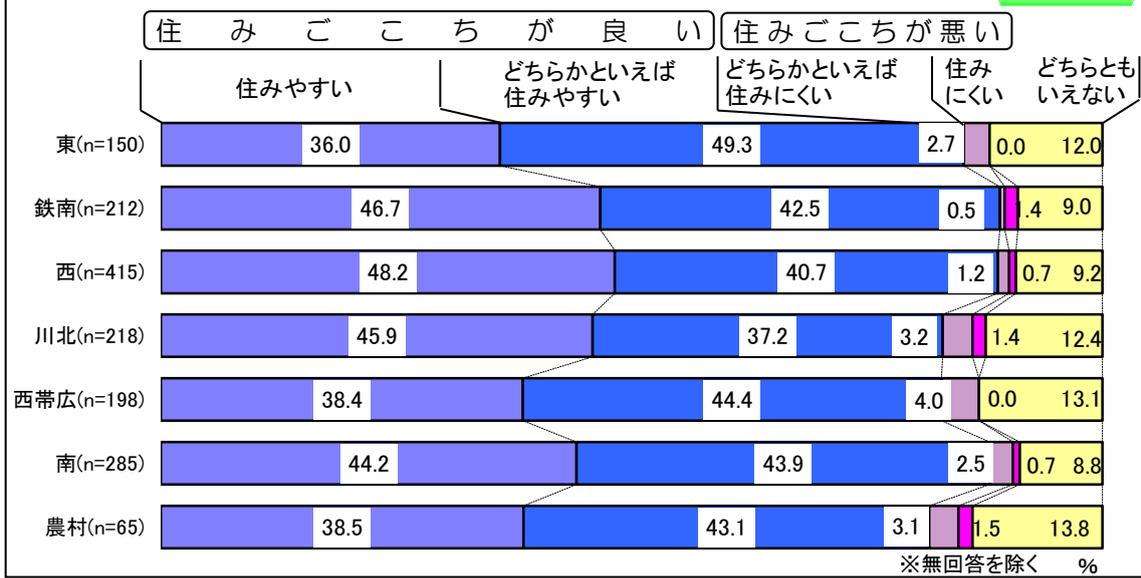
○ 男女別で比較 ○

図6-2



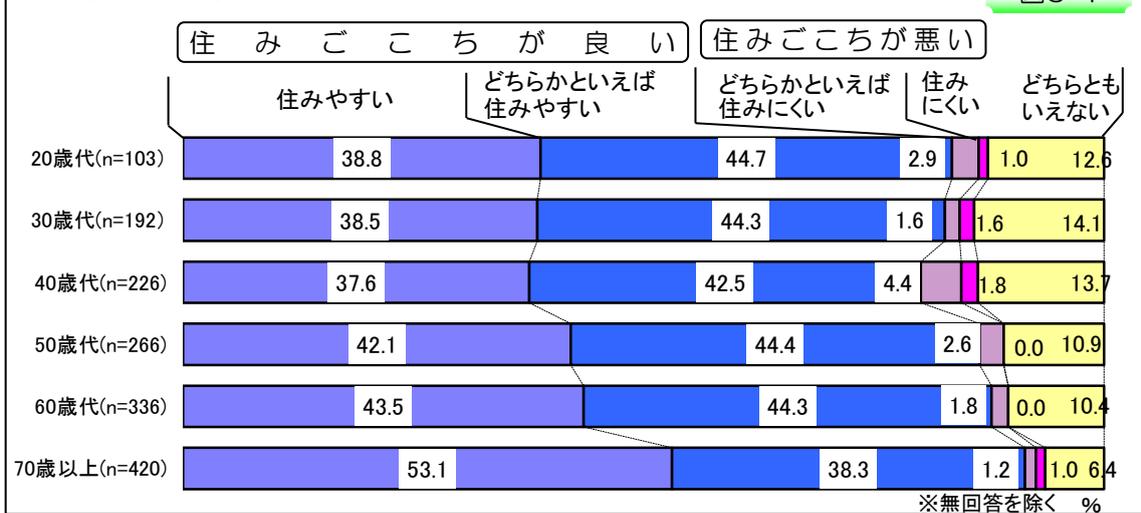
○ 地区別で比較 ○

図6-3



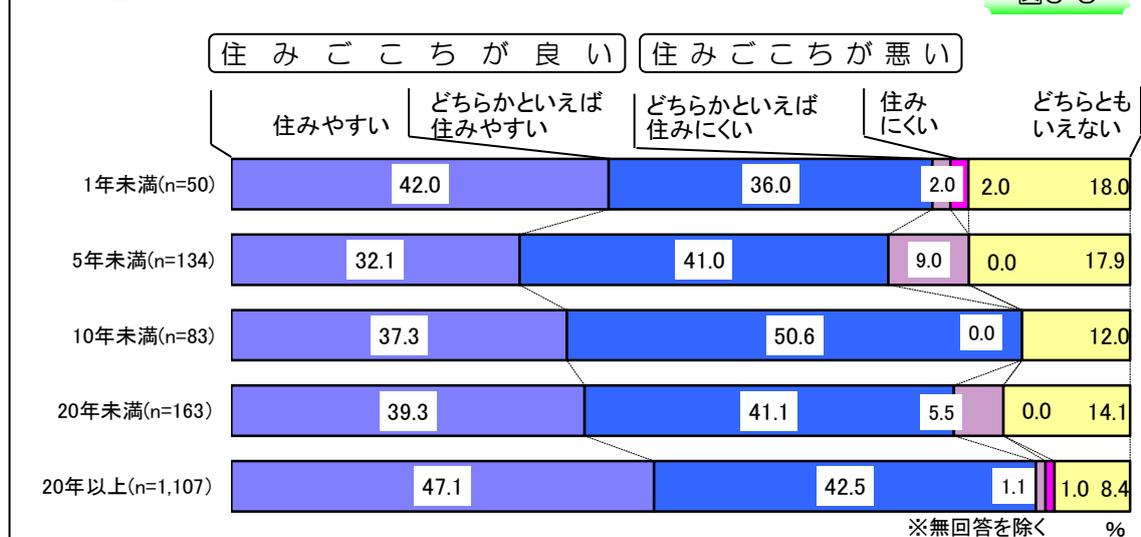
○ 年代別で比較 ○

図6-4



○ 居住年数別で比較 ○

図6-5

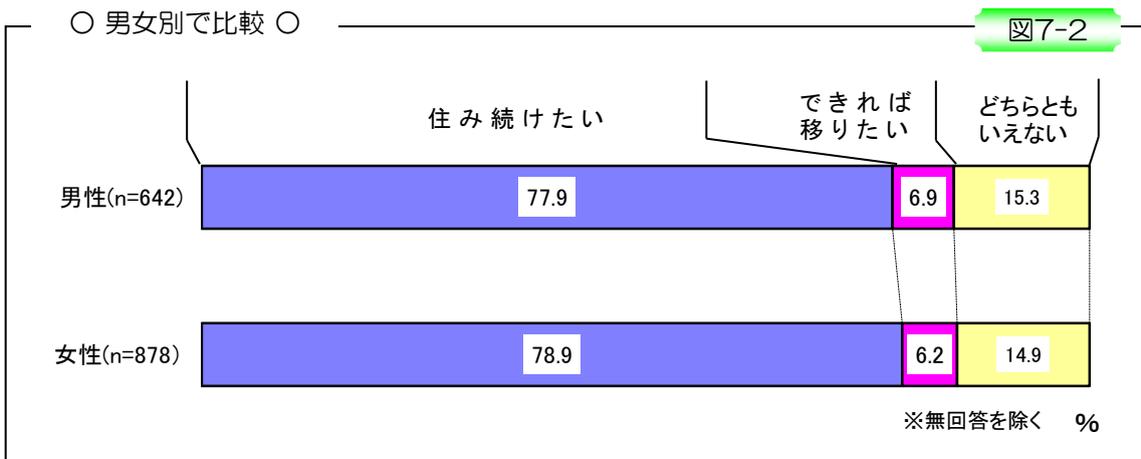


## 4

## 定住意識

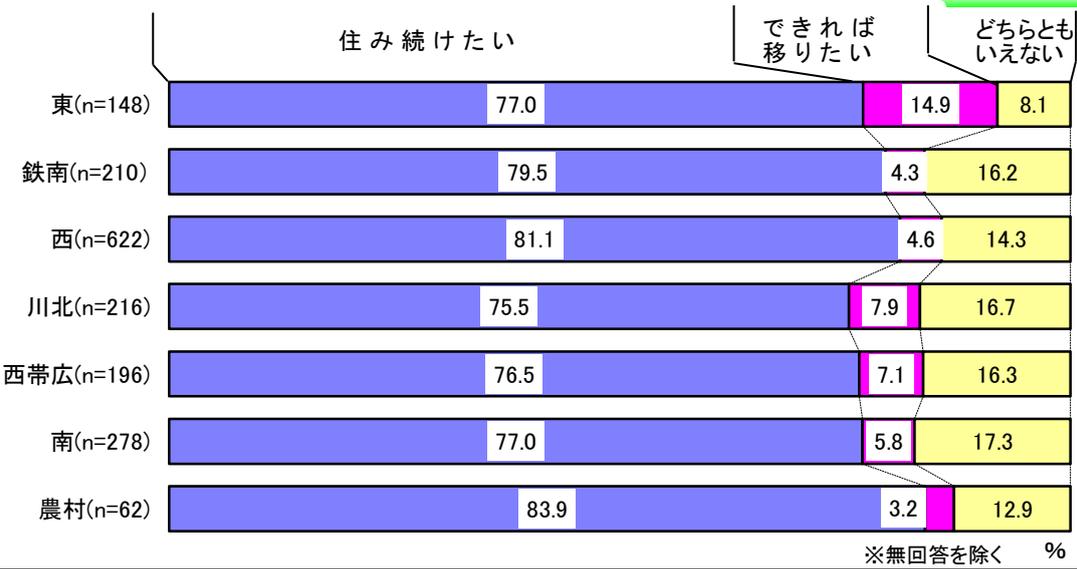
## 問6 これからも帯広市に住み続けたい？

- 「住み続けたい」とした人の割合は、昨年度と比較すると、2.6ポイント下降し、78.4%（1,194人）となっています。（図7-1）
- 男女別で「住み続けたい」とした割合は、[男性]77.9%、[女性]78.9%となっています。（図7-2）
- 地区別で「住み続けたい」とした割合は、[川北地区]75.7%が最も低くなっています。（図7-3）
- 年代が上がるにつれて「住み続けたい」とした割合が高くなっています。（図7-4）
- 居住年数が長くなるにつれて「住み続けたい」とした割合が高くなる傾向があります。（図7-5）



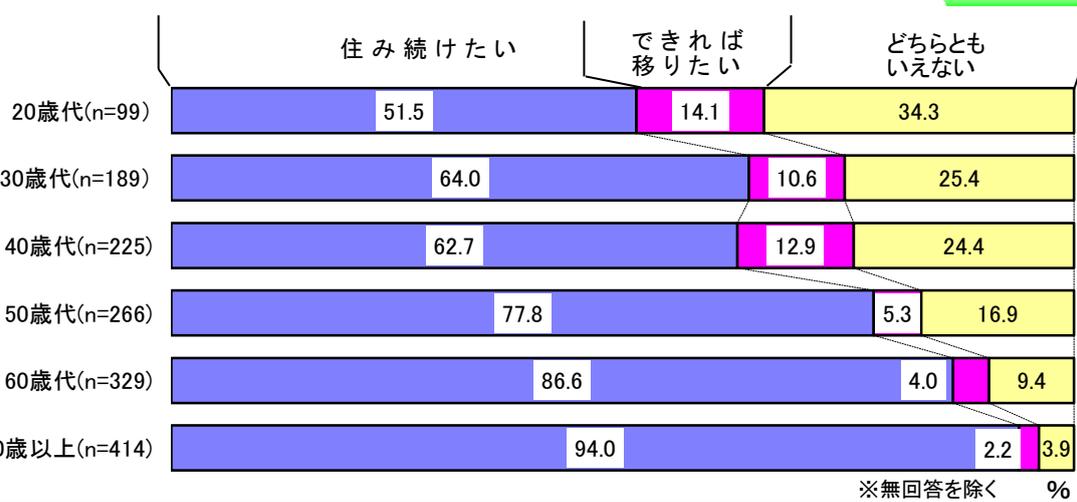
○ 地区別で比較 ○

図7-3



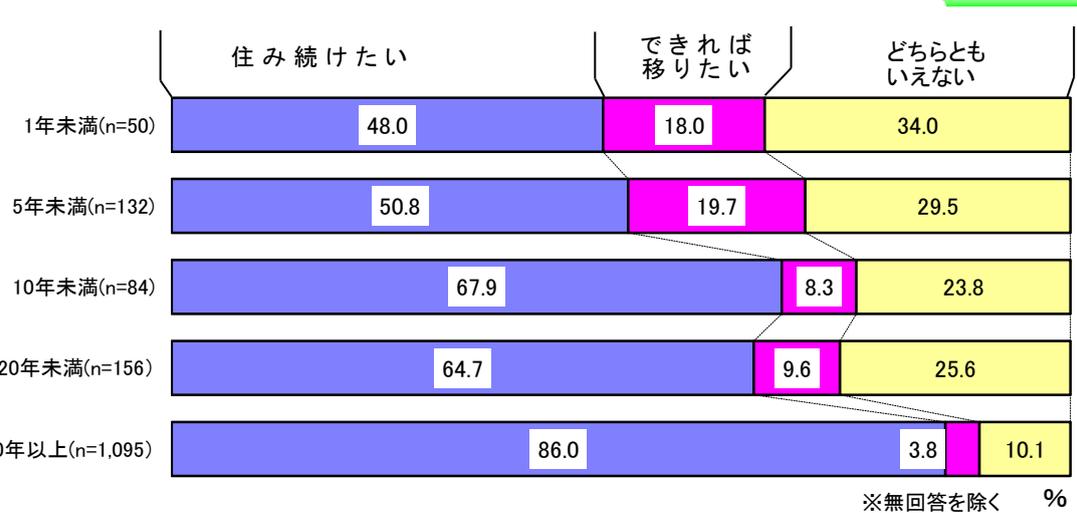
○ 年代別で比較 ○

図7-4



○ 居住年数別で比較 ○

図7-5

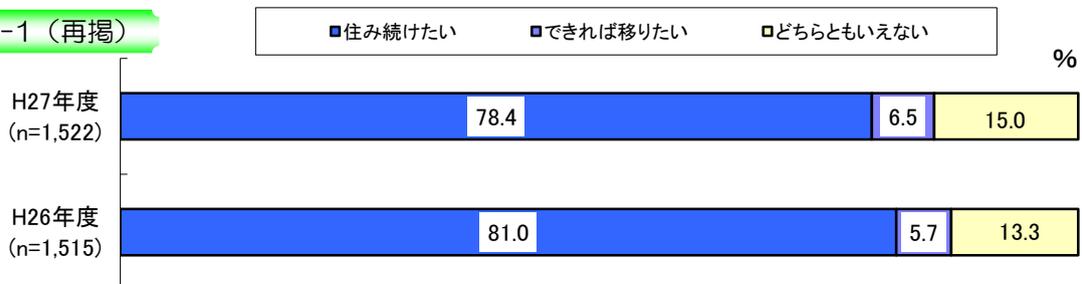


## 問7 住み続けたい理由は？

◇「住み続けたい」と回答した1,194人に、その理由を13の選択肢から2つまで回答してもらいました。

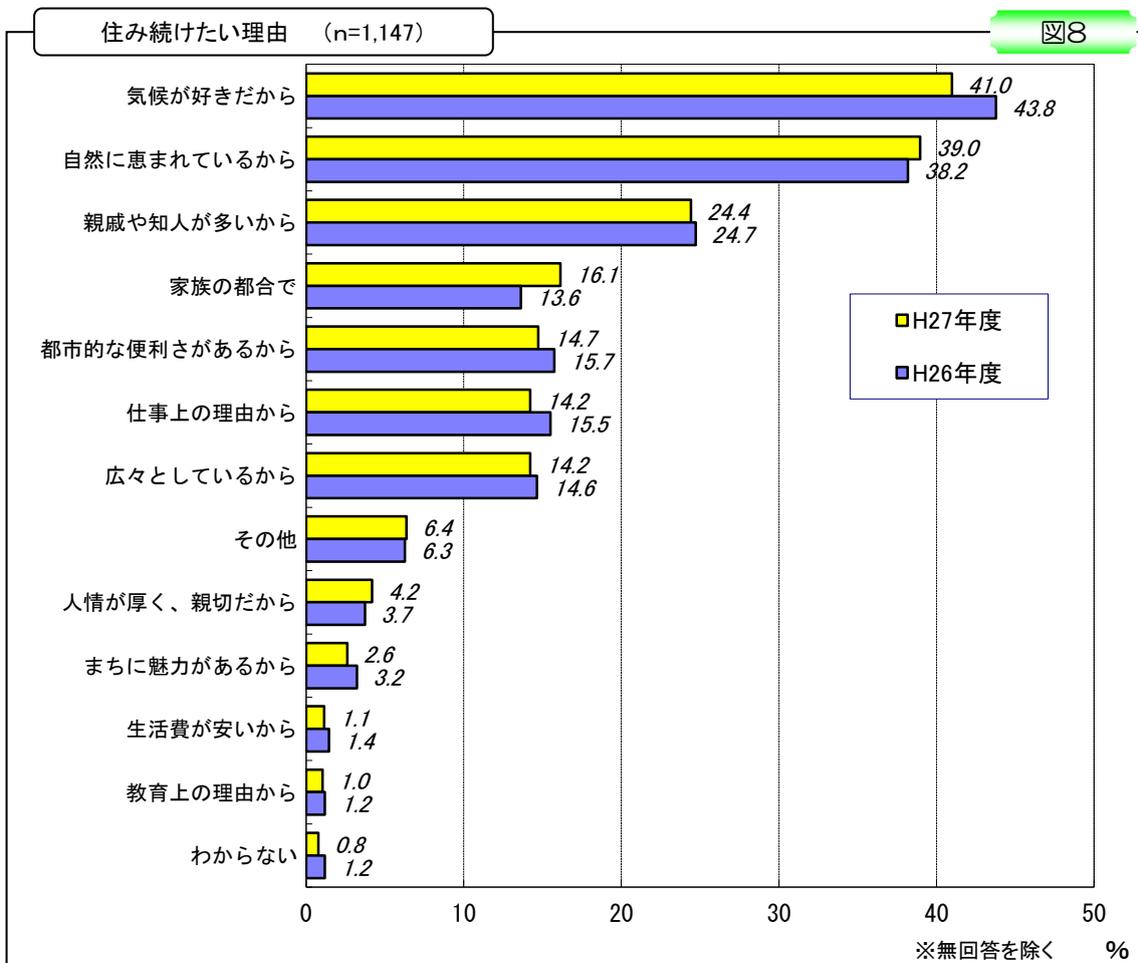
⑤ 「住み続けたい」とした理由は、[気候が好きだから]が最も多く、41.0%(470人)、2番目に多いのは[自然に恵まれているから]で39.0%(447人)、3番目は[親戚や知人が多いから]で24.4%(280人)となっています。(図8)

図7-1 (再掲)



住み続けたい理由 (n=1,147)

図8

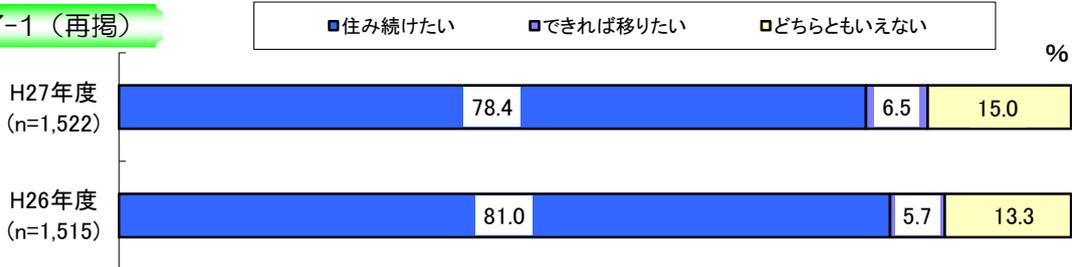


## 問8 移りたい地域は？

◇「できれば移りたい」と回答した99人に、移りたい地域を9つの選択肢から1つ、回答してもらいました。

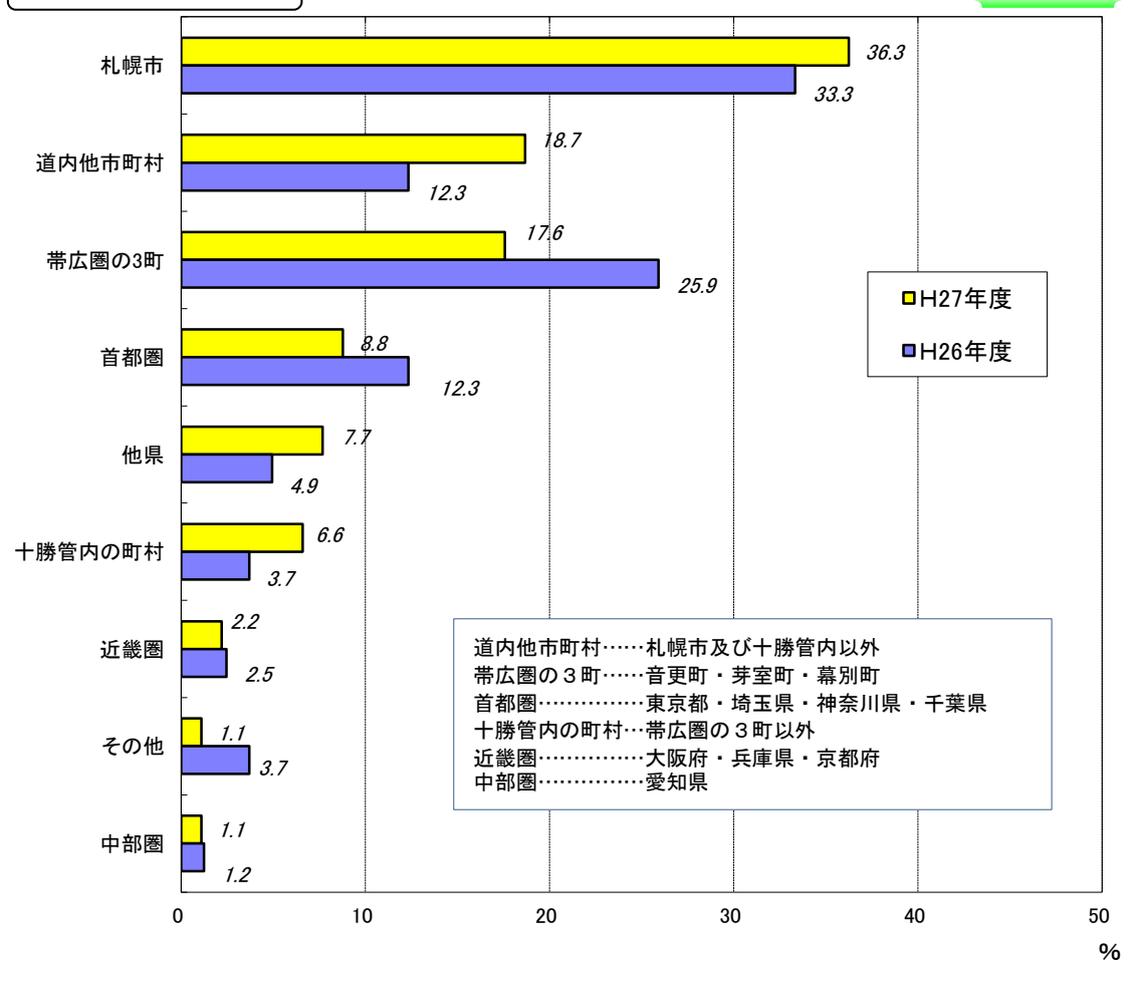
⑤ 「移りたい地域」としては、[札幌市]が最も多く36.3%（33人）となっています。また、2番目に多い地域は、[道内各市町村]で18.7%（17人）、3番目は[帯広圏の3町]で17.6%（16人）となっています。（図9）

図7-1（再掲）



移りたい地域 (n=81)

図9

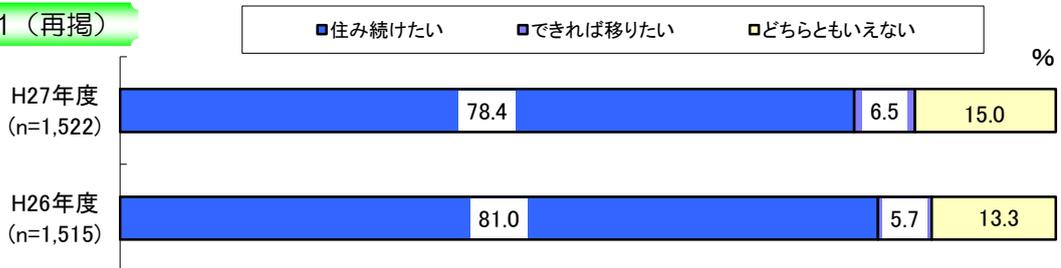


## 問9 移りたい理由は？

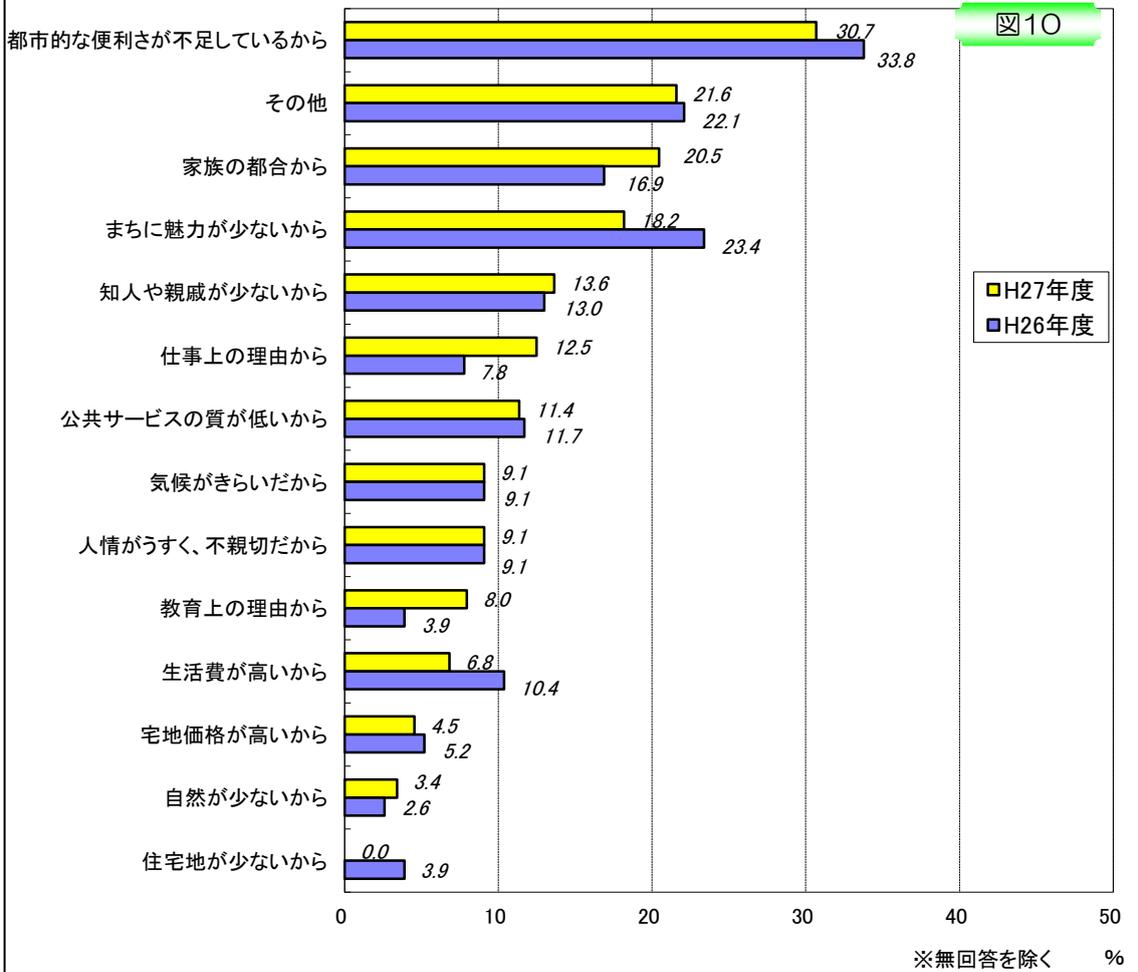
◇「できれば移りたい」と回答した99人に、移りたい理由を14の選択肢から2つまで回答してもらいました。

✎ 「移りたい理由」としては、[都市的な便利さが不足しているから]が最も多く30.7%（27人）となっています。  
 昨年度では2番目に多かった[まちに魅力が少ないから]が、昨年度と比較すると5.2ポイント下降し、18.2%（16人）と若干改善が見られます。（図10）

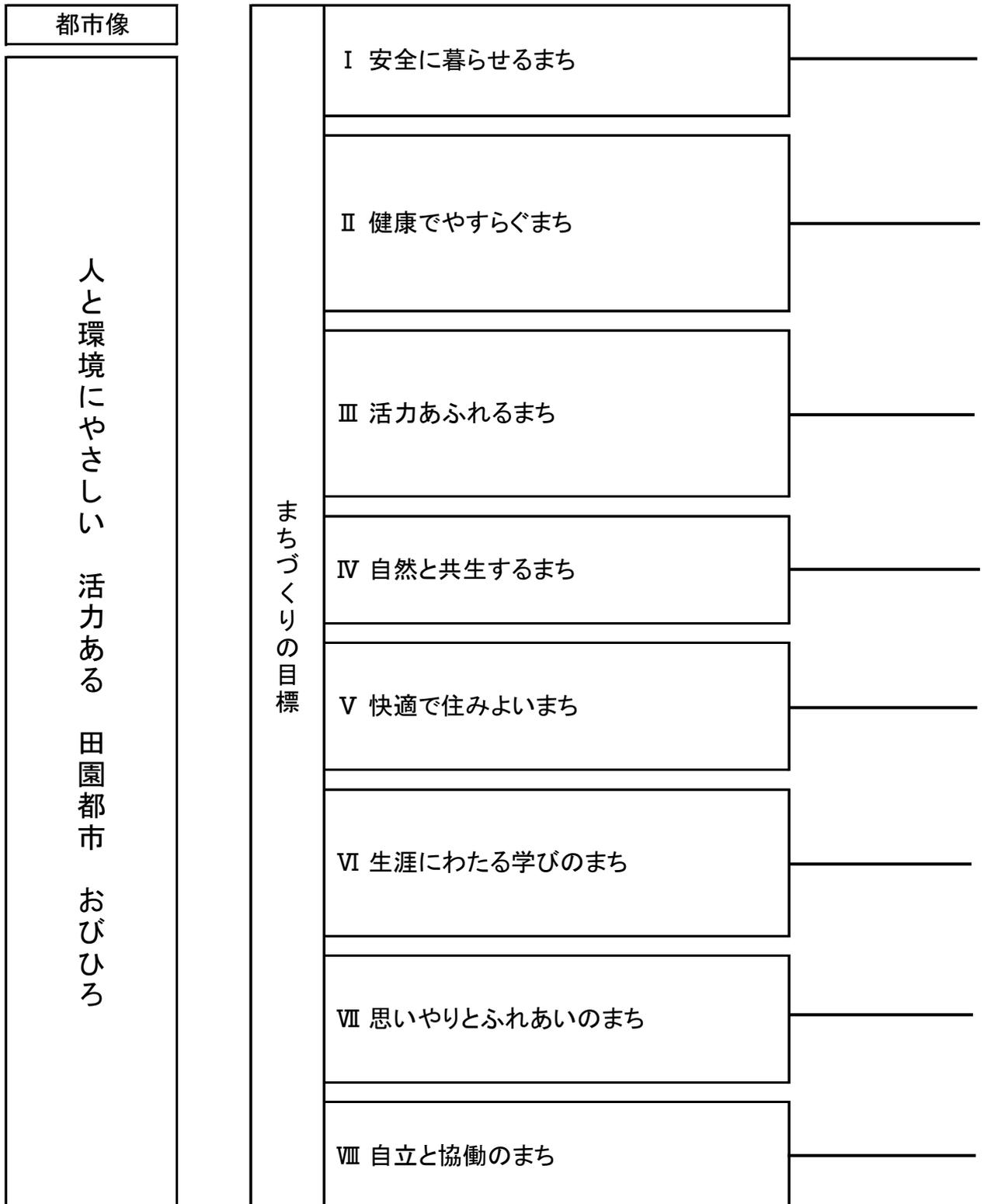
図7-1（再掲）



移りたい理由 (n=88)



## 第六期帯広市総合計画の政策・施策の体系



- ・ 総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問（市民実感度調査項目）を設定しています。
- ・ 質問の数が多いため、A票とB票の2つに分けています。

政策1-1 災害に強い安全なまちづくり	施策1-1-1 地域防災の推進	問10-A
	施策1-1-2 消防・救急の充実	問10-B
政策1-2 安心して生活できるまちづくり	施策1-2-1 防犯の推進	問11-A
	施策1-2-2 交通安全の推進	問11-B
	施策1-2-3 消費生活の向上	問12-A
政策2-1 健康に暮らせるまちづくり	施策2-1-1 保健予防の推進	問12-B
	施策2-1-2 医療体制の充実	問13-A
政策2-2 やすらぎのあるまちづくり	施策2-2-1 地域福祉の推進	問13-B
	施策2-2-2 高齢者福祉の推進	問14-A
	施策2-2-3 障害者福祉の推進	問14-B
	施策2-2-4 社会保障の推進	問15-A
政策2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり	施策2-3-1 子育て支援の充実	問15-B
	施策2-3-2 青少年の健全育成	問16-A
政策3-1 力強い産業が育つまちづくり	施策3-1-1 農林業の振興	問16-B
	施策3-1-2 工業の振興	問17-A
	施策3-1-3 商業の振興	問17-B
	施策3-1-4 中小企業の基盤強化	問18-A
	施策3-1-5 産業間連携の促進	問18-B
	施策3-1-6 雇用環境の充実	問19-A
政策3-2 にぎわいのあるまちづくり	施策3-2-1 中心市街地の活性化	問19-B
	施策3-2-2 観光の振興	問20-A
政策4-1 地球環境を守るまちづくり	施策4-1-1 地球環境の保全	問20-B
	施策4-1-2 廃棄物の資源化	問21-A
政策4-2 うるおいのあるまちづくり	施策4-2-1 公園・緑地の整備	問21-B
	施策4-2-2 水道水の安定供給	問22-A
	施策4-2-3 下水道の整備	問22-B
政策5-1 快適で住みごちのよいまちづくり	施策5-1-1 住環境の充実	問23-A
	施策5-1-2 魅力ある景観の形成	問23-B
	施策5-1-3 墓地・火葬場の整備	問24-A
政策5-2 交流を支えるまちづくり	施策5-2-1 道路網の整備	問24-B
	施策5-2-2 総合的な交通体系	問25-A
	施策5-2-3 地域情報化の推進	問25-B
政策6-1 次代を担う人を育むまちづくり	施策6-1-1 学校教育の推進	問26-A
	施策6-1-2 教育環境の充実	問26-B
	施策6-1-3 高等学校教育の推進	問27-A
	施策6-1-4 高等教育の充実	問27-B
政策6-2 とともに学び地域のきずなを育むまちづくり	施策6-2-1 学習活動の推進	問28-A
	施策6-2-2 芸術・文化の振興	問28-B
	施策6-2-3 スポーツの振興	問29-A
政策7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり	施策7-1-1 人権尊重と平和な社会の形成	問29-B
	施策7-1-2 男女共同参画社会	問30-A
	施策7-1-3 ユニバーサルデザインの推進	問30-B
	施策7-1-4 アイヌの人たちの誇りの尊重	問31-A
政策7-2 ふれあいのあるまちづくり	施策7-2-1 地域コミュニティの形成	問31-B
	施策7-2-2 国内・国際交流の推進	問32-A
政策8-1 市民とともにすすめる自治体経営	施策8-1-1 市民協働のまちづくりの推進	問32-B
	施策8-1-2 自治体経営の推進	問33-A
	施策8-1-3 広域行政の推進	問33-B
政策8-2 質の高い行政の推進	施策8-2-1 行政サービスの充実	問34-A
	施策8-2-2 行政事務の適正な執行	問34-B

## 「市民実感度」とは・・・

「市民まちづくりアンケート」では、総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問(これを市民実感度調査項目といいます)を設定しています。  
この質問に対する回答を加重平均した値を「市民実感度」といいます。

順位	問番号	市民実感度調査項目
1	22	A おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	16	B 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
3	10	B 消火活動や救急活動が迅速に行われている
4	24	A 墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている
5	21	A ごみの減量やりサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている
6	12	B 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる
7	13	A ケガや病気のとくに安心して医療を受けられる
8	22	B 生活廃水や雨水が適切に処理されている
9	29	A スポーツを楽しむことができる環境が整っている
10	25	A 空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている
11	21	B 公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる
12	23	B 都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている
13	23	A 快適で住みやすい居住空間が確保されている
14	12	A 悪質な訪問販売や契約トラブルなどに遭うことなく、安全に消費生活を送れる
15	27	A 高等学校において充実した教育が行われている
16	26	B 子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている
17	11	A 日常生活において、犯罪に遭うことなく安心して暮らせる
18	15	B 安心して子どもを産み育てることができる
19	34	B 市民に信頼される行政事務が行われている
20	34	A 市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている
21	13	B 地域の支え合いにより、安心して暮らせる
22	14	A 高齢者が地域で生き生きと暮らせる
23	29	B 平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している
24	20	B 自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている
25	20	A 自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている
26	28	A 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている
27	26	A 小学校・中学校において充実した教育が行われている
28	25	B 高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている
29	28	B 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている
30	16	A 青少年が健全に育つ環境が整っている
31	33	B 十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている
32	32	A 国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている
33	30	A 男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる
34	14	B 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる
35	17	A ものづくり産業に活気がある
36	10	A 地震や水害など、災害への備えが整っている
37	18	B 企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている
38	15	A 社会保障制度の周知や適切な運用が行われている
39	32	B 市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている
40	30	B 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによるまちづくりが行われている
41	31	A アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている
42	31	B 町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている
43	11	B 日常生活において、交通事故に遭うことなく安心して暮らせる
44	18	A 地元の企業に活気がある
45	33	A 健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている
46	24	B 幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる
47	19	A 意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる
48	17	B 商店や商店街に活気がある
49	27	B 大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
50	19	B 中心市街地に、魅力とにぎわいがある

《市民実感度の算出方法》

「そう思う」は4、「ややそう思う」は3、「あまりそう思わない」は2、「そう思わない」は1と重み付けを行い、各回答数を乗じて合計したものを、有効回答数で除したものです。

このため、数値は1.000から4.000の間で表わされます。

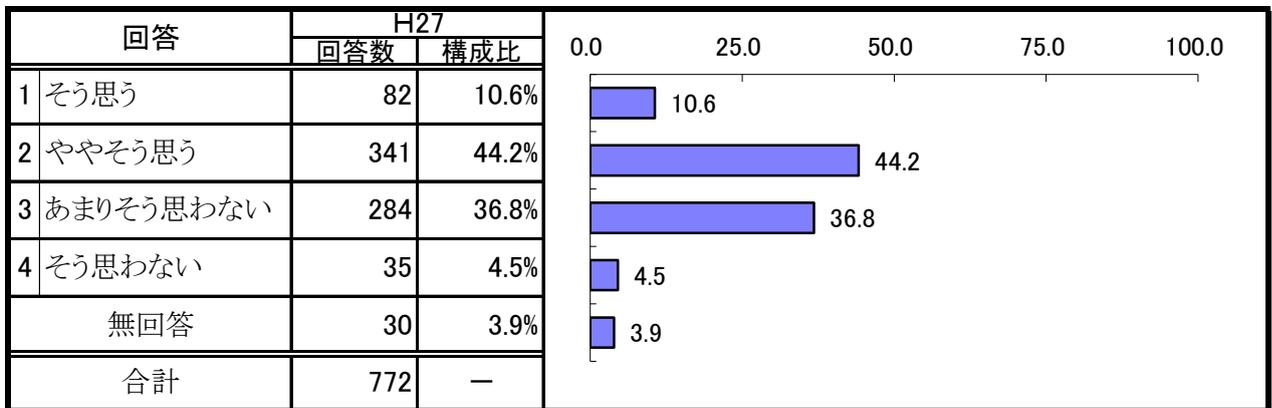
例) 問22-A:「おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる」の場合

$$(4 \times 481(\text{人}) + 3 \times 220(\text{人}) + 2 \times 49(\text{人}) + 1 \times 8(\text{人})) \div 758(\text{人}) = 3.549$$

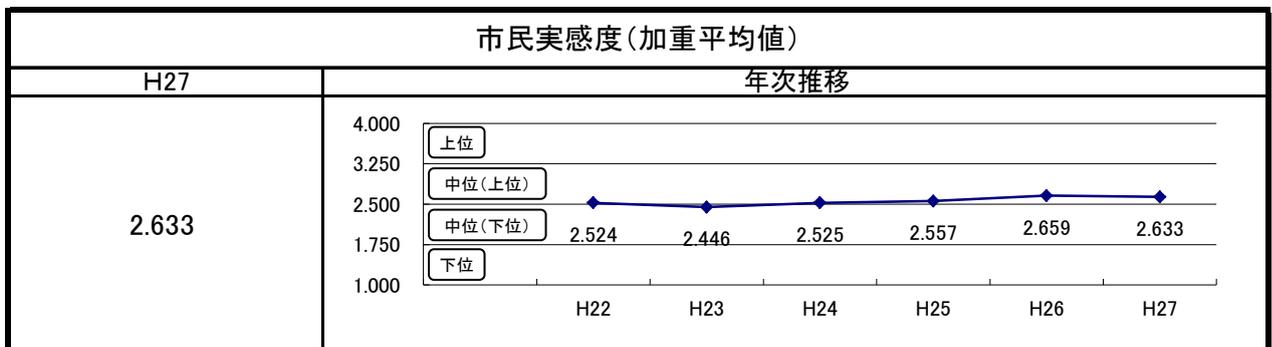
そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	有効回答数	市民実感度 (加重平均値)
481	220	49	8	758	3.549
358	306	91	10	765	3.323
321	369	48	15	753	3.323
242	426	58	11	737	3.220
282	352	98	16	748	3.203
270	394	90	13	767	3.201
280	343	109	25	757	3.160
238	390	100	34	762	3.092
230	359	132	28	749	3.056
245	335	136	35	751	3.052
258	343	124	47	772	3.052
226	379	120	34	759	3.050
201	399	120	23	743	3.047
187	419	134	14	754	3.033
126	446	114	23	709	2.952
143	433	122	42	740	2.915
152	368	210	27	757	2.852
150	363	167	50	730	2.840
105	463	124	51	743	2.837
119	421	149	54	743	2.814
130	398	201	36	765	2.813
133	372	205	45	755	2.785
100	424	186	40	750	2.779
105	419	178	51	753	2.768
159	299	235	50	743	2.763
106	387	210	37	740	2.759
115	365	199	48	727	2.752
114	373	189	53	729	2.752
106	386	215	44	751	2.738
103	382	221	40	746	2.735
103	356	245	36	740	2.711
102	356	235	42	735	2.705
78	369	232	43	722	2.668
97	354	243	59	753	2.649
88	351	251	54	744	2.636
82	341	284	35	742	2.633
101	332	240	78	751	2.607
105	302	278	65	750	2.596
75	348	258	62	743	2.587
69	327	284	55	735	2.558
84	307	267	70	728	2.556
94	283	311	64	752	2.541
117	258	317	77	769	2.540
71	275	327	61	734	2.485
56	310	289	76	731	2.473
129	232	272	132	765	2.468
50	277	329	77	733	2.409
42	283	291	148	764	2.287
58	212	313	159	742	2.228
21	165	359	226	771	1.975

## 問10-A 地震や水害など、災害への備えが整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が54.8%（423人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が41.3%（319人）となっています。
- 市民実感度は、2.633となっており、昨年に比べて0.026下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した319人のうち、303人がその理由を回答しており、理由として「行政の取り組みや周知が十分でないから」が最も多く、30.4%（92人）となっています。

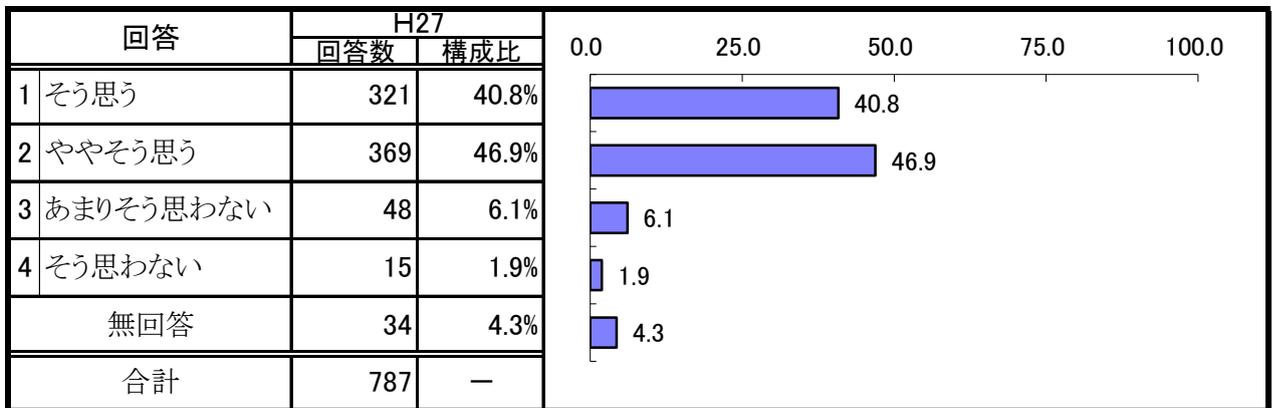


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 防災に関する意識が低いから	35	11.6%
b 行政の取り組みや周知が十分でないから	92	30.4%
c 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから	81	26.7%
d 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから	42	13.9%
e 自宅の耐震性が不安だから	29	9.6%
f 避難所の耐震性が不安だから	10	3.3%
g その他	14	4.6%
有効回答数	303	—

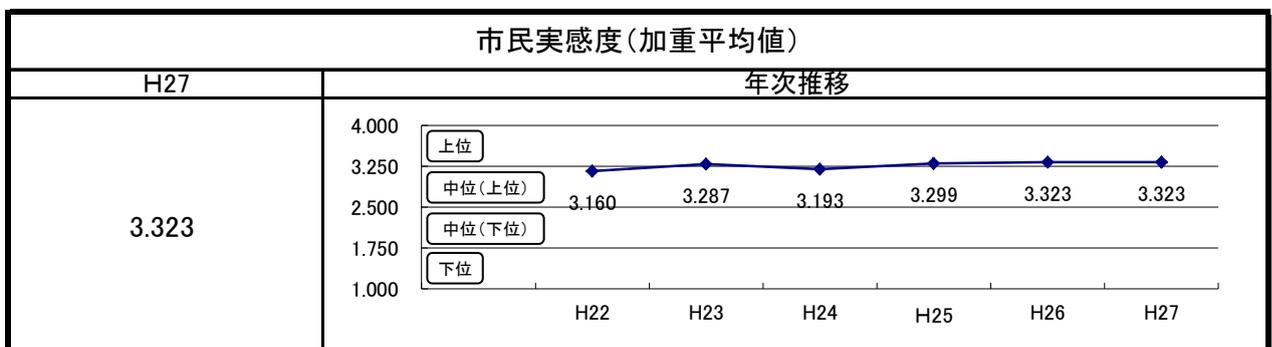


## 問10-B 消火活動や救急活動が迅速に行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が87.7%（690人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が8.0%（63人）となっています。
- 市民実感度は、3.323となっており、昨年と同値でした。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した63人のうち、59人がその理由を回答しており、理由として「救急車による病院までの搬送がスムーズでないから」が多く、25.4%（15人）となっています。

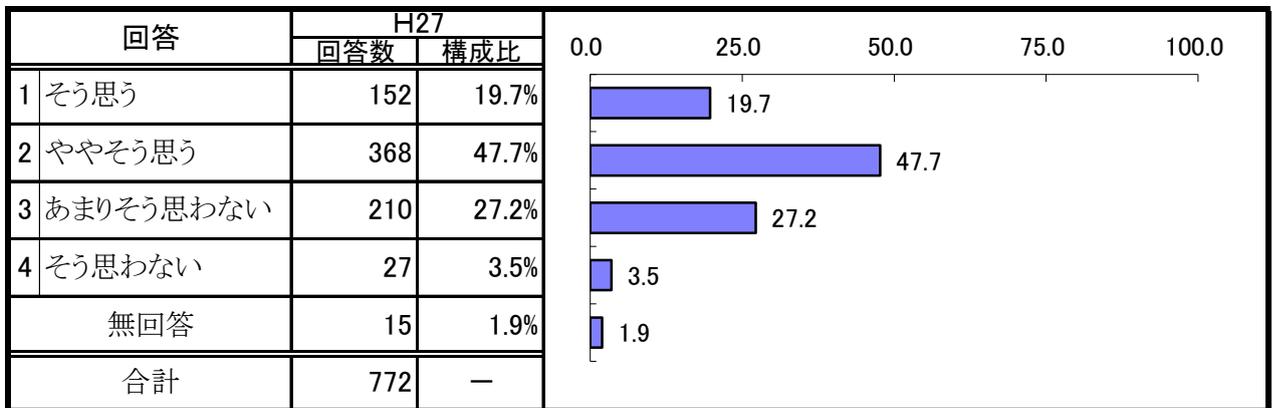


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 消火や防火の取り組みが十分でないから	4	6.8%
b 救急車や消防車の到着時間が遅いから	8	13.6%
c 救急車による病院までの搬送がスムーズでないから	15	25.4%
d 応急手当ができる市民が少ないから	14	23.7%
e その他	18	30.5%
有効回答数	59	—

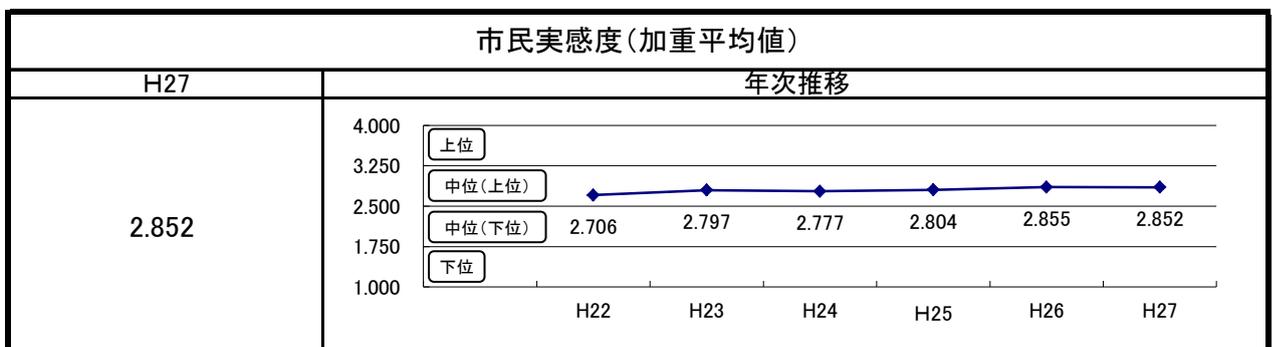


## 問11-A 日常生活において、 犯罪にあうことなく安心して暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が67.4%（520人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が30.7%（237人）となっています。
- 市民実感度は、2.852となっており、昨年に比べて0.003下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した237人のうち、230人がその理由を回答しており、理由として「身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから」が最も多く、38.3%（88人）となっています。

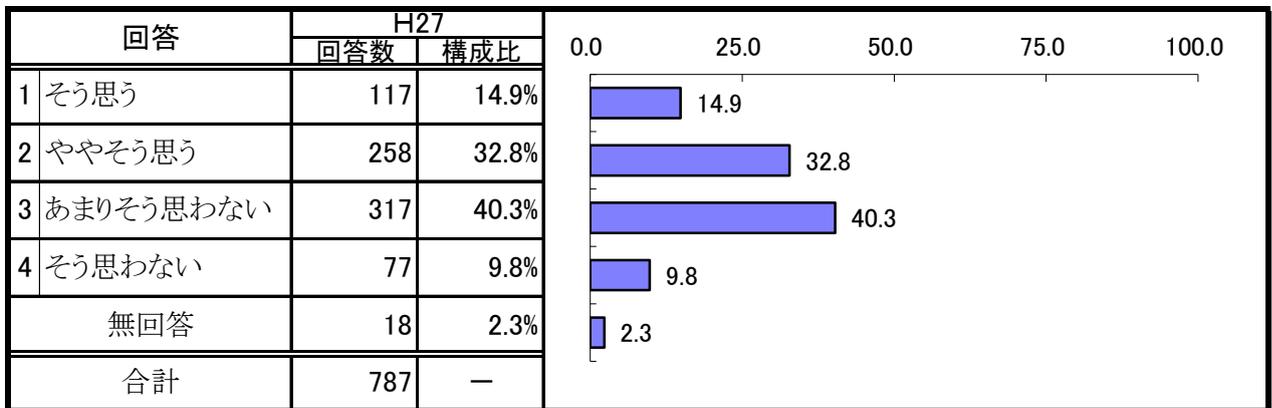


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 防犯に関する意識が低いから	20	8.7%
b 暗がりや人目につきにくい場所があるから	73	31.7%
c 身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから	88	38.3%
d 地域で見守る防犯活動が十分でないから	36	15.7%
e その他	13	5.7%
有効回答数	230	—

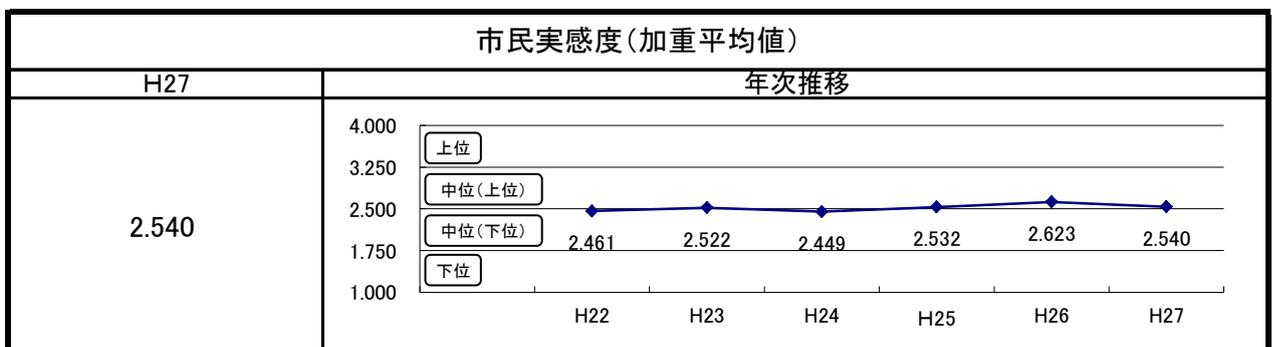


## 問11-B 日常生活において、 交通事故にあうことなく安心して暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が47.7% (375人)、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が50.1% (394人)となっています。
- 市民実感度は、2.540となっており、昨年に比べて0.083下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した394人のうち、366人がその理由を回答しており、理由として「車や自転車を運転する人のマナーが悪いから」が最も多く、59.3% (217人)となっています。

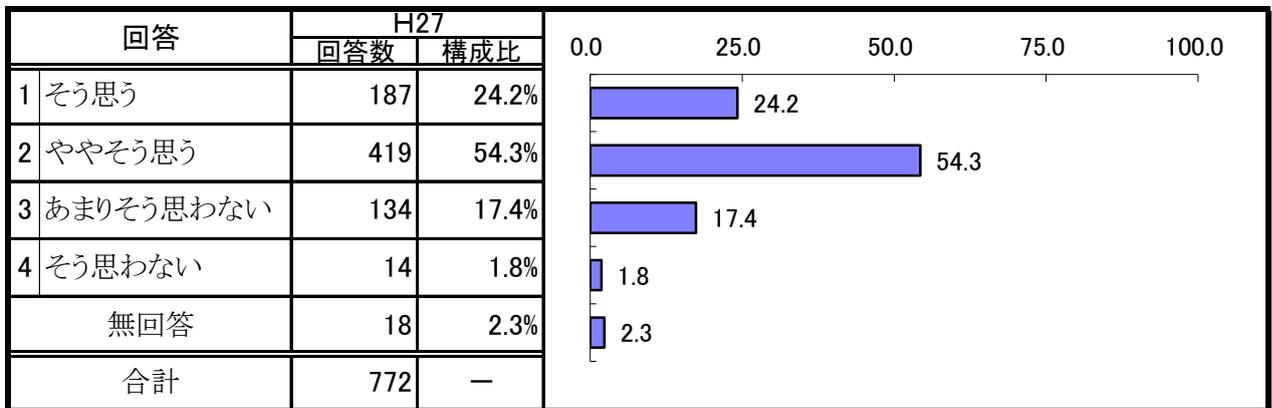


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 交通ルールを守らない歩行者がいるから	33	9.0%
b 車や自転車を運転する人のマナーが悪いから	217	59.3%
c 危ない道路や交差点があるから	74	20.2%
d その他	42	11.5%
有効回答数	366	—

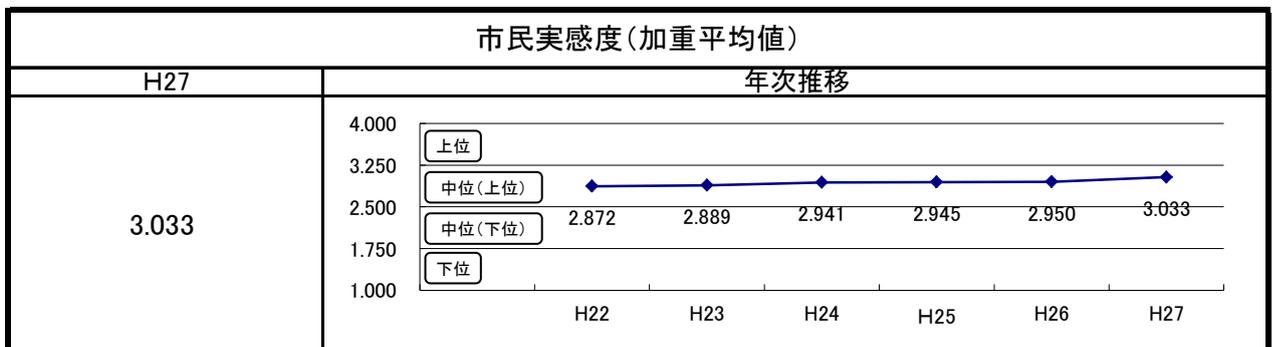


## 問12-A 悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が78.5%（606人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が19.2%（148人）となっています。
- 市民実感度は、3.033となっており、昨年に比べて0.083上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した148人のうち、144人がその理由を回答しており、理由として「消費生活に関する情報提供が十分でないから」と「消費者トラブルなどを相談できる場所を知らないから」が最も多く、31.9%（46人）となっています。

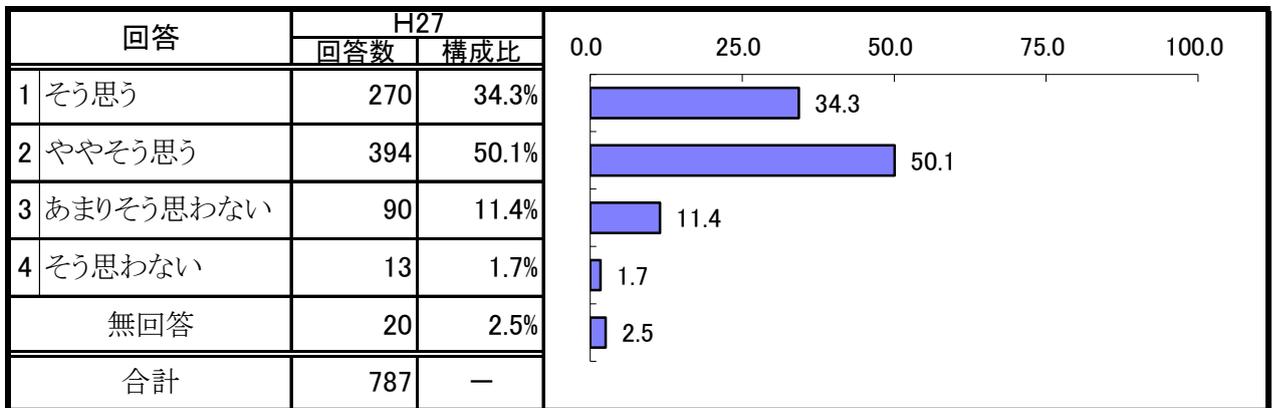


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 消費生活に関する情報提供が十分でないから	46	31.9%
b 消費者トラブルなどを相談できる場所を知らないから	46	31.9%
c 消費者トラブルの際の対処方法が分からないから	42	29.2%
d その他	10	6.9%
有効回答数	144	—

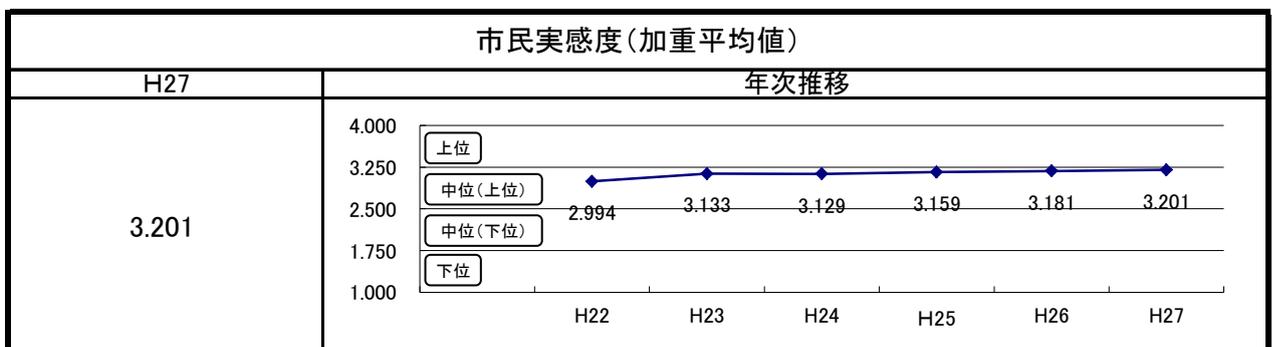


## 問12-B 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が84.4%（664人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が13.1%（103人）となっています。
- 市民実感度は、3.201となっており、昨年に比べて0.020上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した103人のうち、98人がその理由を回答しており、理由として「気軽に健康相談できる場所がないから」が最も多く、38.8%（38人）となっています。



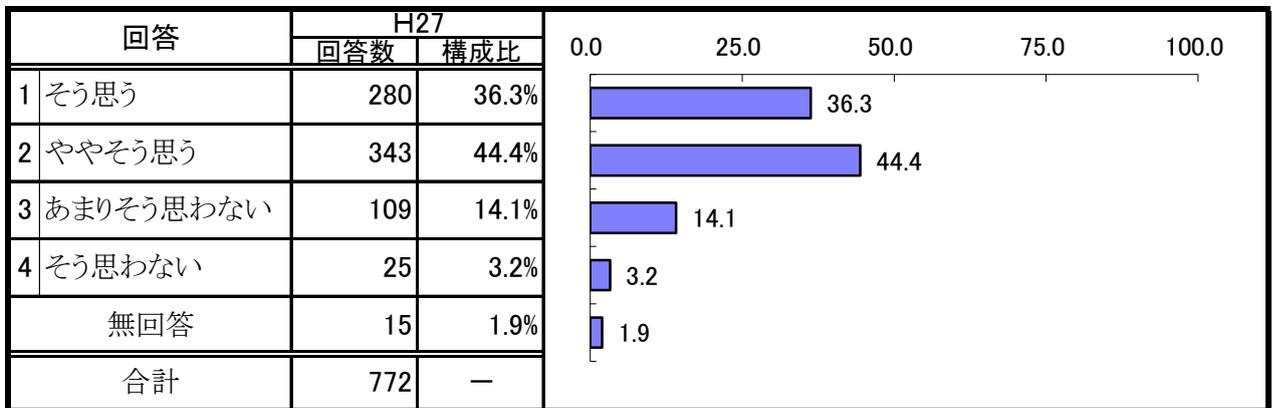
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 健康づくりに関する関心がないから	9	9.2%
b 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから	29	29.6%
c 予防接種が受けやすい環境が整っていないから	8	8.2%
d 気軽に健康相談できる場所がないから	38	38.8%
e その他	14	14.3%
有効回答数	98	—



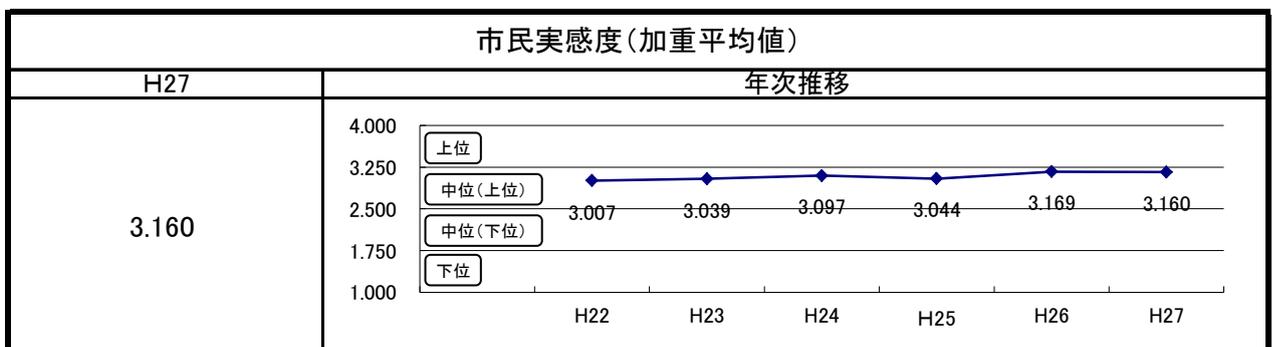


## 問13-A ケガや病気のとときに安心して医療を受けられる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が80.7%（623人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が17.3%（134人）となっています。
- 市民実感度は、3.160となっており、昨年に比べて0.009下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した134人のうち、133人がその理由を回答しており、理由として「高度な医療を受けることができないから」が最も多く、41.4%（55人）となっています。

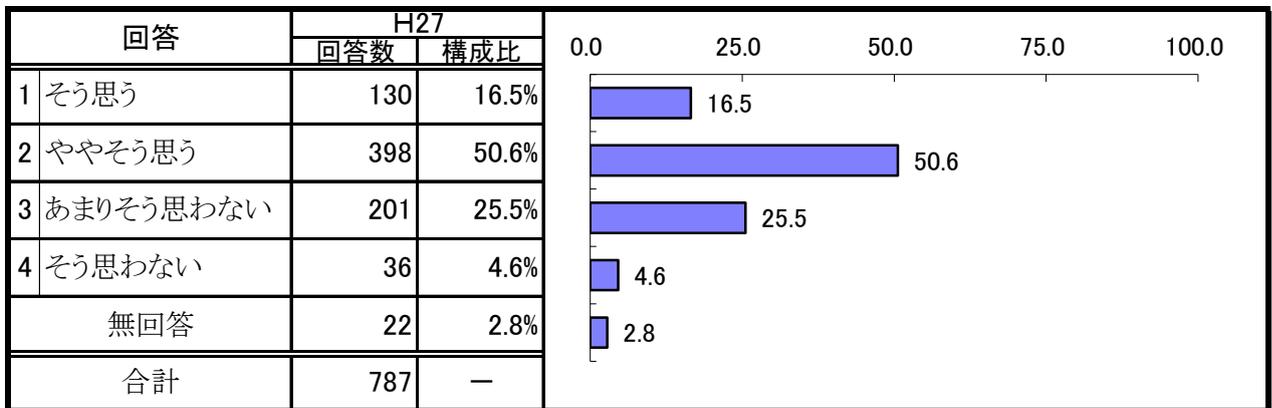


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 病院や診療所の数が不足しているから	16	12.0%
b 診療科目が不足しているから	16	12.0%
c 高度な医療を受けることができないから	55	41.4%
d 緊急時の医療機関の情報が十分でないから	30	22.6%
e その他	16	12.0%
有効回答数	133	—

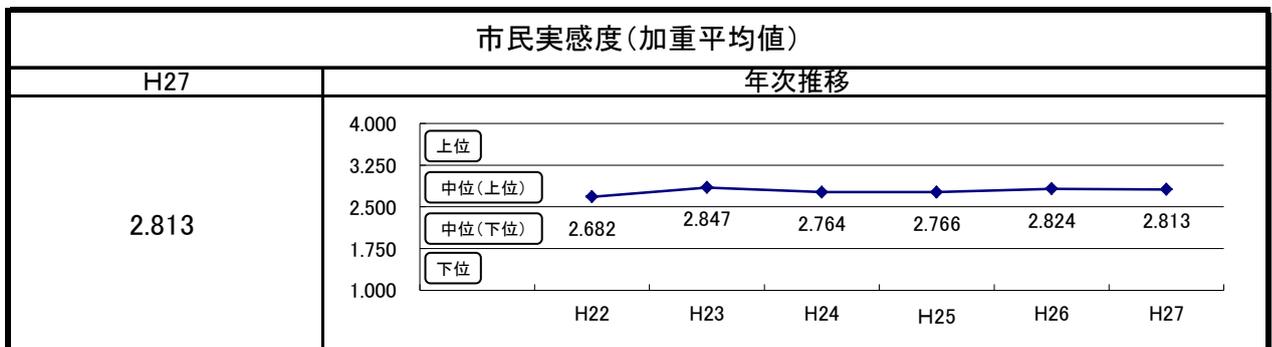


## 問13-B 地域の支え合いにより、安心して暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が67.1%（528人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が30.1%（237人）となっています。
- 市民実感度は、2.813となっており、昨年に比べて0.011下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した237人のうち、230人がその理由を回答しており、理由として「地域住民の互いに支え合う意識が低いから」が最も多く、57.0%（131人）となっています。



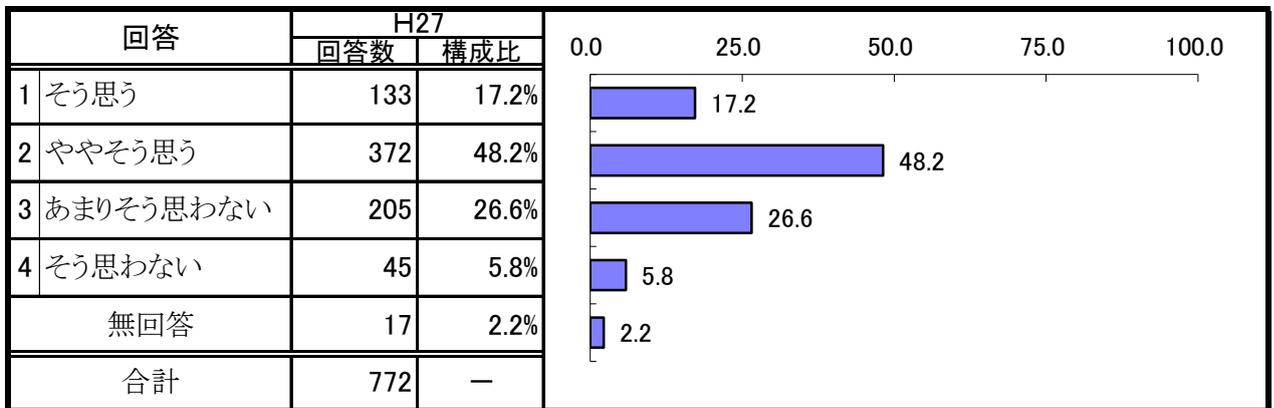
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 地域住民の互いに支え合う意識が低いから	131	57.0%
b 不安や心配事を地域で相談できる場所がないから	54	23.5%
c 福祉ボランティアの活動が活発でないから	24	10.4%
d その他	21	9.1%
有効回答数	230	—



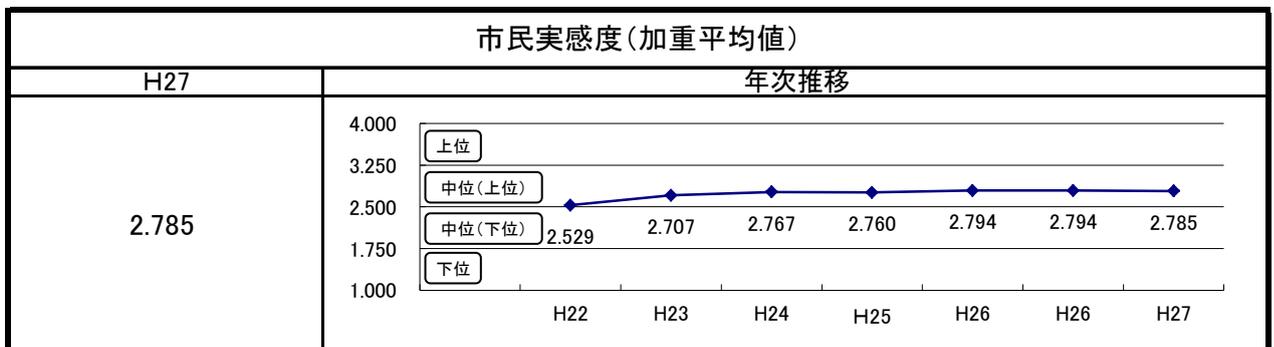


## 問14-A 高齢者が地域で生き生きと暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が65.4%（505人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が32.4%（250人）となっています。
- 市民実感度は、2.785となっており、昨年に比べて0.009下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した250人のうち、240人がその理由を回答しており、理由として「老人ホームなどの施設が不足しているから」が最も多く、37.1%（89人）となっています。



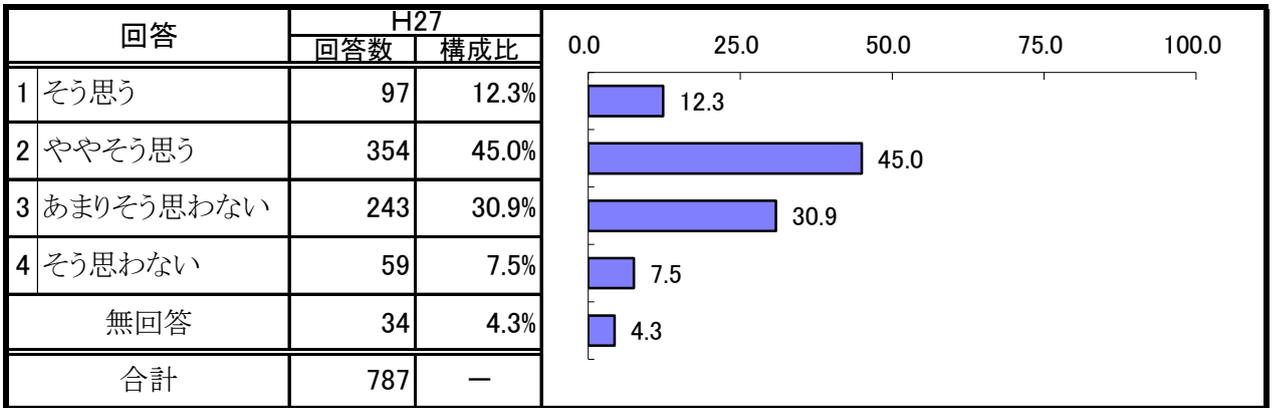
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 社会参加の機会が少ないから	30	12.5%
b 在宅の福祉サービスが利用しにくいから	23	9.6%
c 老人ホームなどの施設が不足しているから	89	37.1%
d 高齢者を地域で支える環境が整っていないから	74	30.8%
e その他	24	10.0%
有効回答数	240	—



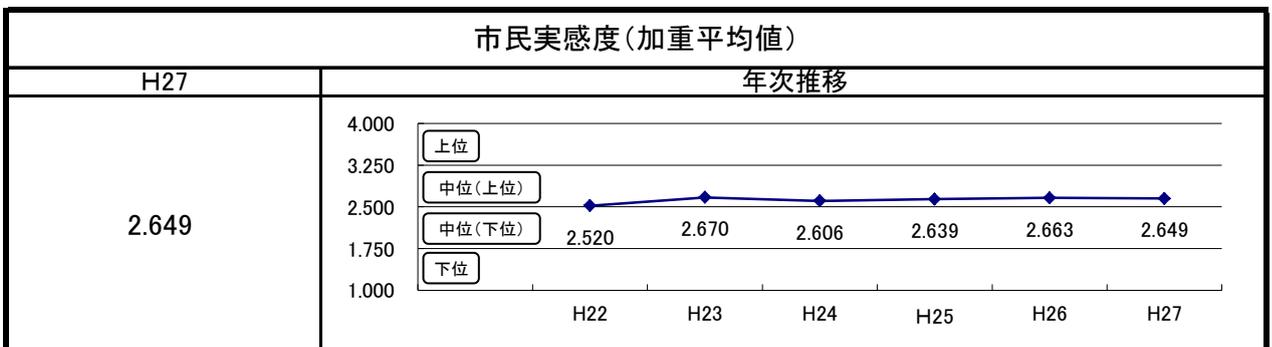


## 問14-B 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が57.3%（451人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が38.4%（302人）となっています。
- 市民実感度は、2.649となっており、昨年に比べて0.014下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した302人のうち、292人がその理由を回答しており、理由として「障害や障害のある人に対する理解が十分でないから」が最も多く、28.1%（82人）となっています。

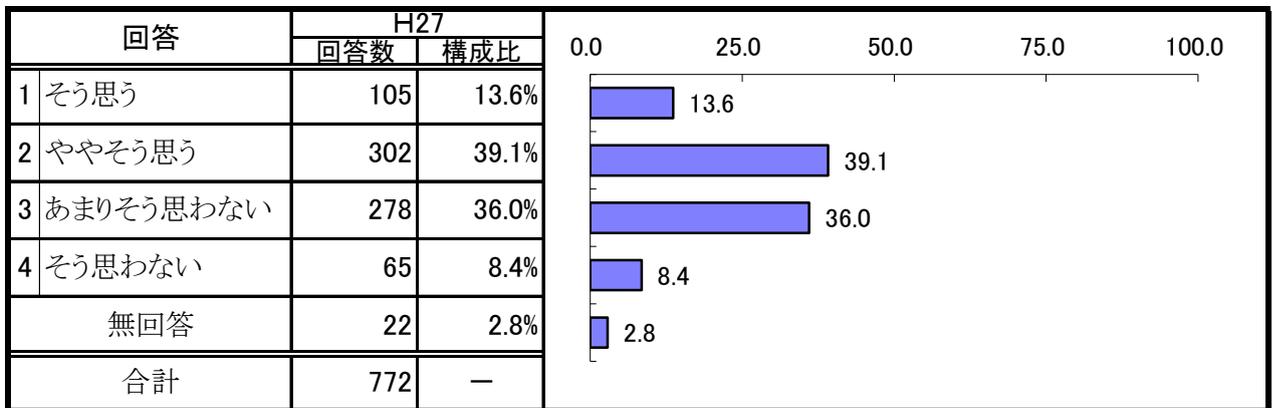


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 障害や障害のある人に対する理解が十分でないから	82	28.1%
b 障害のある人を地域で支え合う意識が低いから	76	26.0%
c 障害福祉サービスが十分でないから	52	17.8%
d 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから	61	20.9%
e その他	21	7.2%
有効回答数	292	—

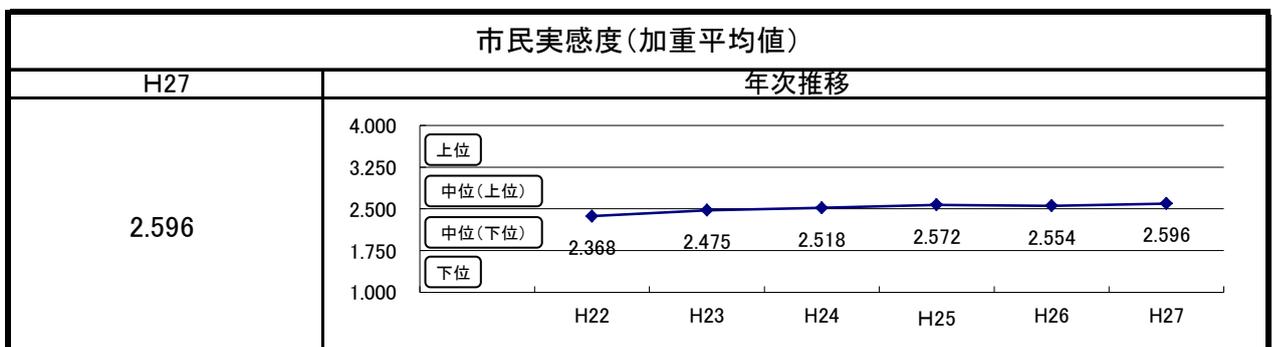


## 問15-A 社会保障制度の周知や適切な運用が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が52.7%（407人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が44.4%（343人）となっています。
- 市民実感度は、2.596となっており、昨年に比べて0.042上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した343人のうち、329人がその理由を回答しており、理由として「社会保障にかかる家計の負担が大きいため」が最も多く、47.1%（155人）となっています。

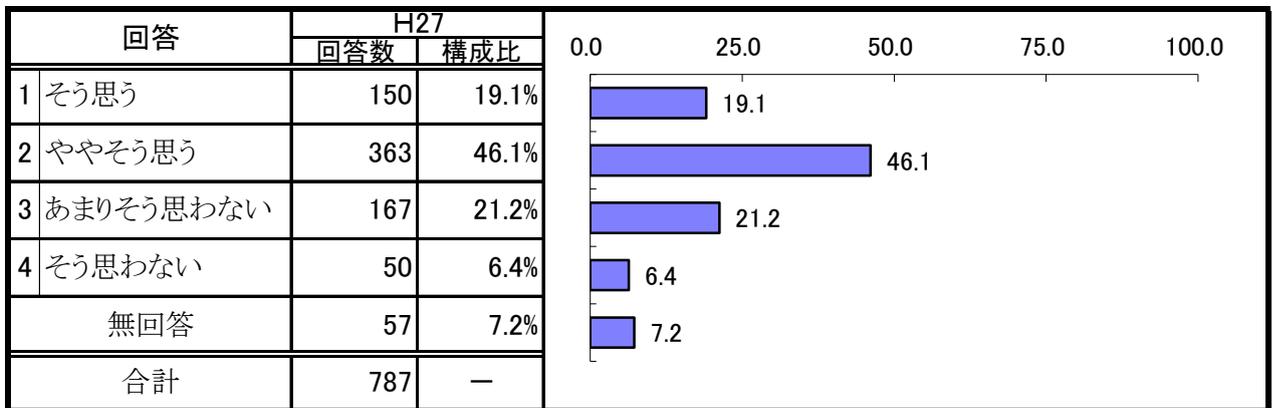


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 制度のしくみに疑問を感じるから	52	15.8%
b 給付が増大していて、安定的な運営に不安を感じるから	53	16.1%
c 社会保障にかかる家計の負担が大きいため	155	47.1%
d 制度の周知が十分でないから	53	16.1%
e その他	16	4.9%
有効回答数	329	—

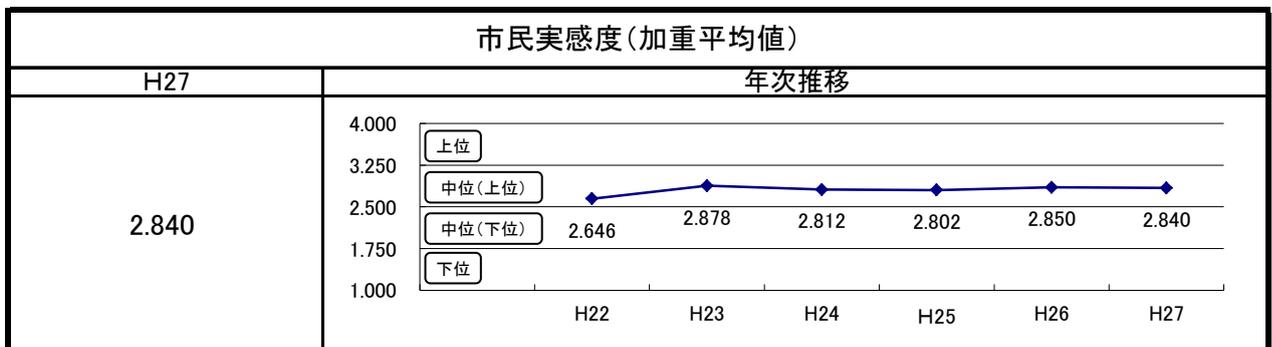


## 問15-B 安心して子どもを育てることができる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が65.2%（513人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が27.6%（217人）となっています。
- 市民実感度は、2.840となっており、昨年に比べて0.010下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した217人のうち、212人がその理由を回答しており、理由として「子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから」が最も多く、42.5%（90人）となっています。

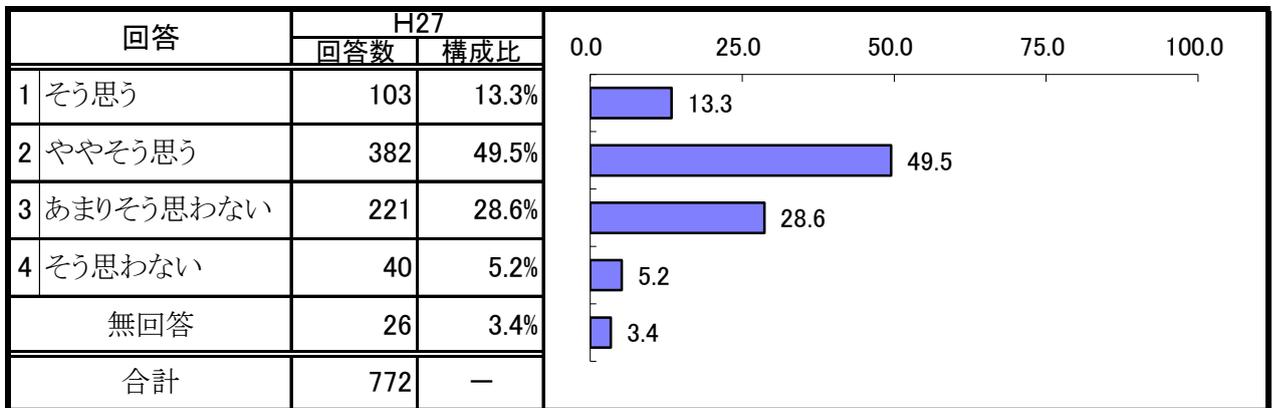


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 利用したい保育サービスが受けられないから	17	8.0%
b 子育てに関する情報が不足しているから	23	10.8%
c 子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから	90	42.5%
d 経済的な不安があるから	64	30.2%
e その他	18	8.5%
有効回答数	212	—

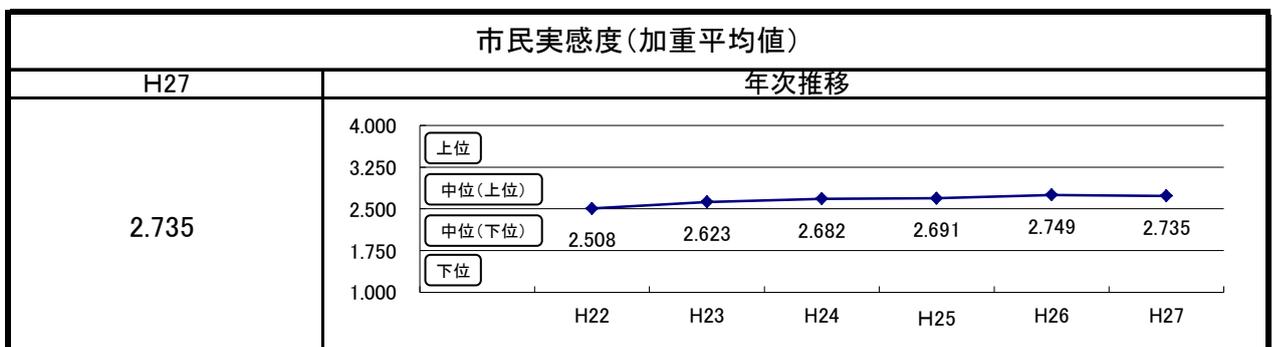


## 問16-A 青少年が健全に育つ環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が62.8%（485人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が33.8%（261人）となっています。
- 市民実感度は、2.735となっており、昨年に比べて0.014下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した261人のうち、249人がその理由を回答しており、理由として「有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから」が最も多く、34.1%（85人）となっています。



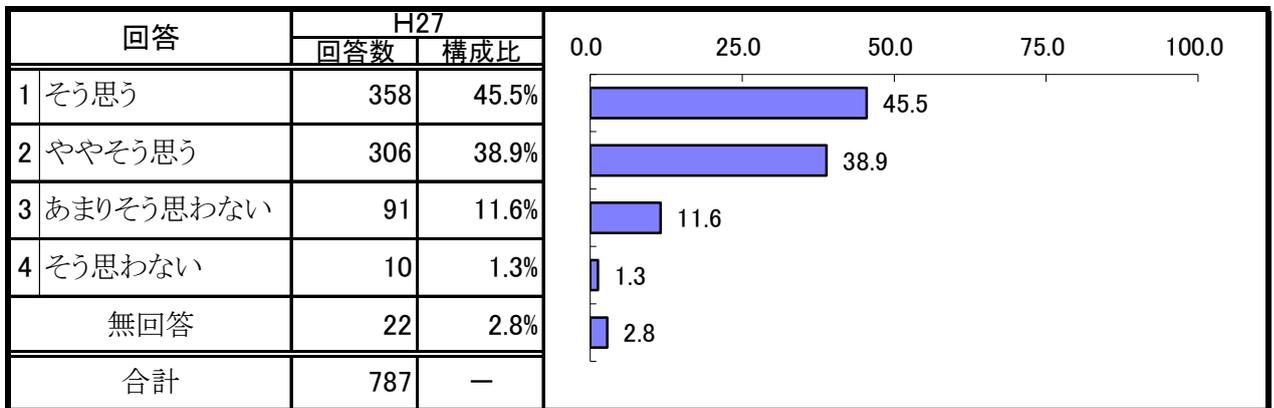
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 家庭や地域における子どものしつけが不足しているから	66	26.5%
b 家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから	43	17.3%
c 青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから	46	18.5%
d 有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから	85	34.1%
e その他	9	3.6%
有効回答数	249	—



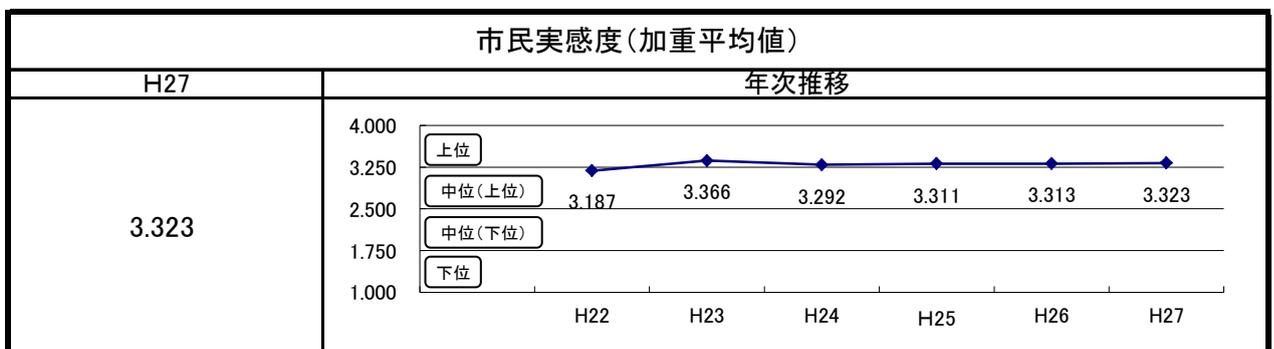


## 問16-B 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が84.4%（664人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が12.9%（101人）となっています。
- 市民実感度は、3.323となっており、昨年に比べて0.010上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した101人のうち、98人がその理由を回答しており、理由として「農業に関する具体的な取組み内容が分からないから」が最も多く、44.9%（44人）となっています。

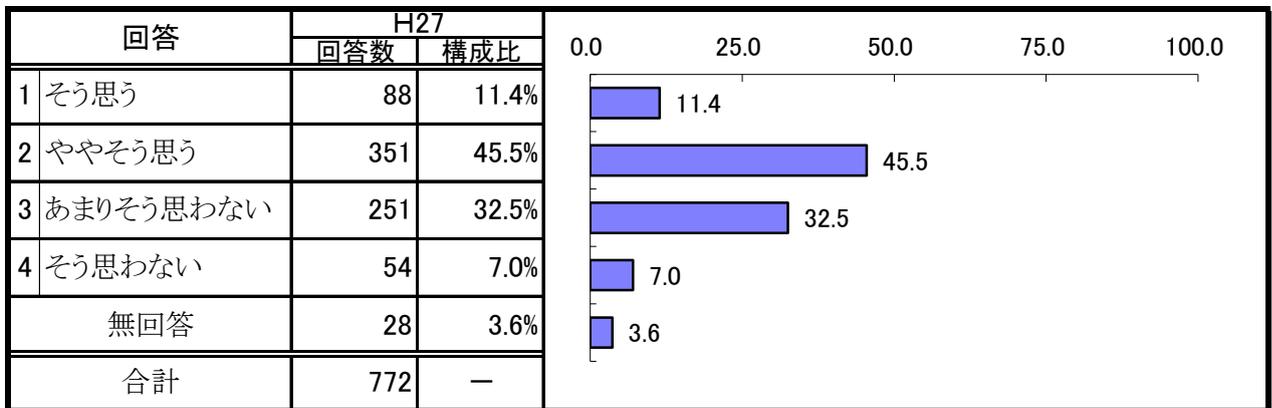


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りやすいから	22	22.4%
b 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから	20	20.4%
c 農業に関する具体的な取組み内容が分からないから	44	44.9%
d その他	12	12.2%
有効回答数	98	—

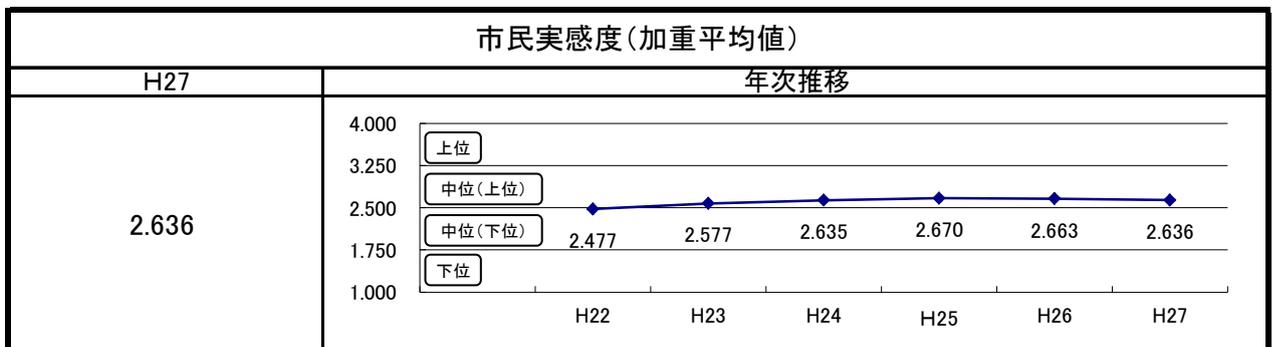


## 問17-A ものづくり産業に活気がある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が56.9%（439人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が39.5%（305人）となっています。
- 市民実感度は、2.636となっており、昨年に比べて0.027下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した305人のうち、294人がその理由を回答しており、理由として「製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから」が最も多く、34.7%（102人）となっています。

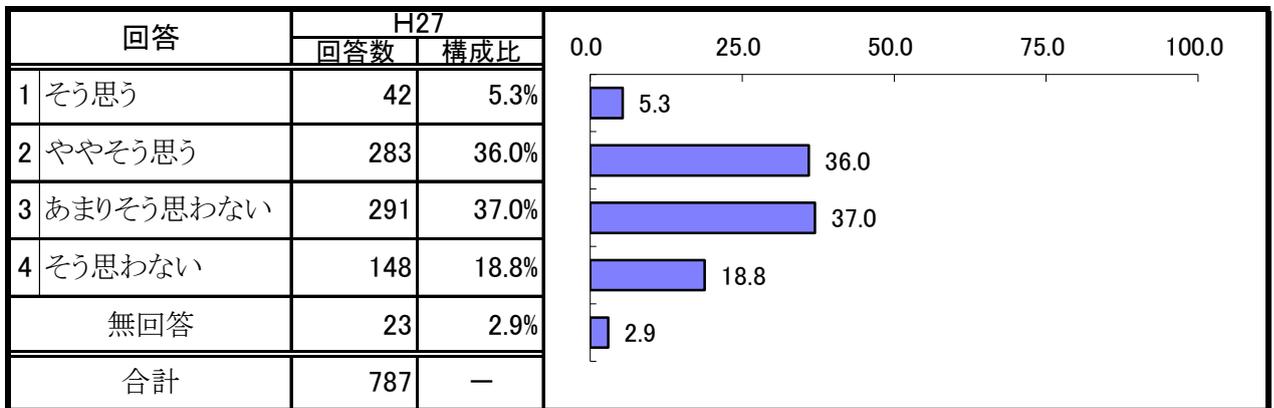


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから	91	31.0%
b 地元製品の市場拡大がすすんでいないから	85	28.9%
c 製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから	102	34.7%
d その他	16	5.4%
有効回答数	294	—

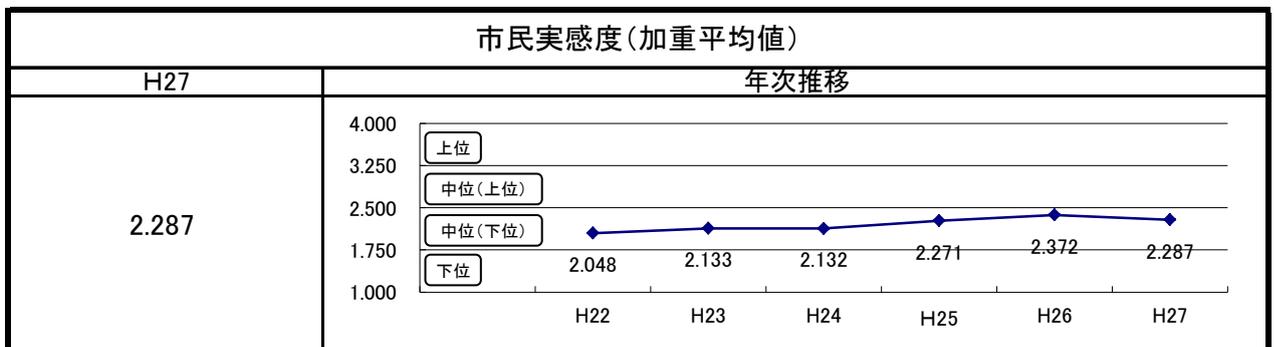


## 問17-B 商店や商店街に活気がある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が41.3% (325人)、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が55.8% (439人)となっています。
- 市民実感度は、2.287となっており、昨年に比べて0.085下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した439人のうち、409人がその理由を回答しており、理由として「商店の商品やサービスに魅力がないから」が最も多く、38.4% (157人)となっています。

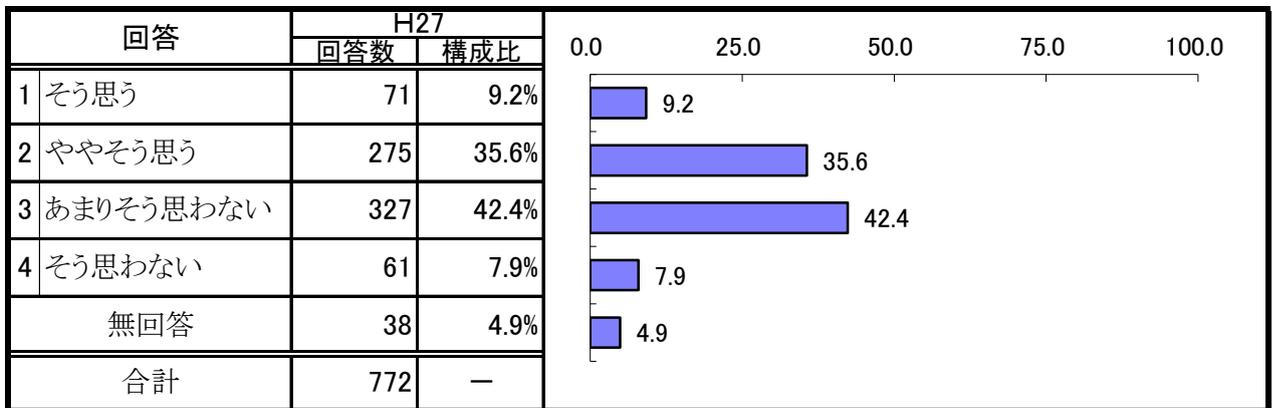


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 商店の商品やサービスに魅力がないから	157	38.4%
b 商店街の建物の外観、内装や設備に魅力がないから	44	10.8%
c 商店街の道路や歩道、街路灯などの整備が十分でないから	34	8.3%
d 商店街のイベントに魅力がないから	111	27.1%
e その他	63	15.4%
有効回答数	409	—

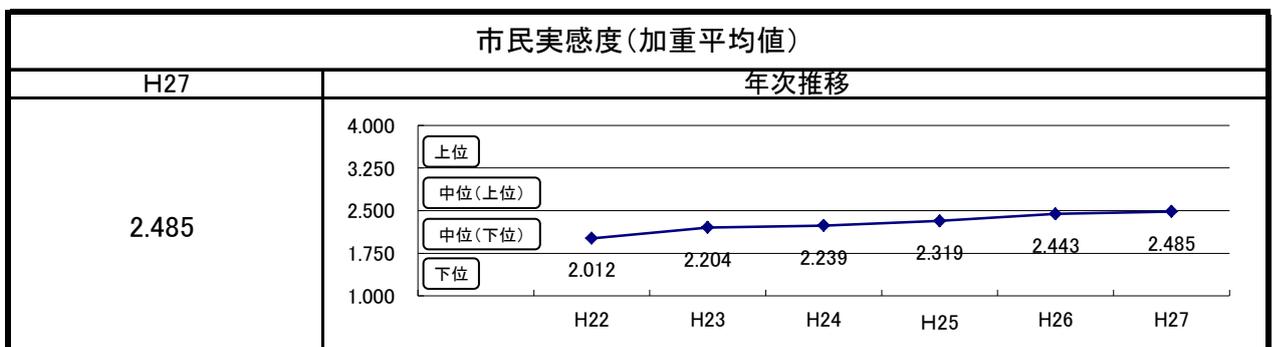


## 問18-A 地元の企業に活気がある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が44.8% (346人)、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が50.3% (388人)となっています。
- 市民実感度は、2.485となっており、昨年に比べて0.042上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した388人のうち、370人がその理由を回答しており、理由として「中小企業を支える人材が育成されていないから」が最も多く、36.2% (134人)となっています。

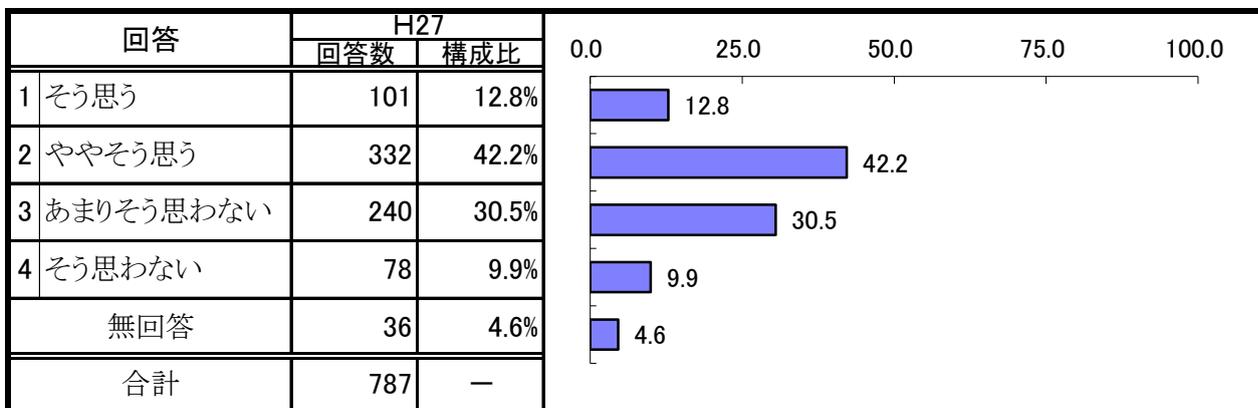


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 地元企業の経営が悪化しているから	109	29.5%
b 中小企業を支える人材が育成されていないから	134	36.2%
c 地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから	109	29.5%
d その他	18	4.9%
有効回答数	370	—

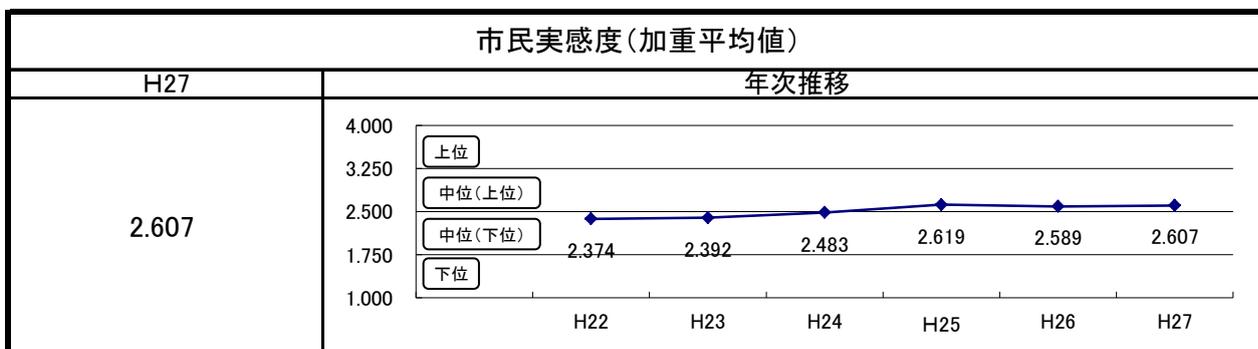


## 問18-B 企業が大学などと連携し、 新たな製品開発が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が55.0%（433人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が40.4%（318人）となっています。
- 市民実感度は、2.607となっており、昨年に比べて0.018下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した318人のうち、305人がその理由を回答しており、理由として「具体的な取り組み内容が分からないから」が最も多く、56.4%（172人）となっています。

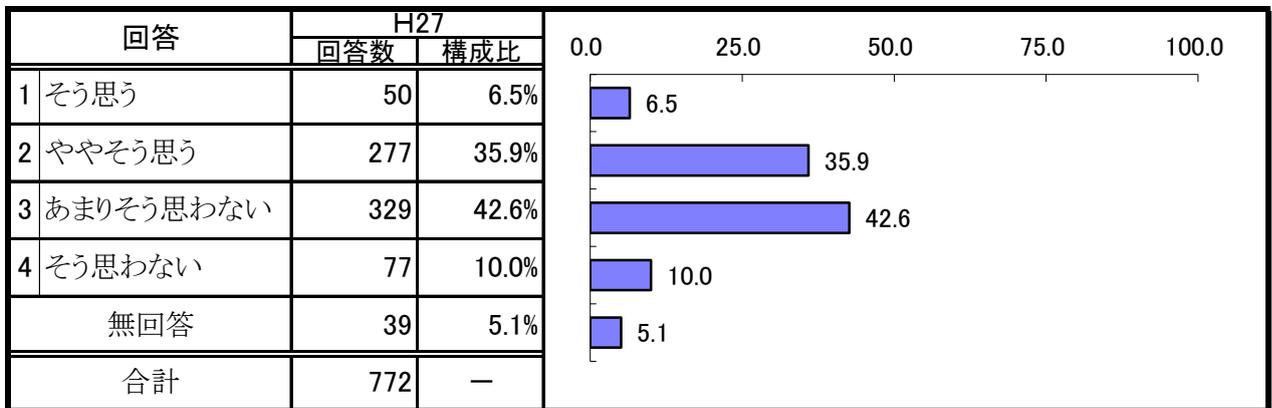


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから	13	4.3%
b 地元の企業と大学の連携がすすんでいないから	18	5.9%
c 新たに開発された地元製品のPRが不足しているから	87	28.5%
d 具体的な取り組み内容が分からないから	172	56.4%
e その他	15	4.9%
有効回答数	305	—

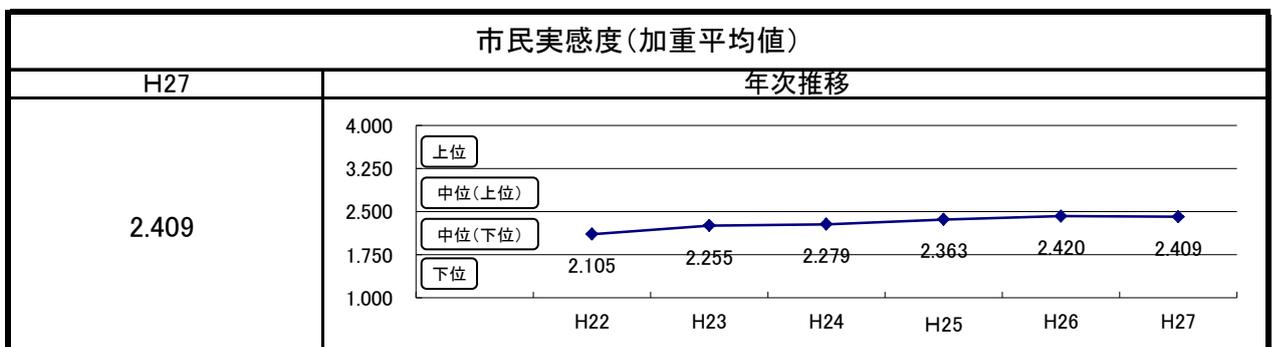


## 問19-A 意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が42.4% (327人)、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が52.6% (406人)となっています。
- 市民実感度は、2.409となっており、昨年に比べて0.011下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した406人のうち、390人がその理由を回答しており、理由として「女性や高齢者の働く場が少ないから」が最も多く、29.5% (115人)となっています。



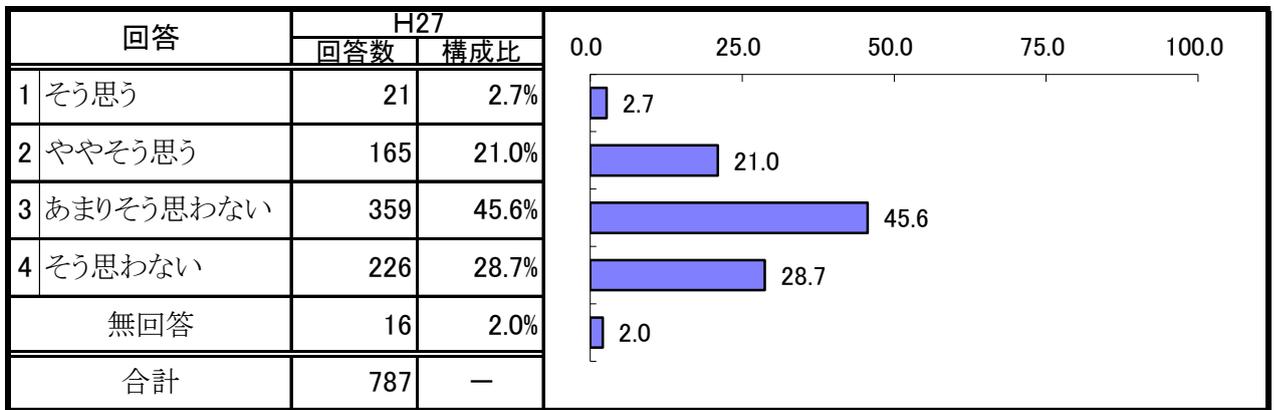
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 若い人の働く場が少ないから	105	26.9%
b 女性や高齢者の働く場が少ないから	115	29.5%
c 能力や経験を活かせる職場が少ないから	60	15.4%
d 会社の福利厚生が整っていないから	38	9.7%
e 働くために必要な能力を身につけるための機関や制度が十分でないから	52	13.3%
f その他	20	5.1%
有効回答数	390	—



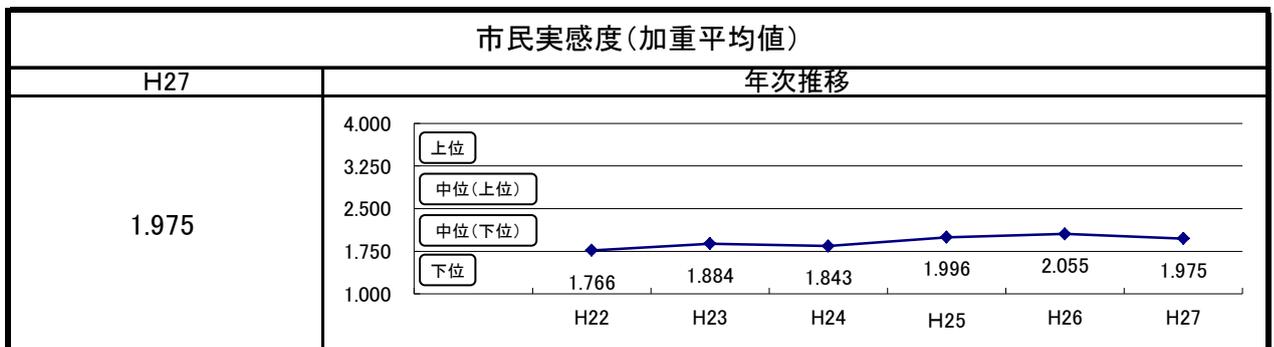


## 問19-B 中心市街地に魅力とにぎわいがある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が23.7%（186人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が74.3%（585人）となっています。
- 市民実感度は、1.975となっており、昨年に比べて0.080下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した585人のうち、553人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある店舗が少ないから」が最も多く、63.8%（353人）となっています。

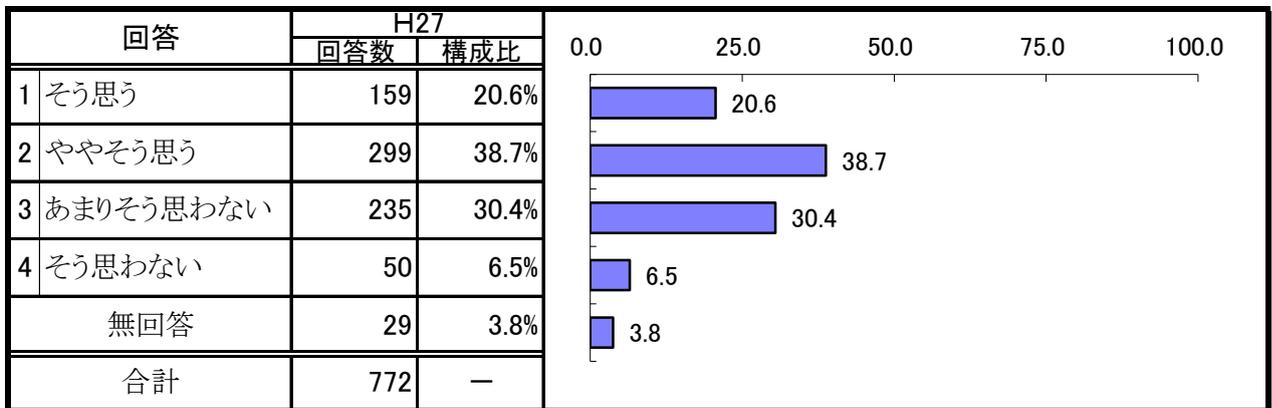


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 魅力ある店舗が少ないから	353	63.8%
b 中心市街地への交通の利便性が悪いから	81	14.6%
c 各種イベントに魅力がないから	62	11.2%
d その他	57	10.3%
有効回答数	553	—

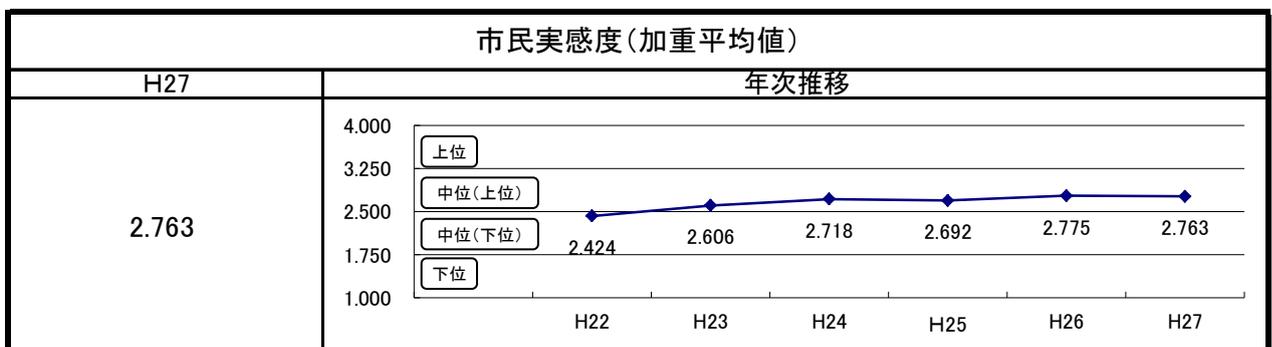


## 問20-A 自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が59.3%（458人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が36.9%（285人）となっています。
- 市民実感度は、2.763となっており、昨年に比べて0.012下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した285人のうち、277人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある観光地が少ないから」が最も多く、50.2%（139人）となっています。

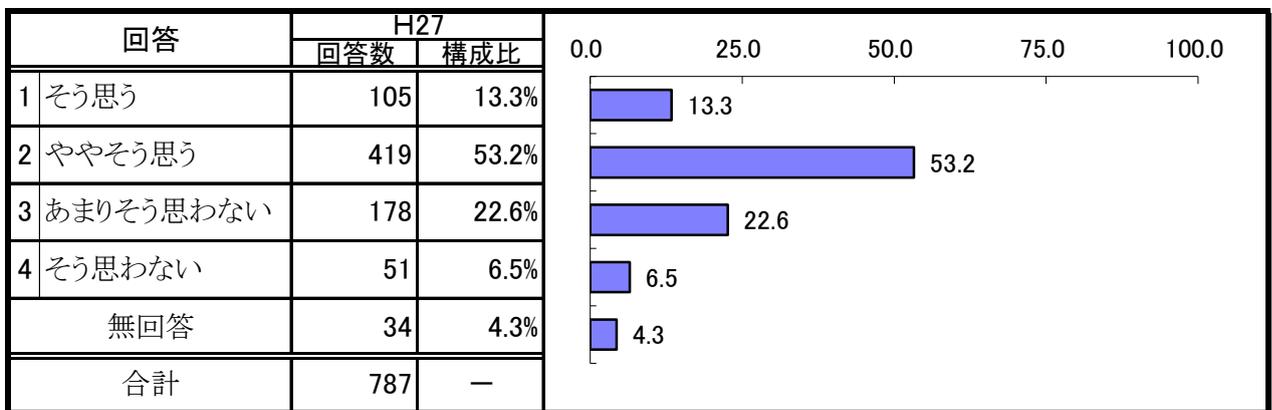


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 魅力ある観光地が少ないから	139	50.2%
b 観光イベントに魅力がないから	62	22.4%
c 観光情報の発信やPRが不足しているから	62	22.4%
d その他	14	5.1%
有効回答数	277	—

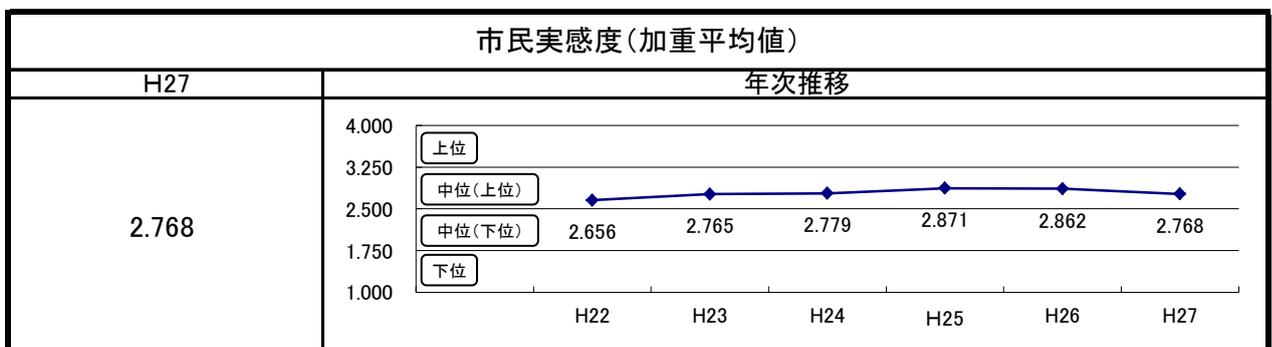


## 問20-B 自然環境が保全され、 環境への負荷を低減する取り組みが行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が66.5% (524人)、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が29.1% (229人)となっています。
- 市民実感度は、2.768となっており、昨年に比べて0.094下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した229人のうち、221人がその理由を回答しており、理由として「一般家庭への新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから」が最も多く、29.9% (66人)となっています。

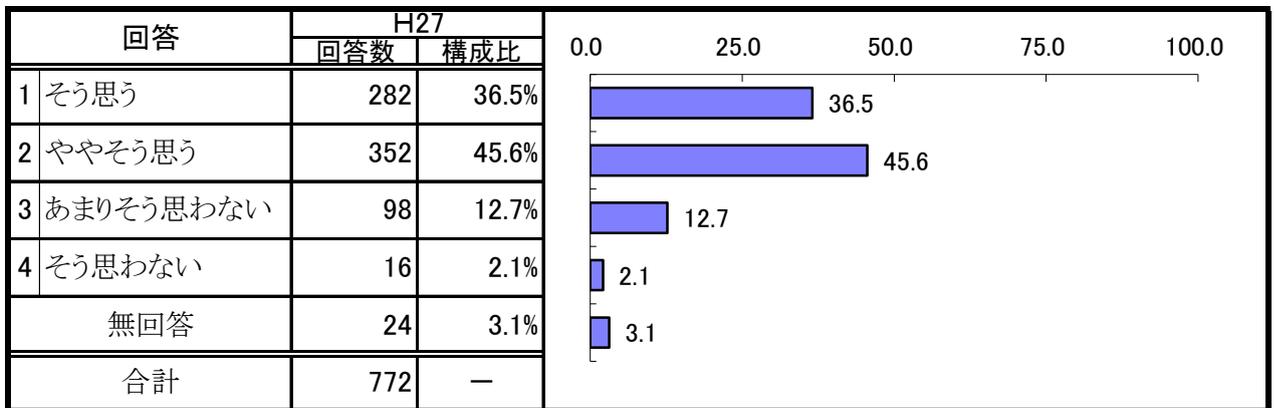


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 環境保全に関する意識が低いから	61	27.6%
b 公共施設における新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから	26	11.8%
c 一般家庭への新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから	66	29.9%
d 騒音や悪臭が気になるから	18	8.1%
e 市内の良好な自然環境が守られていないから	29	13.1%
f その他	21	9.5%
有効回答数	221	—

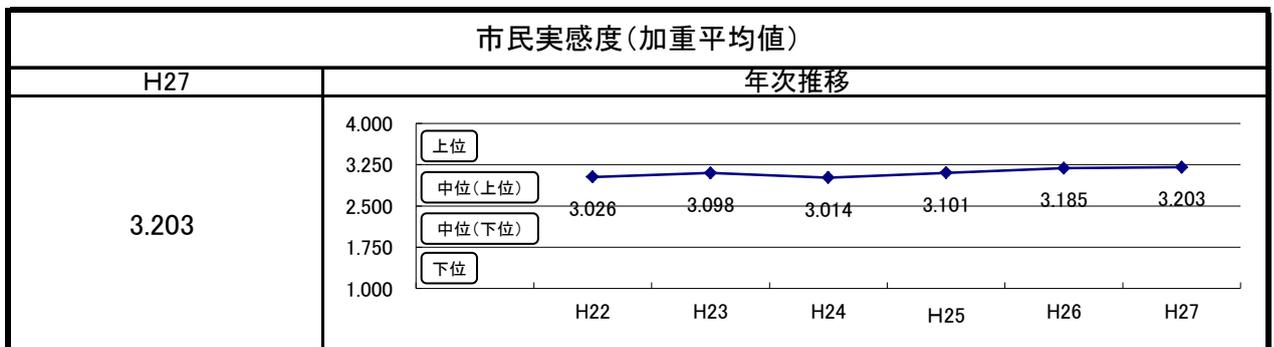


## 問21-A ごみの減量やリサイクルなど、 廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が82.1%（634人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が14.8%（114人）となっています。
- 市民実感度は、3.203となっており、昨年に比べて0.018上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した114人のうち、111人がその理由を回答しており、理由として「ごみの分別や排出日が守られていないから」が最も多く、36.0%（40人）となっています。

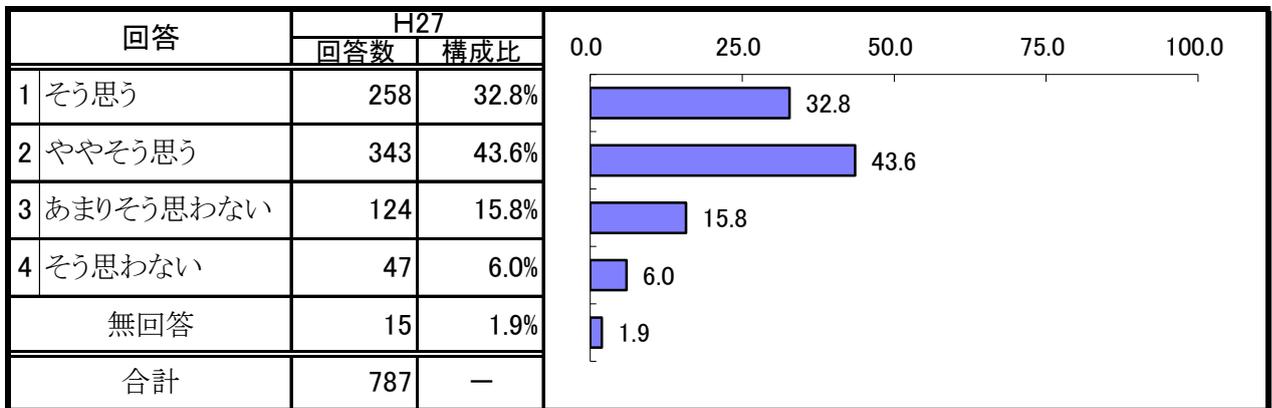


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a ごみの分別や排出日が守られていないから	40	36.0%
b 再使用や資源化に関する意識が低いから	29	26.1%
c 事業者のごみ減量や資源再生利用の取り組みが十分でないから	13	11.7%
d 行政の取り組みや周知が十分でないから	21	18.9%
e その他	8	7.2%
有効回答数	111	—

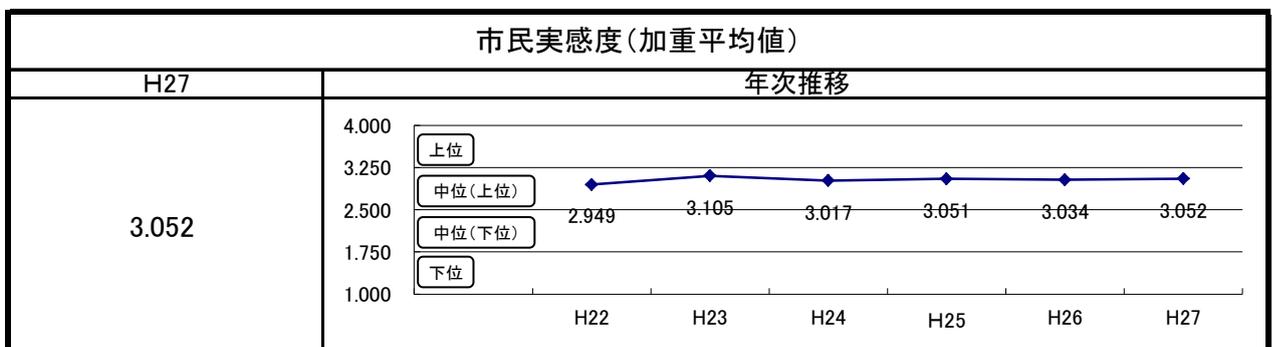


## 問21-B 公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が76.4%（601人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が21.8%（171人）となっています。
- 市民実感度は、3.052となっており、昨年に比べて0.018上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した171人のうち、167人がその理由を回答しており、理由として「街路樹の管理が十分に行われていないから」が最も多く、37.1%（62人）となっています。

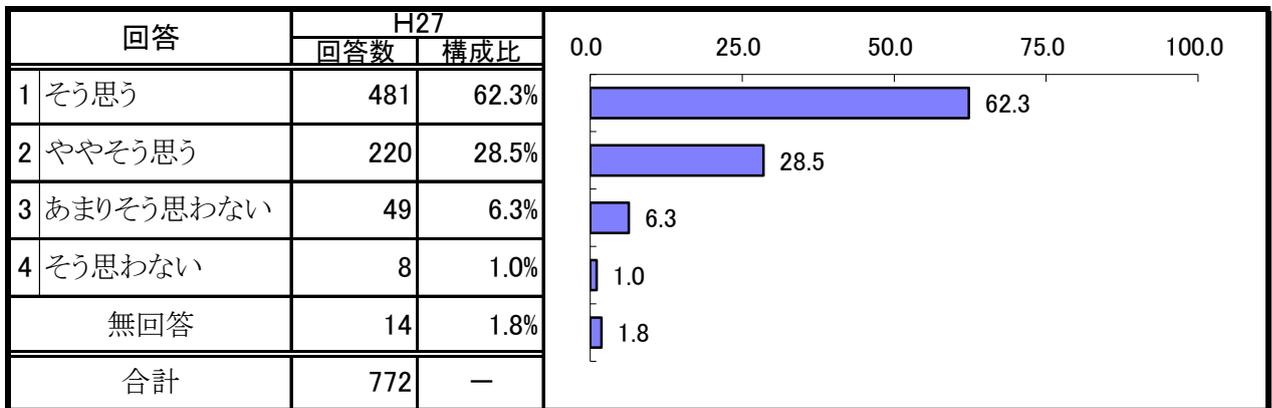


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 身近なところに公園が少ないから	15	9.0%
b 身近なところに緑が少ないから	8	4.8%
c 公園の管理が十分に行われていないから	30	18.0%
d 街路樹の管理が十分に行われていないから	62	37.1%
e 緑化に関する意識が低いから	23	13.8%
f その他	29	17.4%
有効回答数	167	—

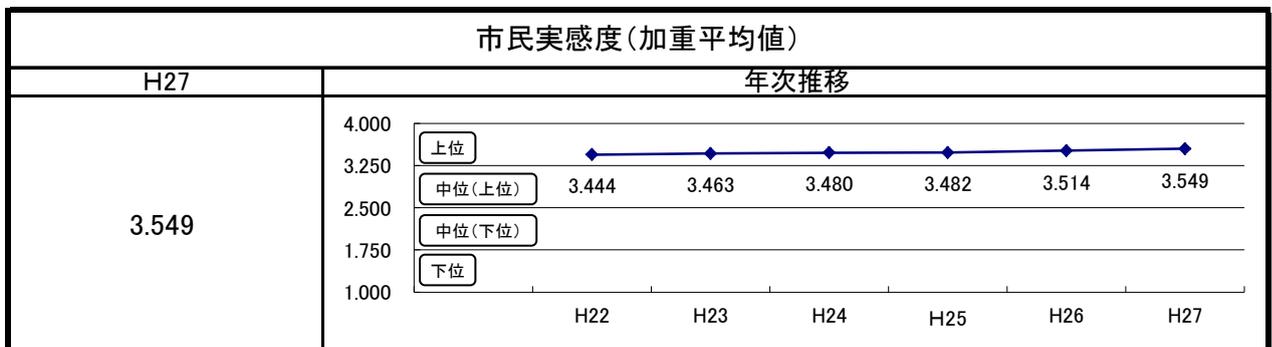


## 問22-A おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が90.8%（701人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が7.3%（57人）となっています。
- 市民実感度は、3.549となっており、昨年に比べて0.035上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した57人全員がその理由を回答しており、理由として「水道水がおいしいと感じないから」が最も多く、63.6%（35人）となっています。

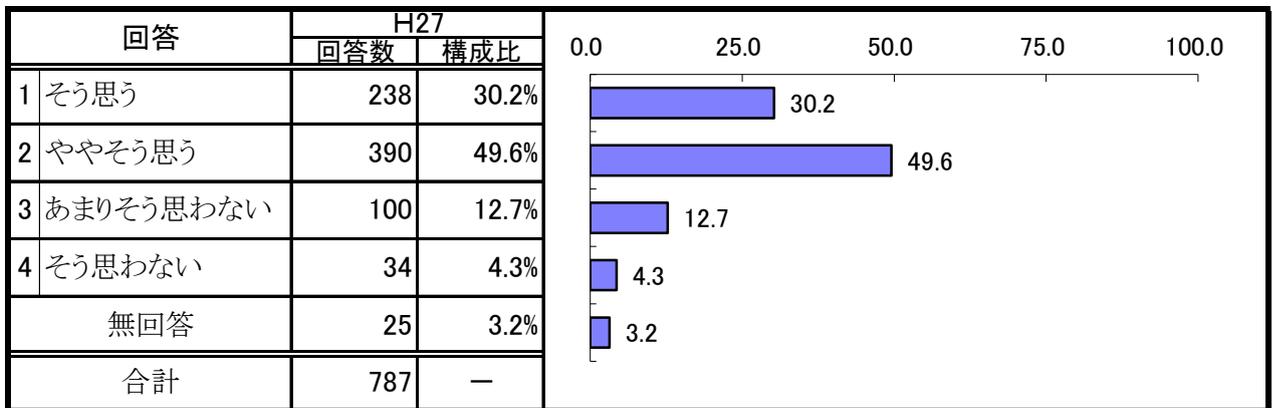


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 水道水がおいしいと感じないから	35	63.6%
b 断水や濁水などが発生したことがあるから	1	1.8%
c 災害時の不安があるから	12	21.8%
d その他	7	12.7%
有効回答数	55	—

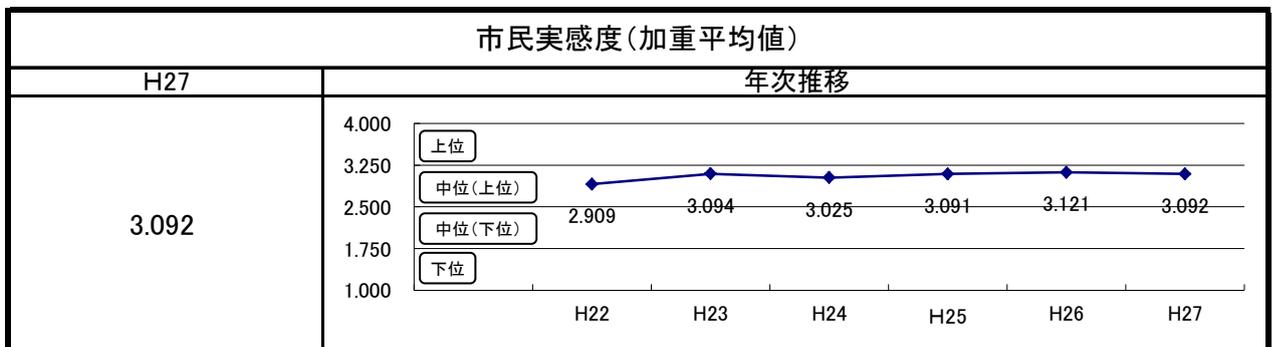


## 問22-B 生活廃水や雨水が適切に処理されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が79.8%（628人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が17.0%（134人）となっています。
- 市民実感度は、3.092となっており、昨年に比べて0.029下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した134人のうち、127人がその理由を回答しており、理由として「降雨時に浸水するところがあるから」が最も多く、51.2%（65人）となっています。

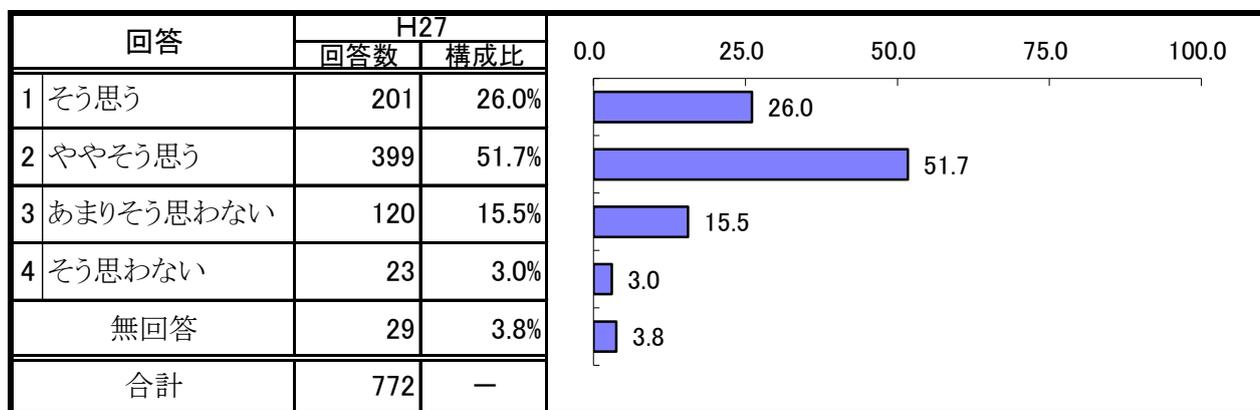


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 下水道が普及していないところがあるから	19	15.0%
b 降雨時に浸水するところがあるから	65	51.2%
c 災害時の不安があるから	32	25.2%
d その他	11	8.7%
有効回答数	127	—

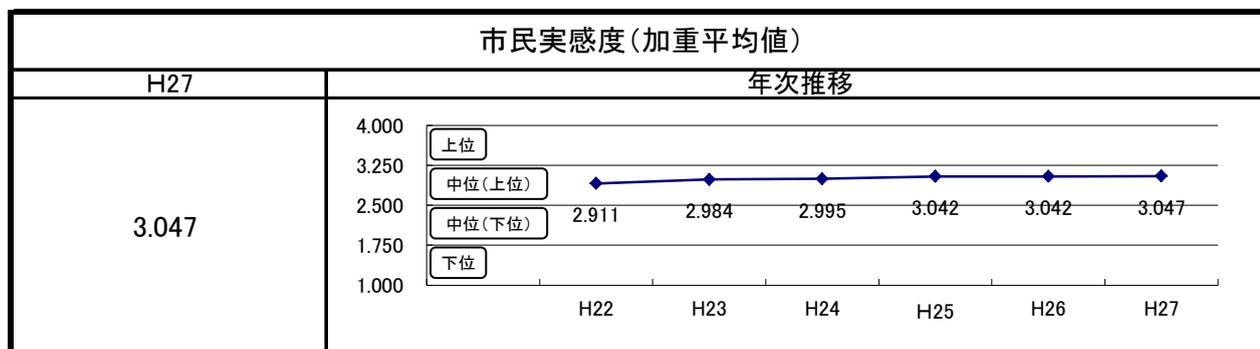


## 問23-A 快適で住みやすい居住空間が確保されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が77.7%（600人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が18.5%（143人）となっています。
- 市民実感度は、3.047となっており、昨年に比べて0.005上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した143人のうち、138人がその理由を回答しており、理由として「住宅地の価格が高いから」が最も多く、33.3%（46人）となっています。

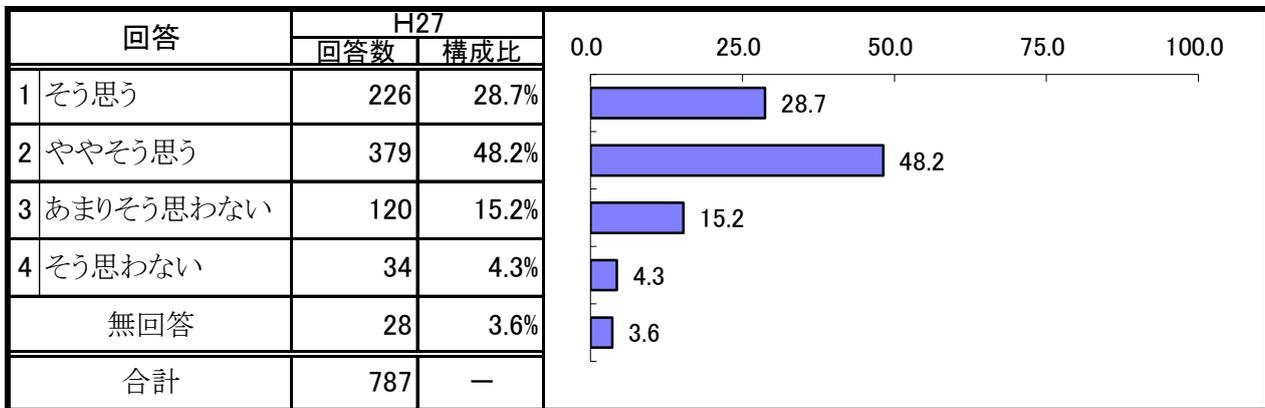


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 住宅地の価格が高いから	46	33.3%
b 住宅や住宅地に関する情報が少ないから	36	26.1%
c 公営住宅を希望しても入れないから	34	24.6%
d その他	22	15.9%
有効回答数	138	—

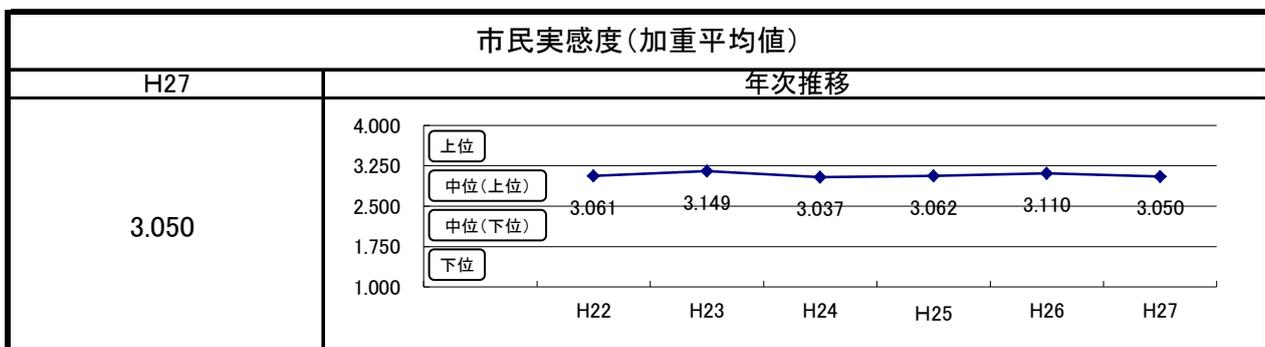


問23-B 都市部や農村部において、  
帯広・十勝らしい景観が形成されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が76.9%（605人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が19.5%（154人）となっています。
- 市民実感度は、3.050となっており、昨年に比べて0.060下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した154人のうち、146人がその理由を回答しており、理由として「景観を見て楽しめる場所が少ないから」が最も多く、57.5%（84人）となっています。

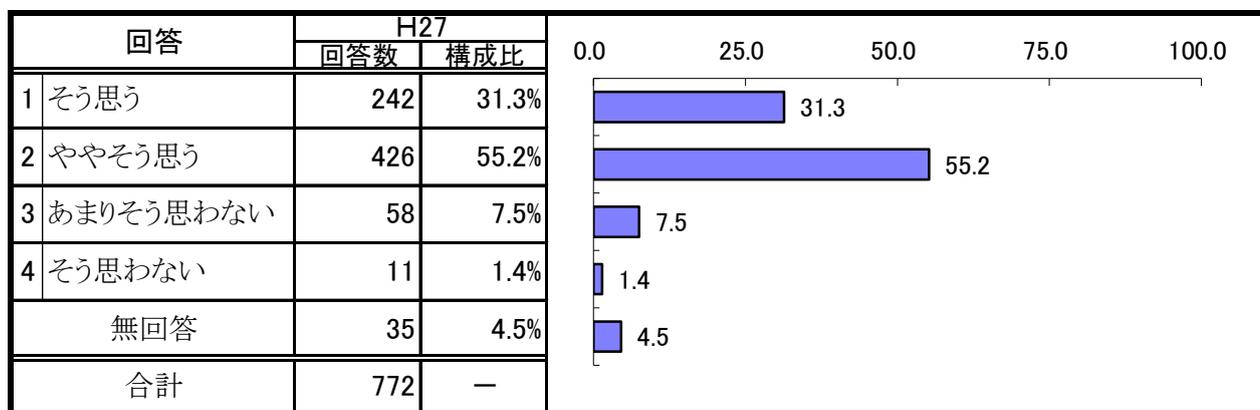


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 駅周辺の景観が損なわれているから	20	13.7%
b 駅周辺以外の市街地の景観が損なわれているから	20	13.7%
c 農村部・山林部の景観が損なわれているから	10	6.8%
d 景観を見て楽しめる場所が少ないから	84	57.5%
e その他	12	8.2%
有効回答数	146	—

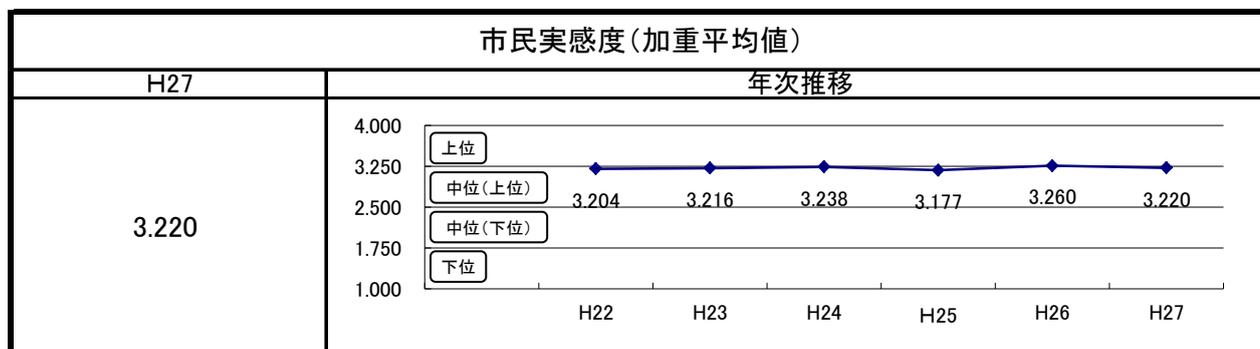


## 問24-A 墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が86.5%（668人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が8.9%（69人）となっています。
- 市民実感度は、3.220となっており、昨年に比べて0.040下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した69人のうち、67人がその理由を回答しており、理由として「市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから」が最も多く、43.3%（29人）となっています。

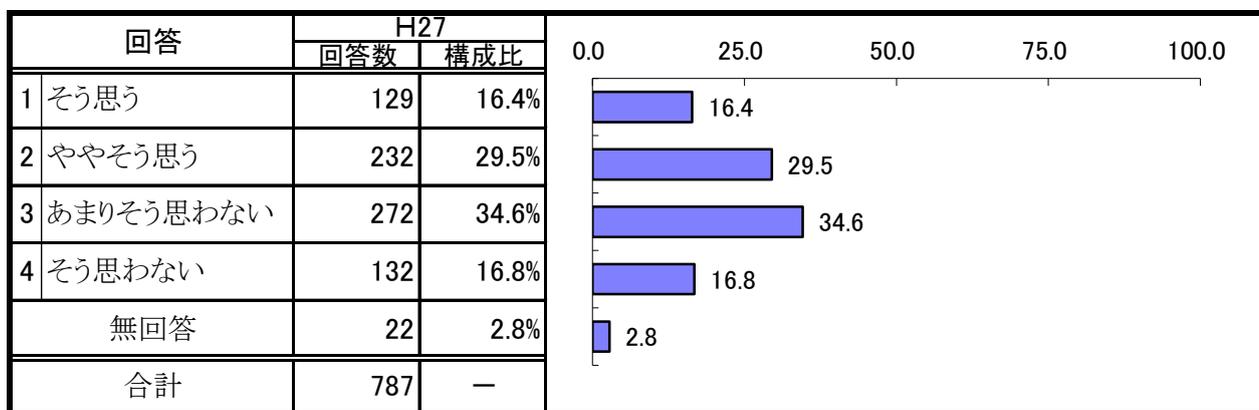


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから	29	43.3%
b 墓地の管理が十分でないから	14	20.9%
c 火葬場の管理が十分でないから	4	6.0%
d その他	20	29.9%
有効回答数	67	—

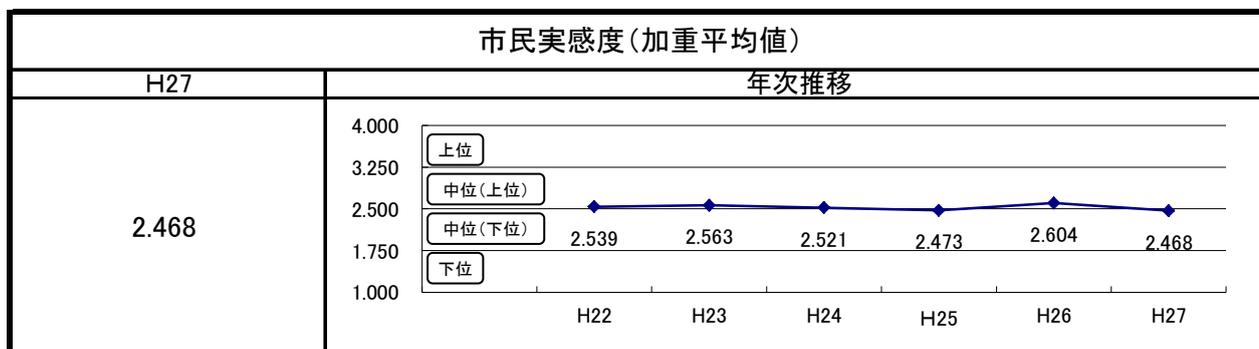


## 問24-B 幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が45.9%（361人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が51.4%（404人）となっています。
- 市民実感度は、2.468となっており、昨年に比べて0.136下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した404人のうち、379人がその理由を回答しており、理由として「道路や歩道の除雪が十分でないから」が最も多く、72.8%（276人）となっています。

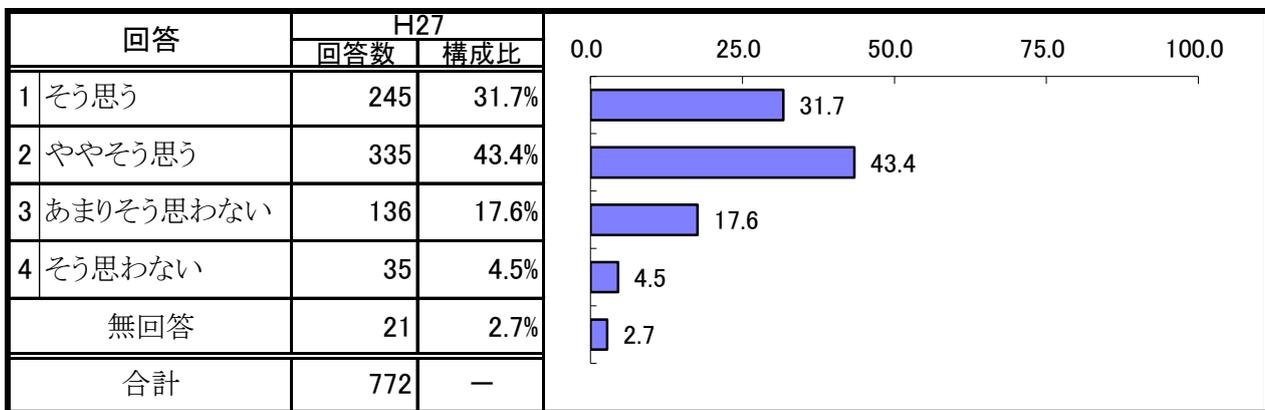


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 整備されていない道路があるから	43	11.3%
b 道路が適切に維持管理されていないから	36	9.5%
c 道路や歩道の除雪が十分でないから	276	72.8%
d その他	24	6.3%
有効回答数	379	—

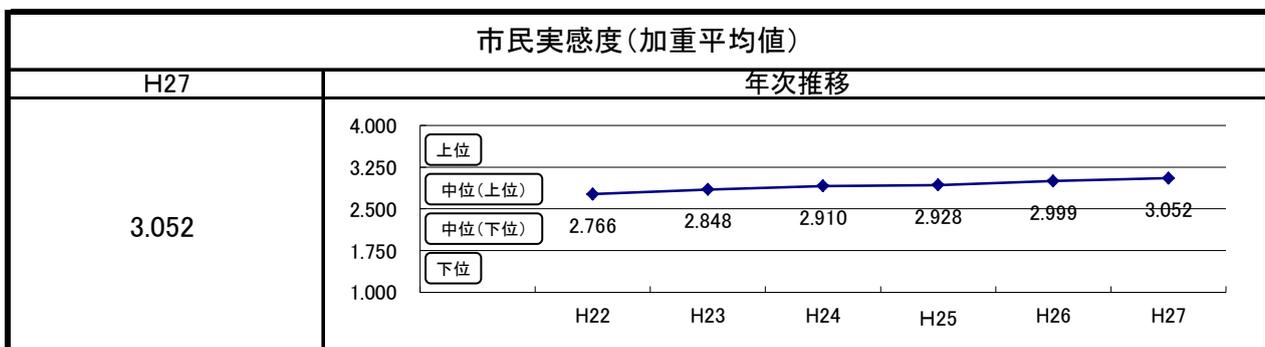


## 問25-A 空港、バス、高速道路など、 交通の利便性が確保されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が75.1%（580人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が22.1%（171人）となっています。
- 市民実感度は、3.052となっており、昨年に比べて0.053上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した171人のうち、161人がその理由を回答しており、理由として「バスの利便性が良くないから」が最も多く、52.2%（84人）となっています。

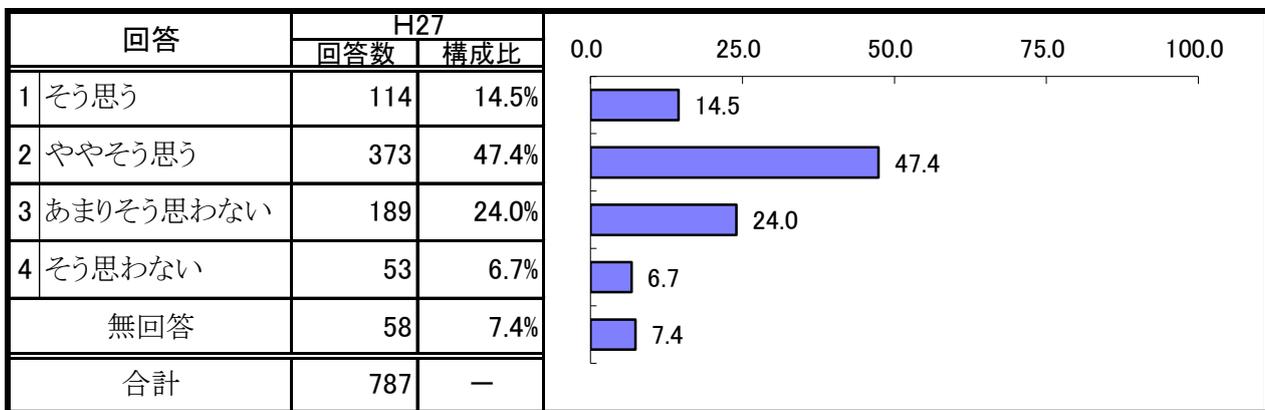


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 航空の利便性が良くないから	40	24.8%
b 鉄道の利便性が良くないから	12	7.5%
c バスの利便性が良くないから	84	52.2%
d 高速道路の利便性が良くないから	15	9.3%
e その他	10	6.2%
有効回答数	161	—

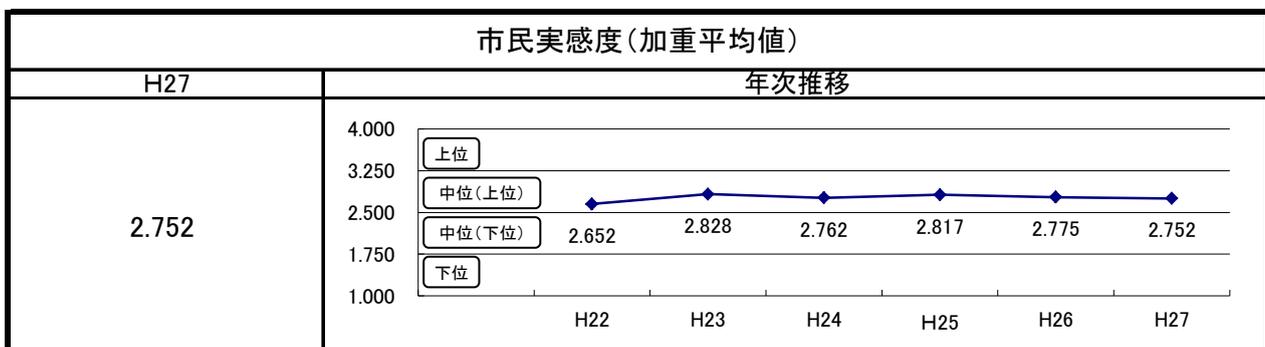


## 問25-B 高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が61.9%（487人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が30.7%（242人）となっています。
- 市民実感度は、2.752となっており、昨年に比べて0.023下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した242人のうち、237人がその理由を回答しており、理由として「パソコンやインターネットの使い方が分からないから」が最も多く、47.3%（112人）となっています。



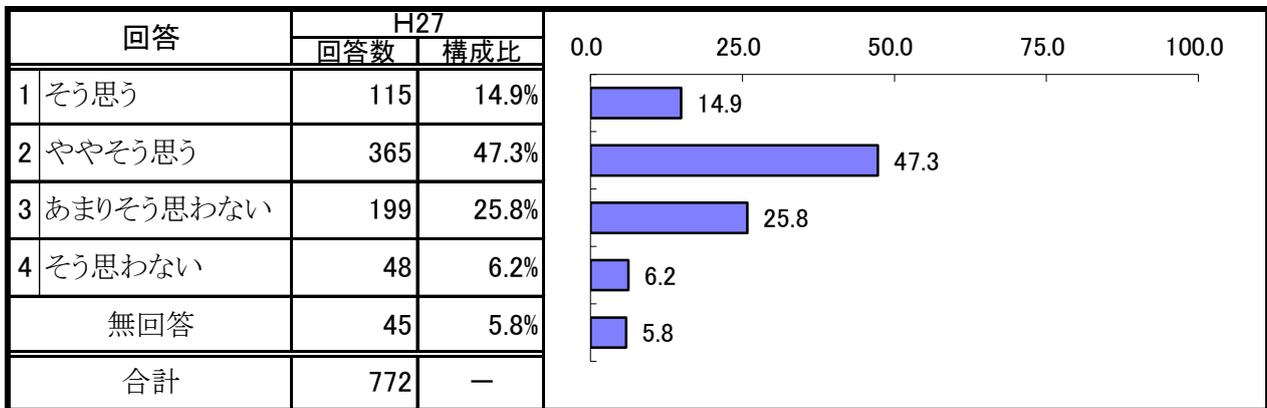
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 高速インターネットを利用できる環境が整っていないから	46	19.4%
b パソコンやインターネットの使い方が分からないから	112	47.3%
c 利用したい情報サービスが少ないから	53	22.4%
d その他	26	11.0%
有効回答数	237	—



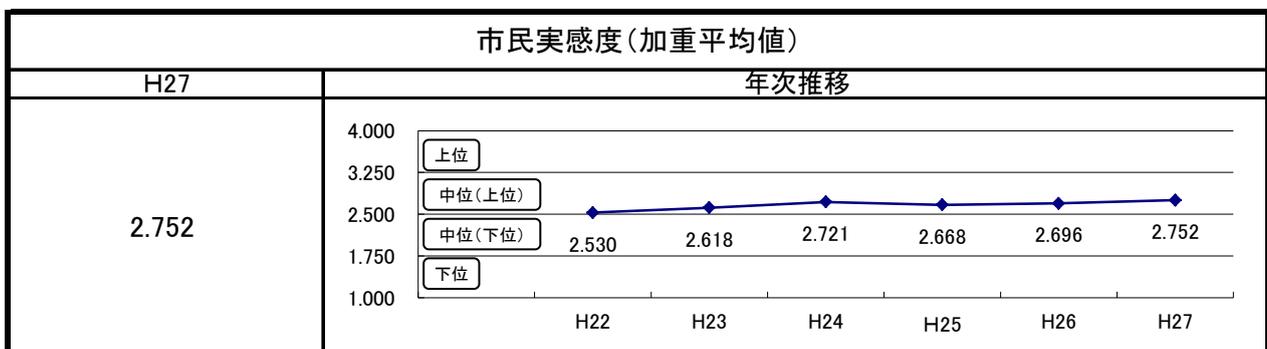


## 問26-A 小学校・中学校において充実した教育が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が62.2%（480人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が32.0%（247人）となっています。
- 市民実感度は、2.752となっており、昨年に比べて0.056上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した247人のうち、233人がその理由を回答しており、理由として「子どもの道徳心が育っていないから」が最も多く、33.0%（77人）となっています。

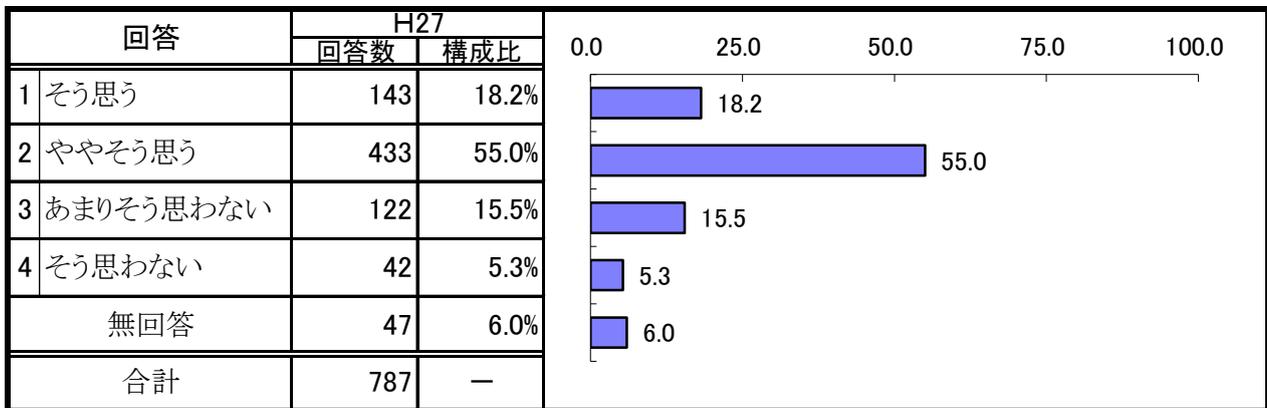


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 子どもの学力が低下しているから	32	13.7%
b 子どもの体力が低下しているから	32	13.7%
c 子どもの道徳心が育っていないから	77	33.0%
d 教師の指導力が不足しているから	70	30.0%
e その他	22	9.4%
有効回答数	233	—

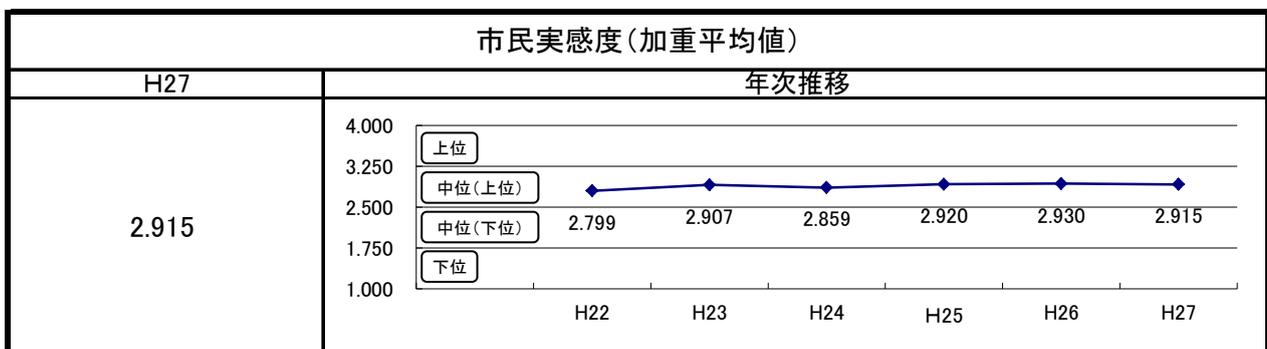


## 問26-B 子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が73.2%（576人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が20.8%（164人）となっています。
- 市民実感度は、2.915となっており、昨年に比べて0.015下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した164人のうち、156人がその理由を回答しており、理由として「特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから」が最も多く、35.3%（55人）となっています。



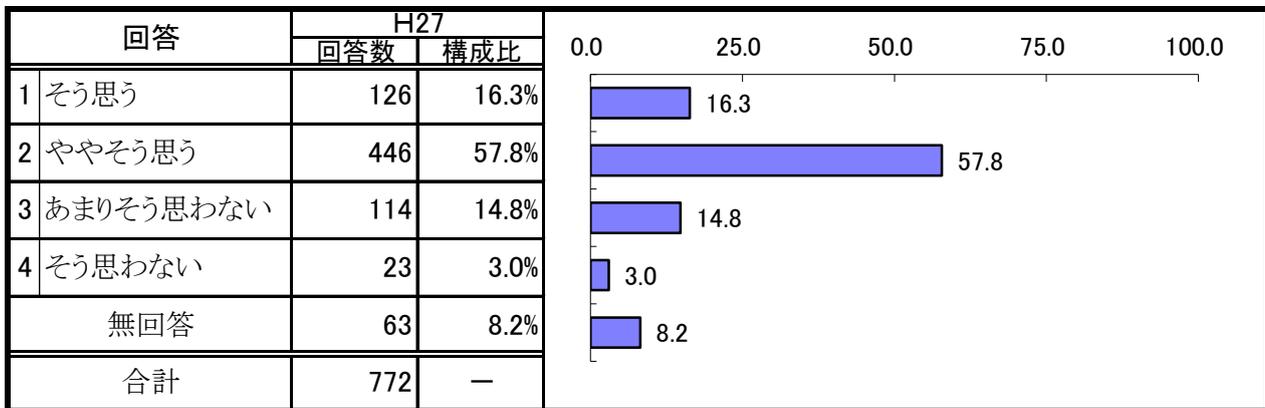
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから	28	17.9%
b 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから	55	35.3%
c 教育に関する情報が、保護者に十分に提供されていないから	38	24.4%
d その他	35	22.4%
有効回答数	156	—



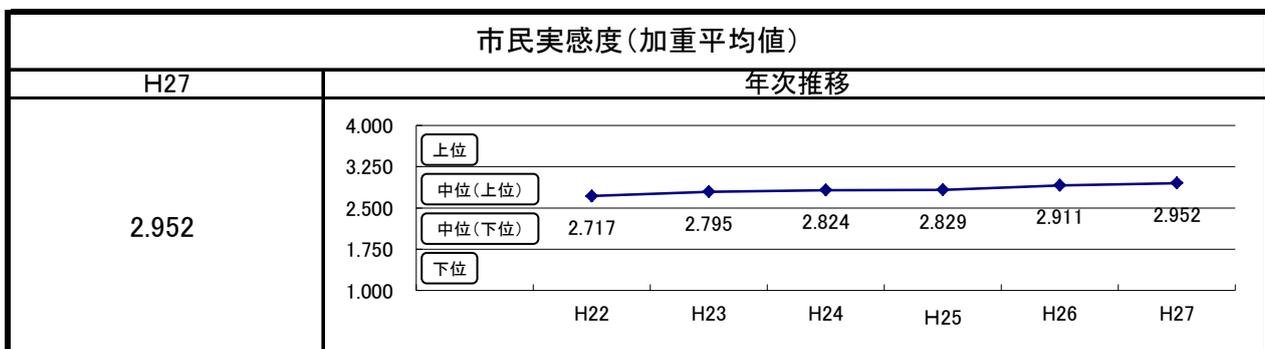


## 問27-A 高等学校において充実した教育が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が74.1%（572人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が17.8%（137人）となっています。
- 市民実感度は、2.952となっており、昨年に比べて0.041上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した137人のうち、131人がその理由を回答しており、理由として「社会性を育む教育が行われていないから」が最も多く、58.0%（76人）となっています。



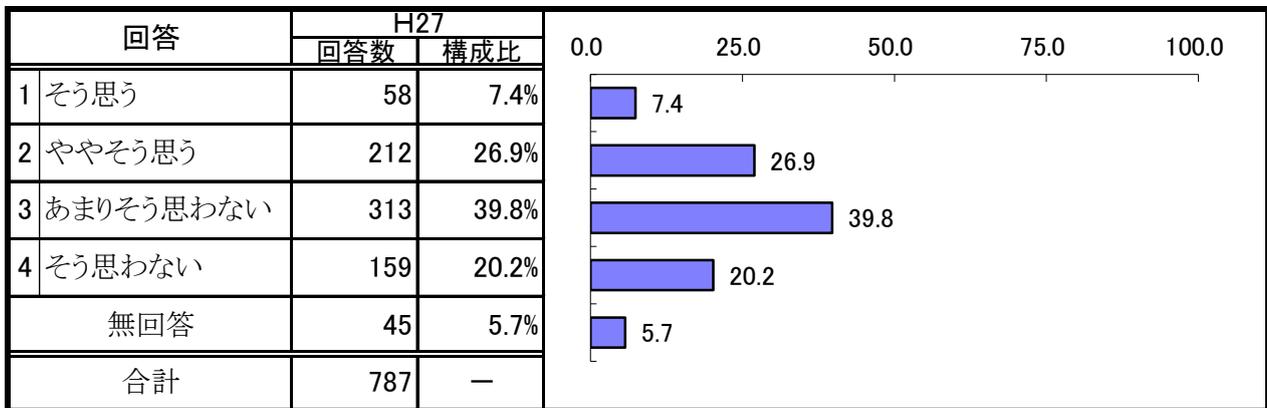
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 特色ある教育が行われていないから	23	17.6%
b 学習内容が身につけていないから	17	13.0%
c 社会性を育む教育が行われていないから	76	58.0%
d その他	15	11.5%
有効回答数	131	—



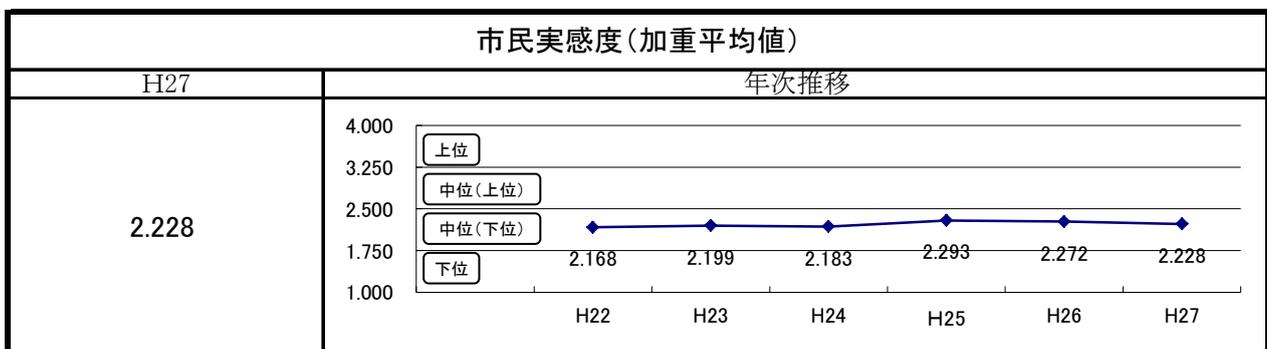


## 問27-B 大学や専修学校など、 高度な教育を受けることができる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が34.3%（270人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が60.0%（472人）となっています。
- 市民実感度は、2.228となっており、昨年に比べて0.044下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した472人のうち、443人がその理由を回答しており、理由として「大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから」が最も多く、53.5%（237人）となっています。

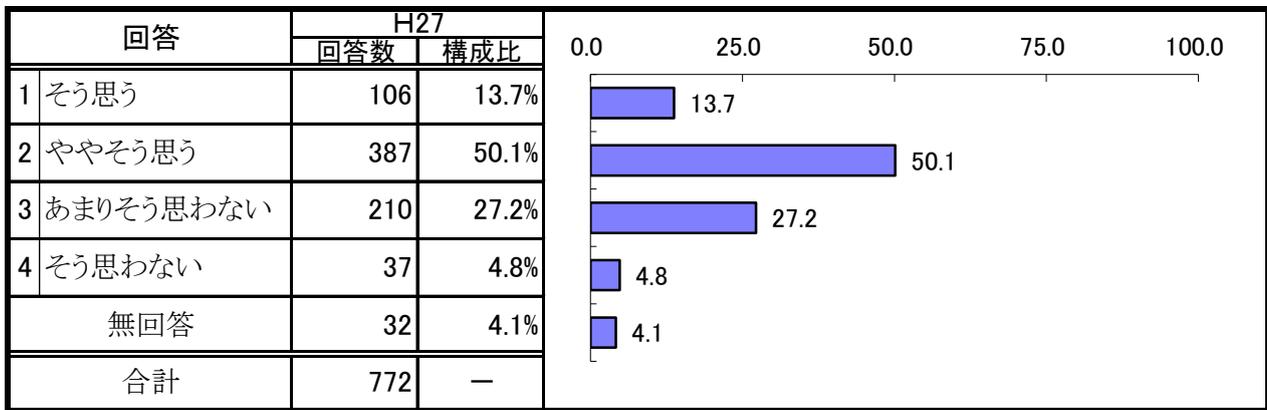


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから	237	53.5%
b 地元の大学などに学びたい分野(学部、学科、コース)がないから	101	22.8%
c 働きながら学ぶことのできる環境が整っていないから	46	10.4%
d 地域産業を支える人材育成の取り組みが充実していないから	33	7.4%
e 大学などを活用した市民の生涯学習機会が充実していないから	9	2.0%
f その他	17	3.8%
有効回答数	443	—

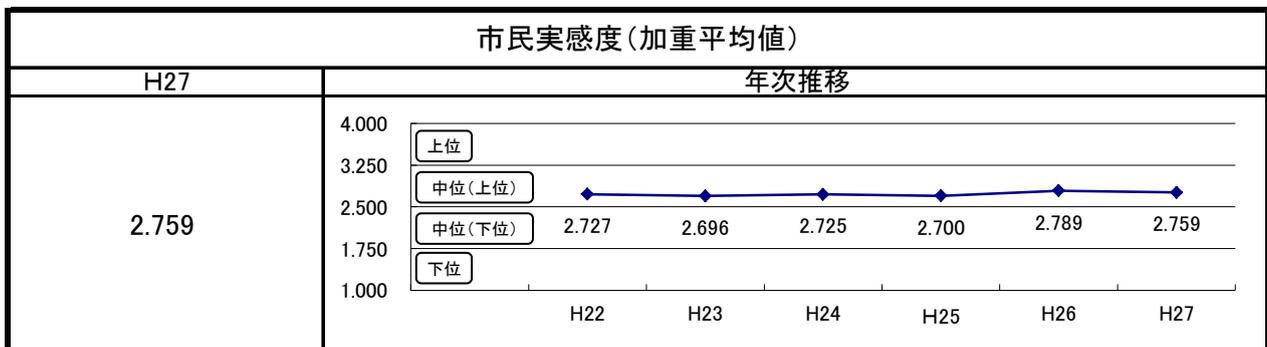


## 問28-A 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が63.8%（493人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が32.0%（247人）となっています。
- 市民実感度は、2.759となっており、昨年に比べて0.030下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した247人のうち、241人がその理由を回答しており、理由として「参加したいと思う講座が少ないから」が最も多く、32.8%（79人）となっています。

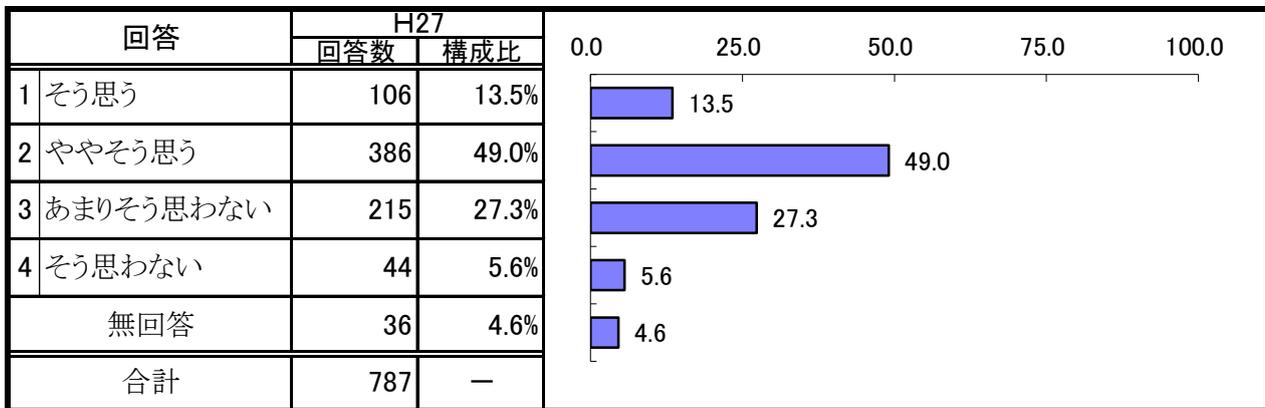


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 参加したいと思う講座が少ないから	79	32.8%
b 学習に関する情報が少ないから	67	27.8%
c 社会教育施設に魅力がないから	51	21.2%
d 学習成果を活かす機会が少ないから	28	11.6%
e その他	16	6.6%
有効回答数	241	—

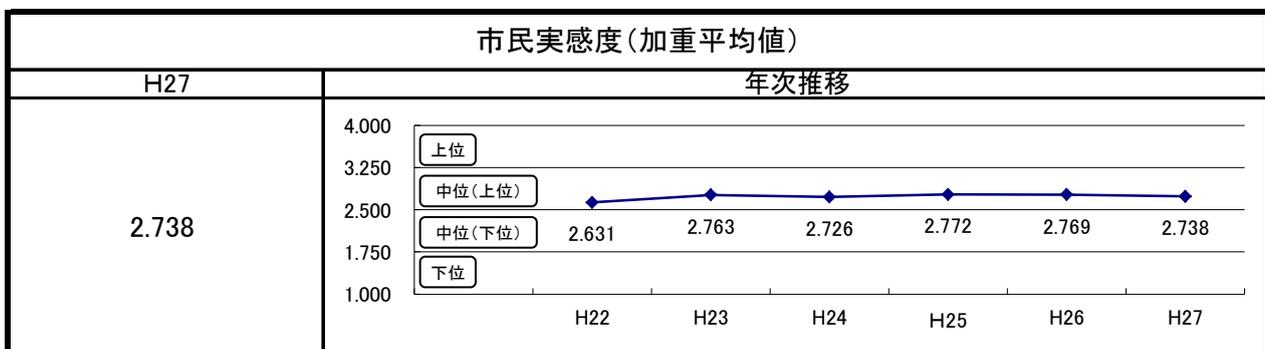


## 問28-B 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が62.5%（492人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が32.9%（259人）となっています。
- 市民実感度は、2.738となっており、昨年に比べて0.031下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した259人のうち、248人がその理由を回答しており、理由として「芸術・文化に関する情報が十分でないから」が最も多く、40.7%（101人）となっています。

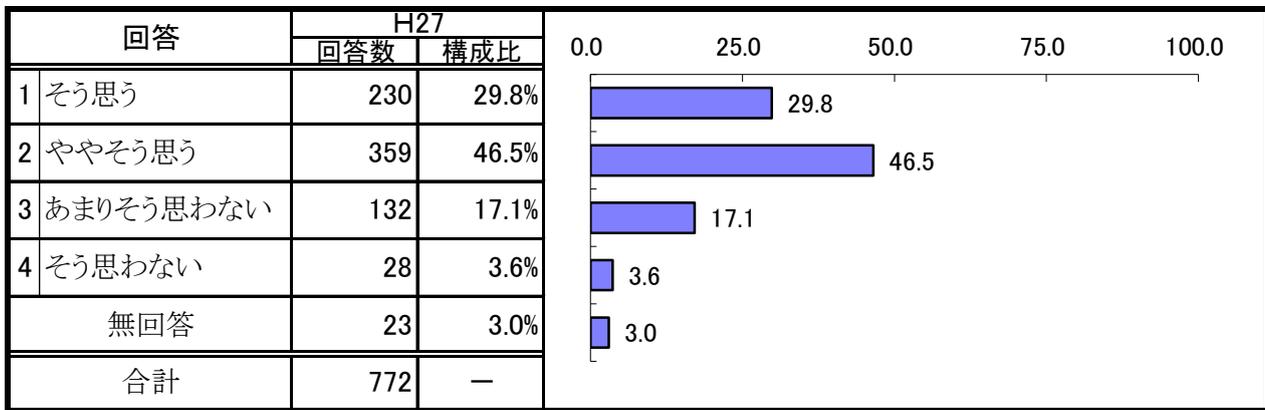


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 芸術・文化の発表や活動の場が少ないから	40	16.1%
b 芸術・文化に関する情報が十分でないから	101	40.7%
c 芸術・文化に親しむ時間がないから	63	25.4%
d 芸術・文化に関する指導者が少ないから	31	12.5%
e その他	13	5.2%
有効回答数	248	—

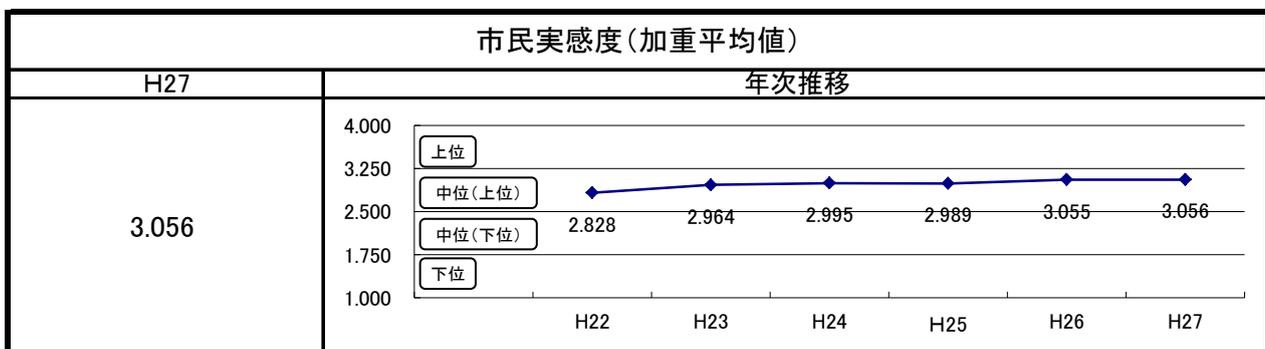


## 問29-A スポーツを楽しむことができる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が76.3%（589人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が20.7%（160人）となっています。
- 市民実感度は、3.056となっており、昨年に比べて0.001上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した160人のうち、153人がその理由を回答しており、理由として「スポーツ施設が利用しにくいから」が最も多く、39.9%（61人）となっています。

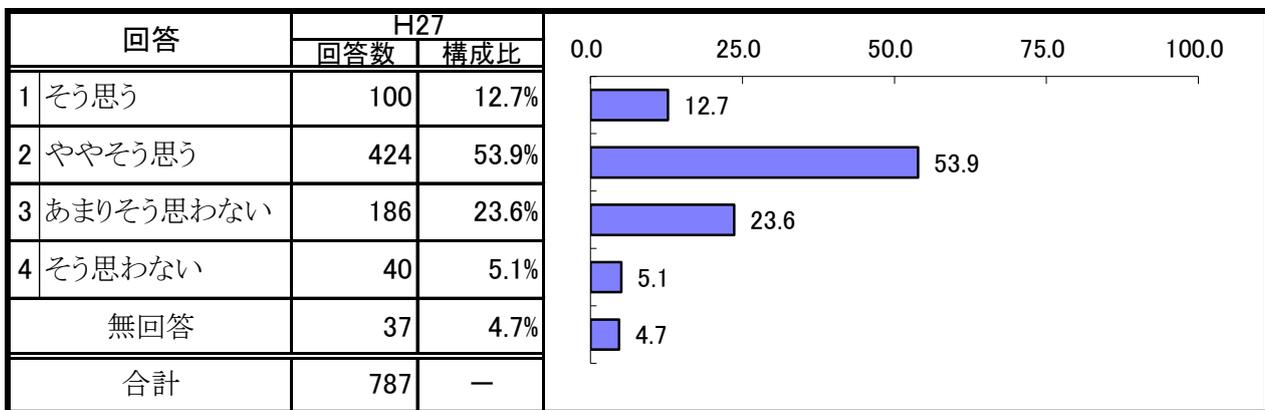


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a スポーツに親しむことができる機会が少ないから	55	35.9%
b スポーツ教室・講習会などに魅力がないから	14	9.2%
c スポーツ施設が利用しにくいから	61	39.9%
d 一流選手が出場する大会などが少ないから	12	7.8%
e その他	11	7.2%
有効回答数	153	—

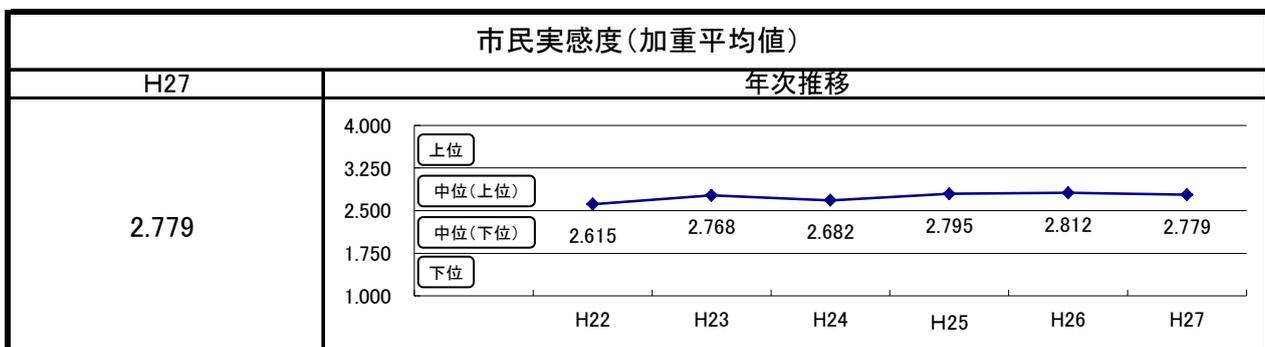


## 問29-B 平和で差別や虐待がなく、 市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が66.6%（524人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が28.7%（226人）となっています。
- 市民実感度は、2.779となっており、昨年に比べて0.033下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した226人のうち、223人がその理由を回答しており、理由として「差別や偏見があるから」が最も多く、35.0%（78人）となっています。

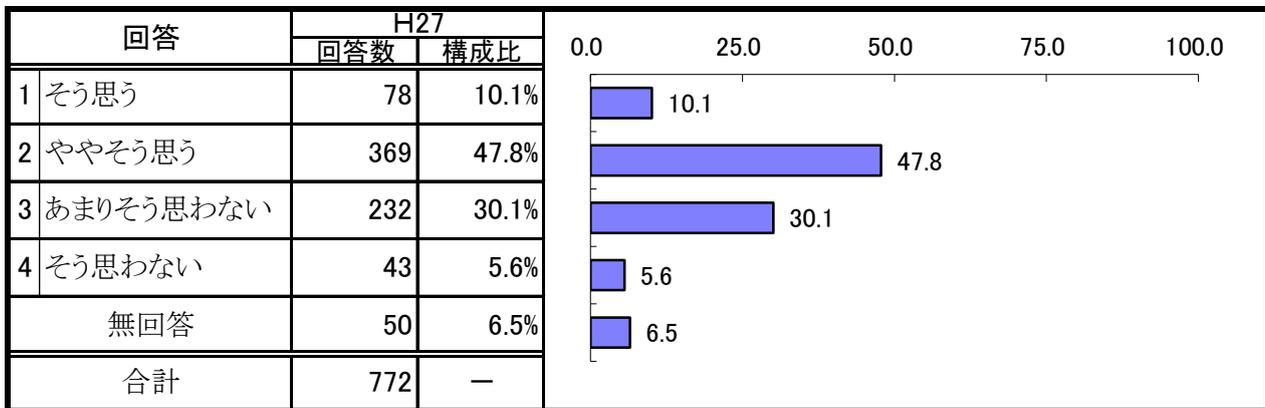


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 平和の大切さを知る機会が少ないから	49	22.0%
b 差別や偏見があるから	78	35.0%
c 子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから	76	34.1%
d その他	20	9.0%
有効回答数	223	—

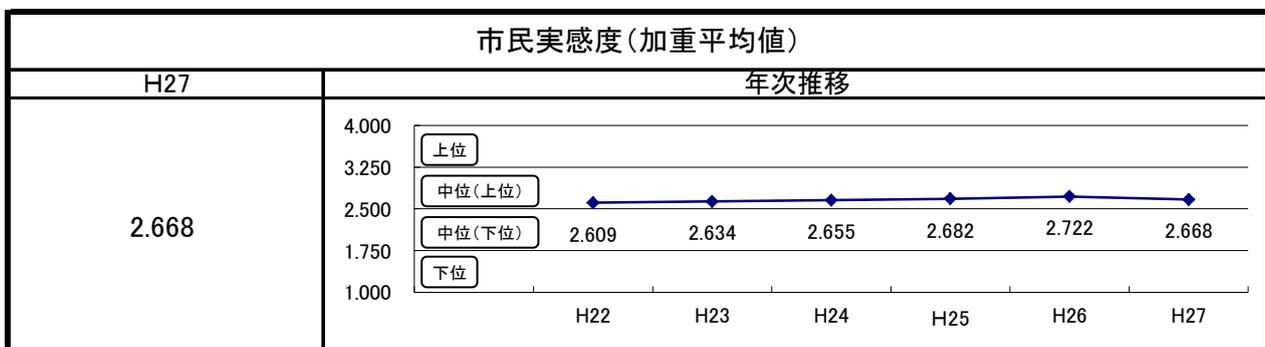


## 問30-A 男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が57.9%（447人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が35.7%（275人）となっています。
- 市民実感度は、2.668となっており、昨年に比べて0.054下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した275人のうち、267人がその理由を回答しており、理由として「仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから」が最も多く、51.3%（137人）となっています。

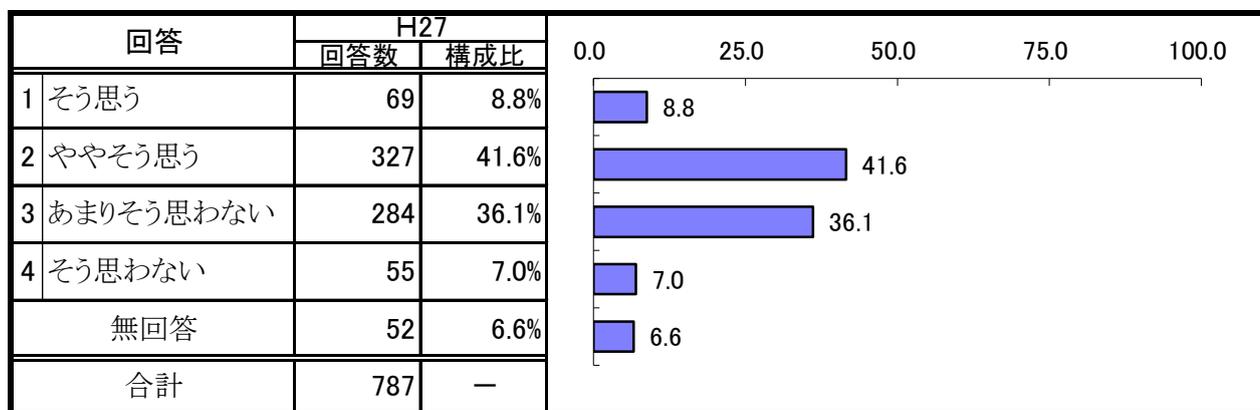


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから	80	30.0%
b 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから	137	51.3%
c 女性の社会参画がすすんでいないから	41	15.4%
d その他	9	3.4%
有効回答数	267	—

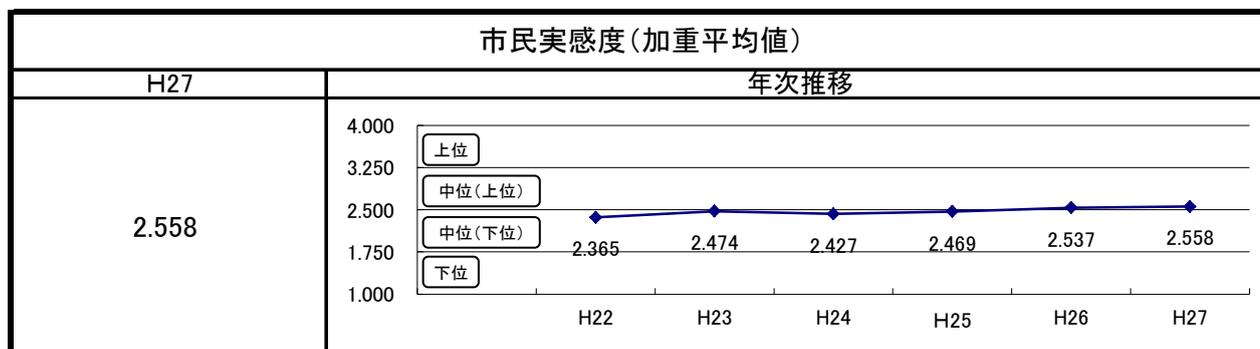


## 問30-B 誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD） によるまちづくりが行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が50.4%（396人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が43.1%（339人）となっています。
- 市民実感度は、2.558となっており、昨年に比べて0.021上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した339人のうち、324人がその理由を回答しており、理由として「市民一人ひとりの思いやりや支え合いの意識が低いから」が最も多く、35.8%（116人）となっています。

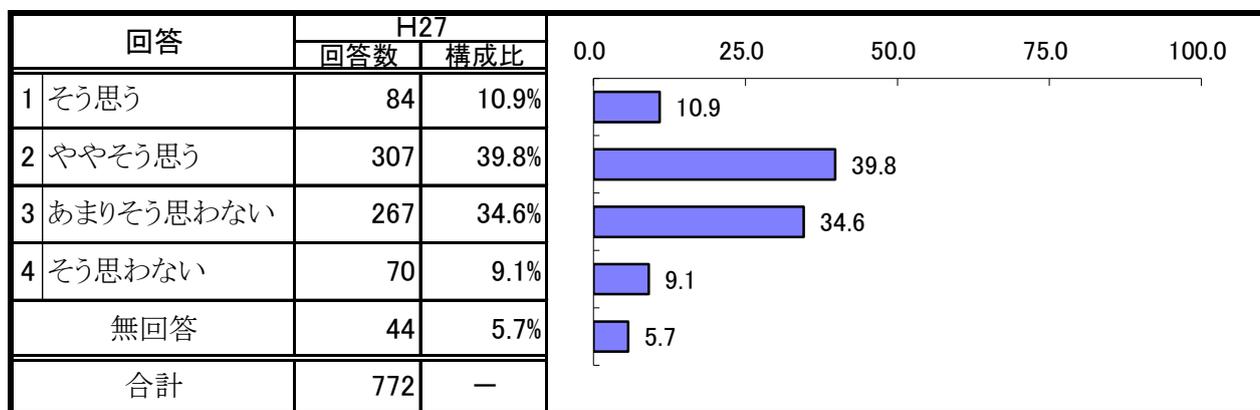


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 道路や公園、市役所などの公共施設のUD化がすすんでいないから	57	17.6%
b 住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから	77	23.8%
c 市民一人ひとりの思いやりや支え合いの意識が低いから	116	35.8%
d 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスの提供が行われていないから	63	19.4%
e その他	11	3.4%
有効回答数	324	—

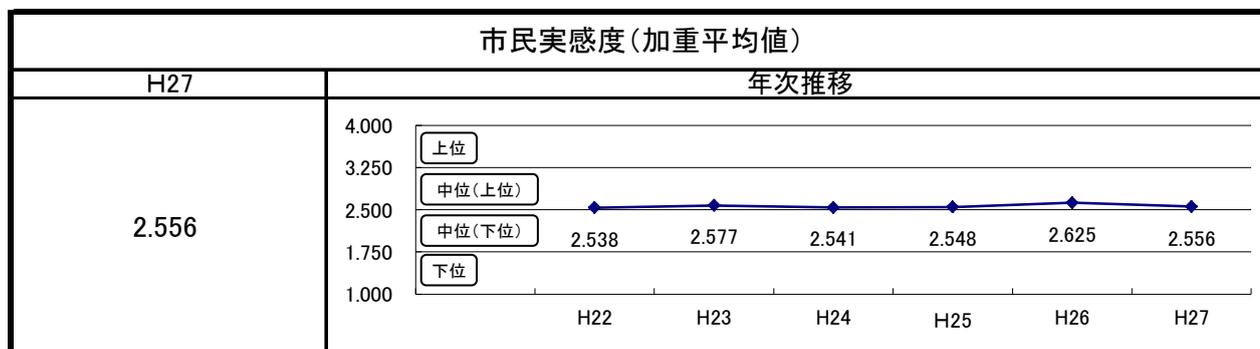


## 問31-A アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、 アイヌの人たちの誇りが尊重されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が50.7%（391人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が43.7%（337人）となっています。
- 市民実感度は、2.556となっており、昨年に比べて0.069下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した337人のうち、326人がその理由を回答しており、理由として「アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから」が最も多く、54.9%（179人）となっています。

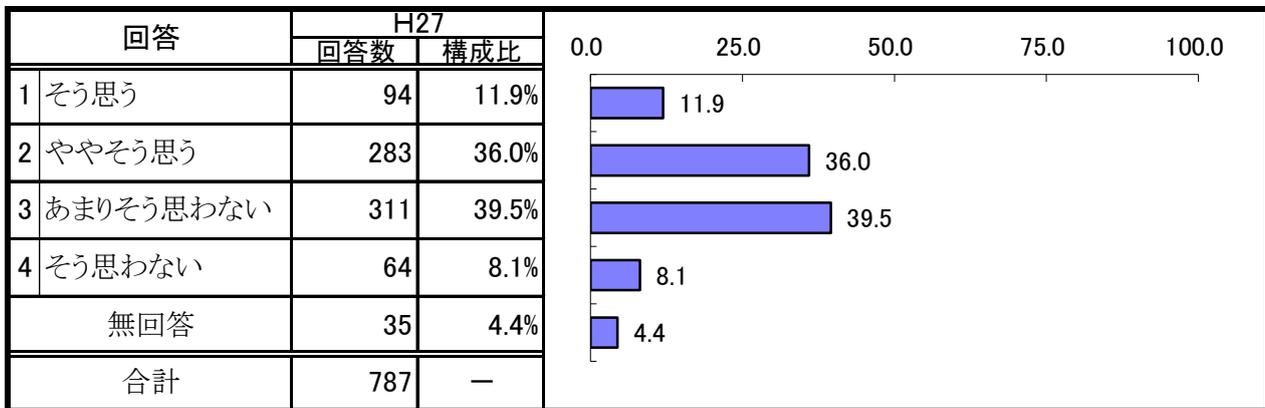


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a アイヌ民族の歴史や文化を学習する機会が少ないから	109	33.4%
b アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから	179	54.9%
c アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから	22	6.7%
d その他	16	4.9%
有効回答数	326	—

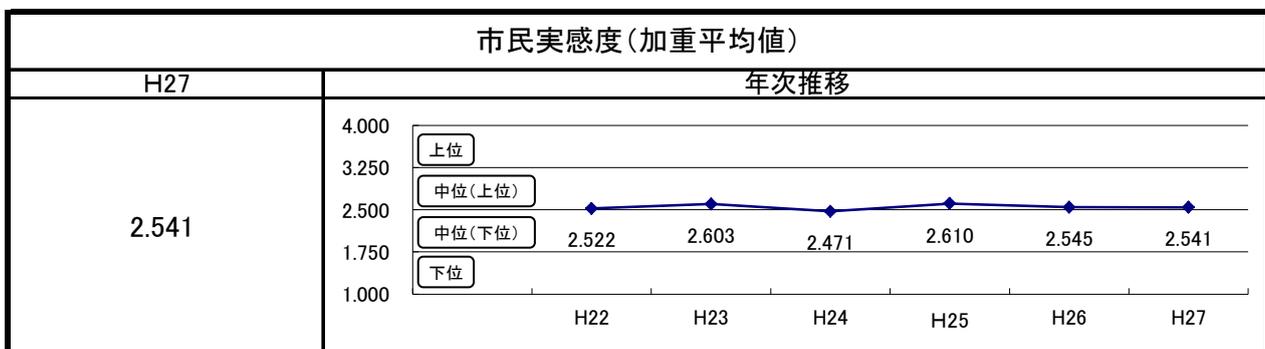


## 問31-B 町内会やNPO・ボランティアなどによる 地域活動が活発に行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が47.9%（377人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が47.6%（375人）となっています。
- 市民実感度は、2.541となっており、昨年に比べて0.004下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した375人のうち、362人がその理由を回答しており、理由として「町内会への加入者が減少しているから」が最も多く、34.8%（126人）となっています。

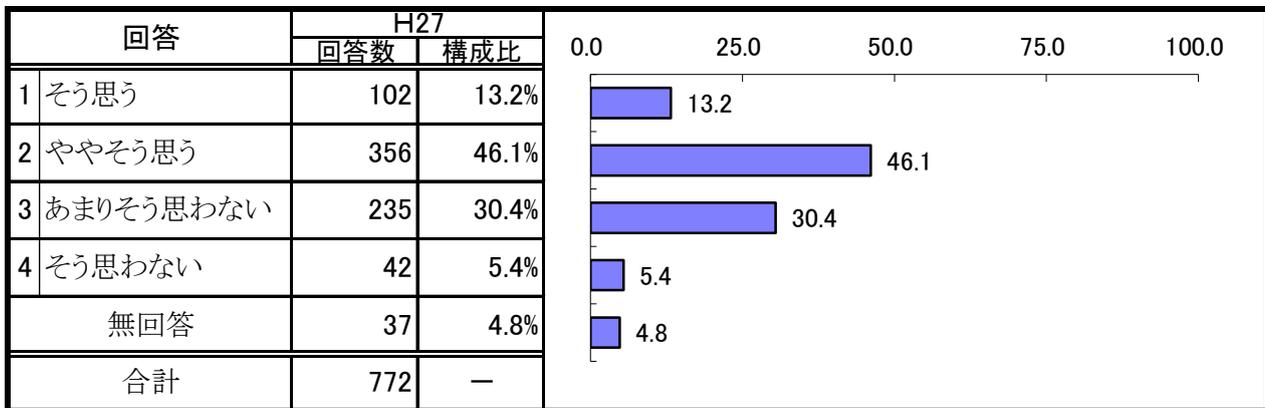


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 町内会への加入者が減少しているから	126	34.8%
b 地域活動の担い手が少ないから	95	26.2%
c コミュニティ施設が利用しにくいから	29	8.0%
d 気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから	97	26.8%
e その他	15	4.1%
有効回答数	362	—

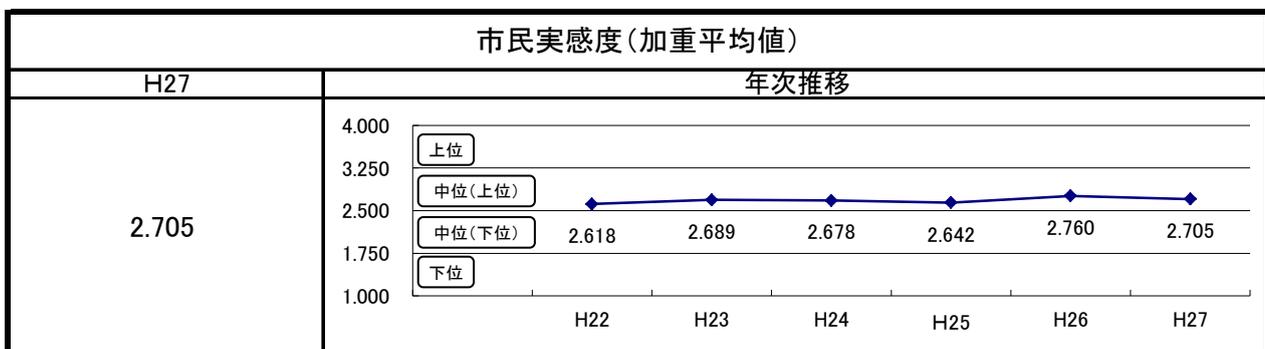


## 問32-A 国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が59.3%（458人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が35.8%（277人）となっています。
- 市民実感度は、2.705となっており、昨年に比べて0.055下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した277人のうち、267人がその理由を回答しており、理由として「国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから」が最も多く、46.8%（125人）となっています。

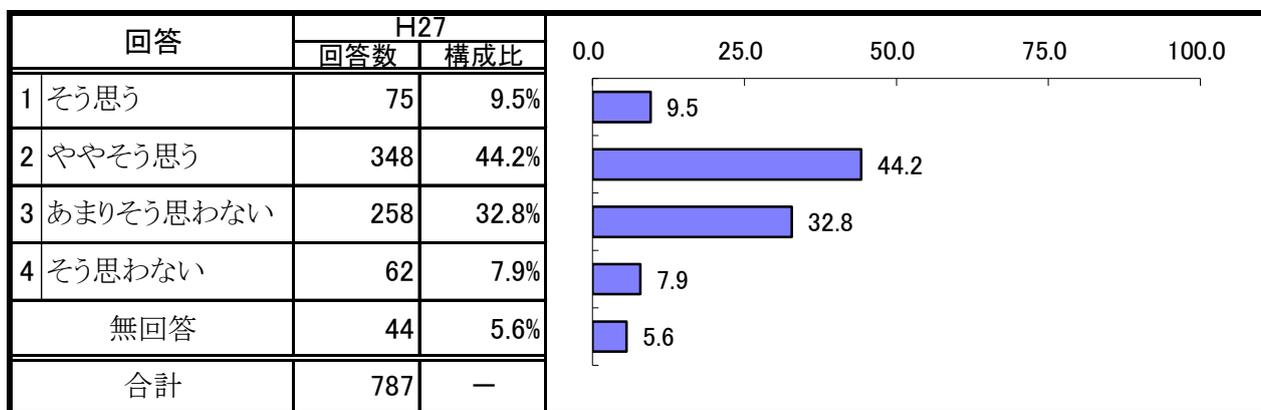


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 国内や国外の各都市との交流が活発でないから	16	6.0%
b 国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから	125	46.8%
c 参加したい異文化交流の機会が少ないから	29	10.9%
d 異文化交流の機会を知らないから	90	33.7%
e その他	7	2.6%
有効回答数	267	—

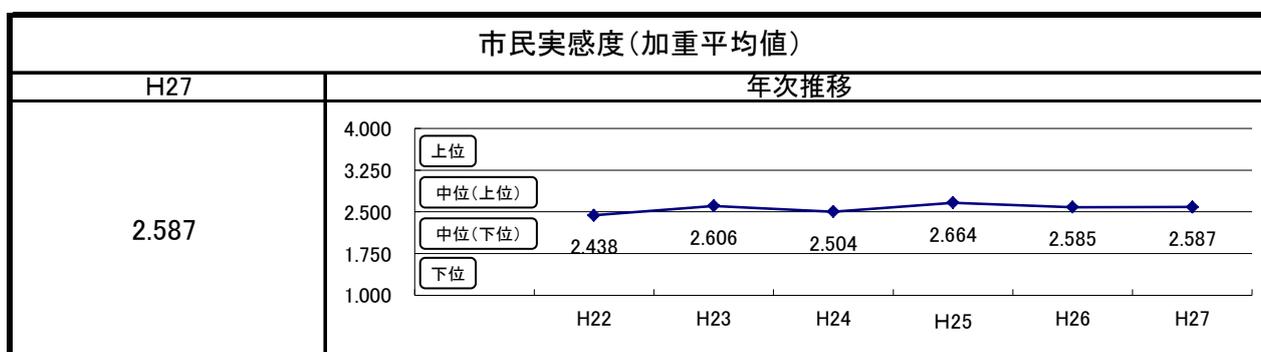


## 問32-B 市民と行政の協働による まちづくりがすすめられている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が53.7%（423人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が40.7%（320人）となっています。
- 市民実感度は、2.587となっており、昨年に比べて0.002上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した320人のうち、309人がその理由を回答しており、理由として「行政情報が分かりやすく提供されていないから」が最も多く、31.1%（96人）となっています。

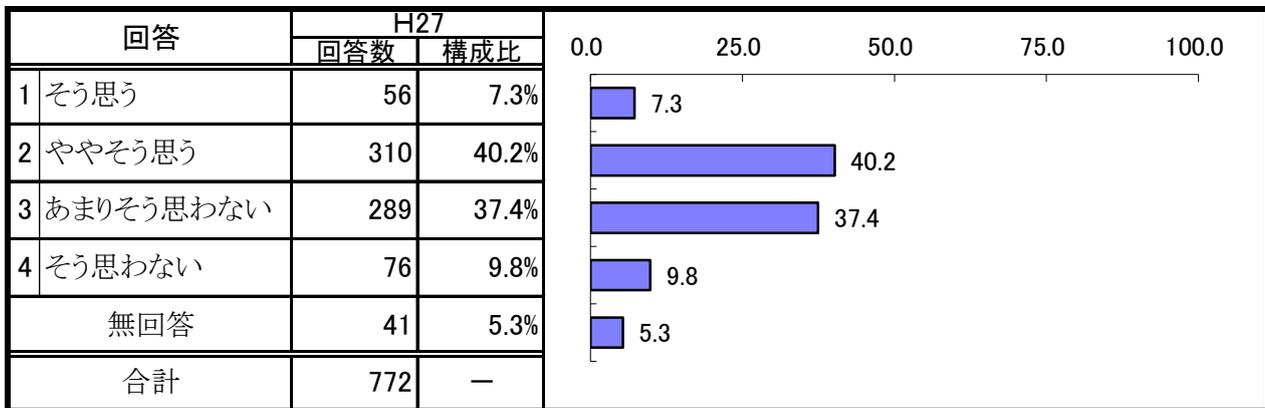


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 行政情報が分かりやすく提供されていないから	96	31.1%
b 市民がまちづくりに意見を言う機会がないから	59	19.1%
c 市民意見がまちづくりに反映されていないから	38	12.3%
d 市民のまちづくり活動への支援が十分でないから	32	10.4%
e 議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから	68	22.0%
f その他	16	5.2%
有効回答数	309	—

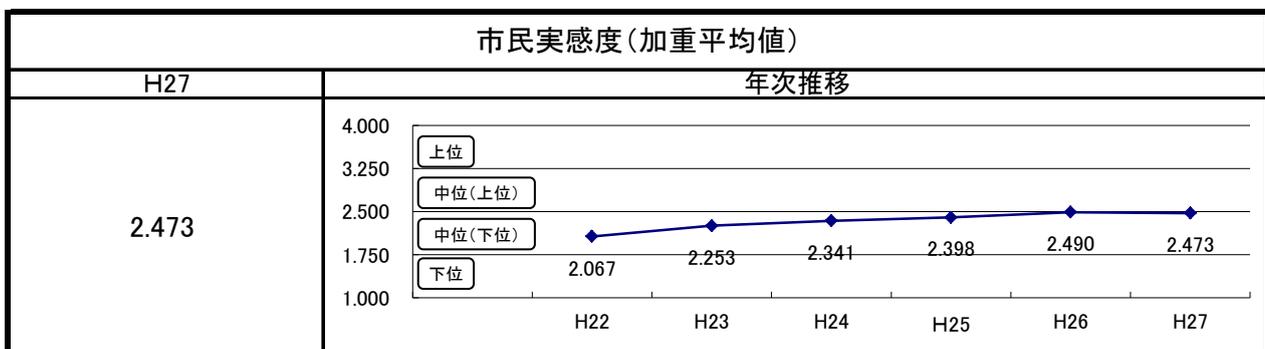


## 問33-A 健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が47.5%（366人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が47.2%（365人）となっています。
- 市民実感度は、2.473となっており、昨年に比べて0.017下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した365人のうち、354人がその理由を回答しており、理由として「事業の効果やコストが分からないから」が最も多く、46.9%（166人）となっています。

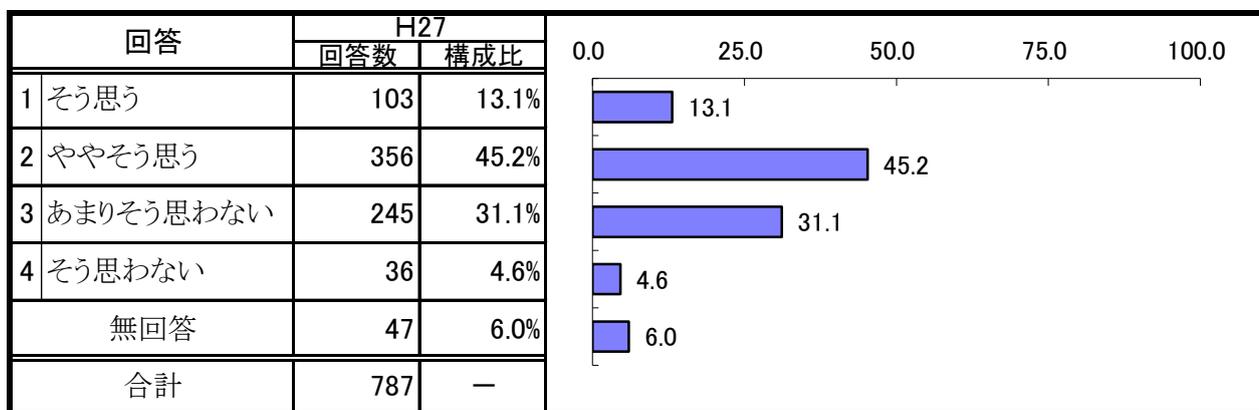


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 市の財政状況に不安があるから	124	35.0%
b 行政運営の効率化がすすんでいないから	52	14.7%
c 事業の効果やコストが分からないから	166	46.9%
d その他	12	3.4%
有効回答数	354	—

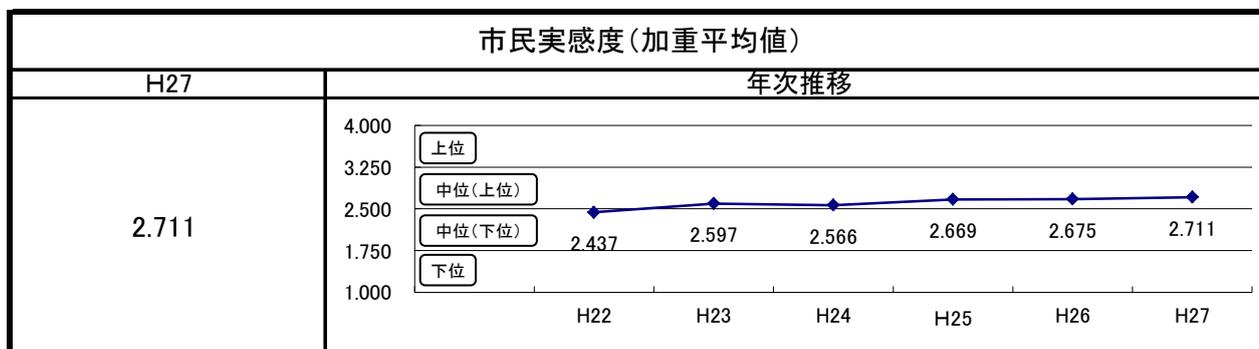


## 問33-B 十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が58.3%（459人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が35.7%（281人）となっています。
- 市民実感度は、2.711となっており、昨年に比べて0.036上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した281人のうち、272人がその理由を回答しており、理由として「道内各都市と連携・交流している具体的な事例がよく分からないから」が最も多く、46.3%（126人）となっています。

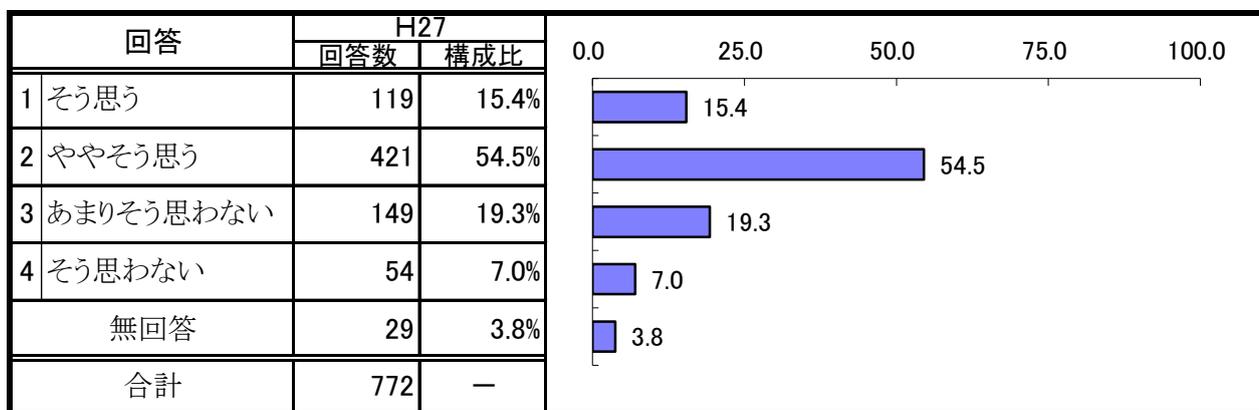


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 十勝管内町村と連携した事業が少ないから	23	8.5%
b 十勝管内町村と連携した事業がよく分からないから	114	41.9%
c 道内各都市と連携・交流している具体的な事例がよく分からないから	126	46.3%
d その他	9	3.3%
有効回答数	272	—

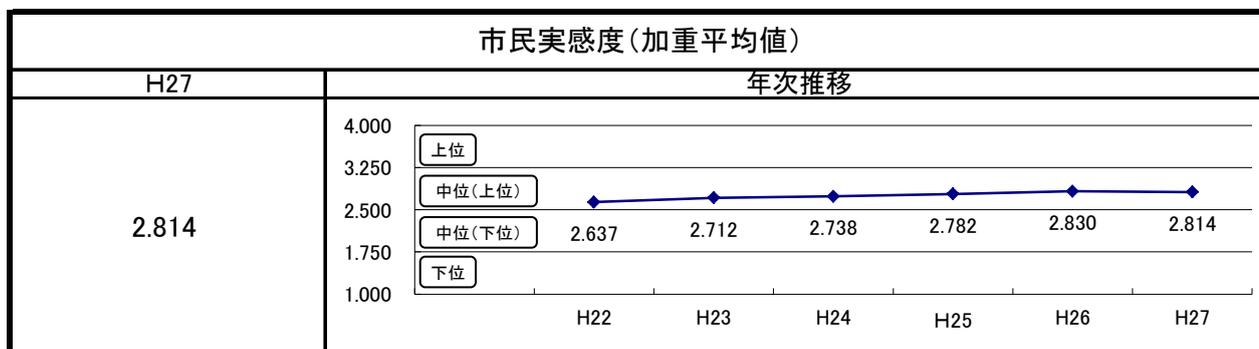


## 問34-A 市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が69.9%（540人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が26.3%（203人）となっています。
- 市民実感度は、2.814となっており、昨年に比べて0.016下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した203人のうち、195人がその理由を回答しており、理由として「市役所における各種事務手続きが分かりにくいから」が最も多く、37.4%（73人）となっています。

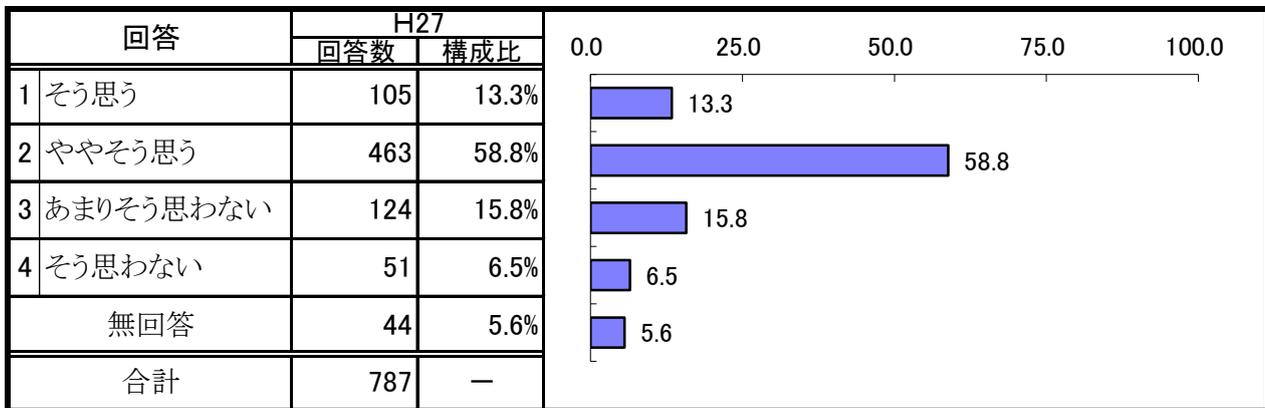


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 職員の対応が適切でないから	69	35.4%
b 市役所における各種事務手続きが分かりにくいから	73	37.4%
c コミュニティセンターなどの窓口やインターネットでできる行政手続きが少ないから	33	16.9%
d その他	20	10.3%
有効回答数	195	—

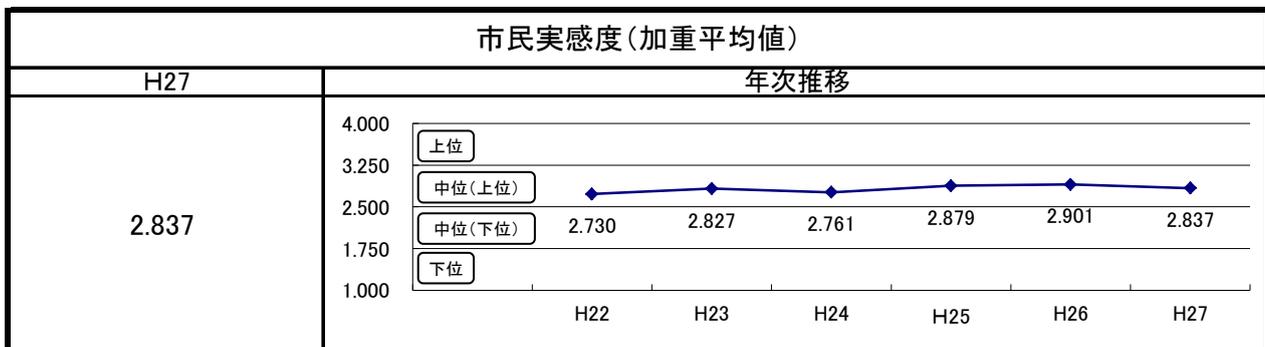


## 問34-B 市民に信頼される行政事務が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が72.1%（568人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が22.3%（175人）となっています。
- 市民実感度は、2.837となっており、昨年に比べて0.064下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した175人のうち、159人がその理由を回答しており、理由として「公共施設の管理が適切に行われていないから」が最も多く、30.2%（48人）となっています。



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 事務処理が適切に行われていないから	44	27.7%
b 公共施設の管理が適切に行われていないから	48	30.2%
c 個人情報の保護が十分でないから	32	20.1%
d その他	35	22.0%
有効回答数	159	—

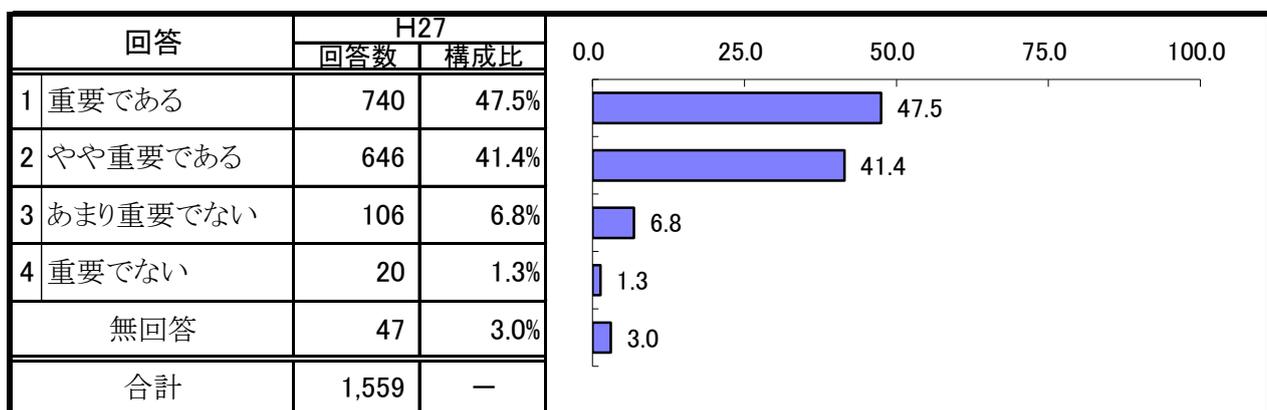


## 6

## 協働のまちづくり

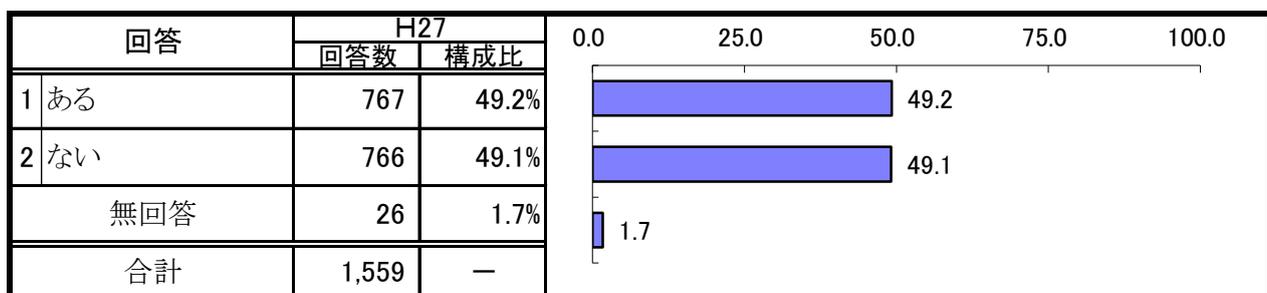
## 問35 あなたは、協働によるまちづくりが重要と思いますか

- 「重要である」、「やや重要である」の合計が88.9%（1,386人）、「あまり重要でない」、「重要でない」の合計が8.1%（126人）となっています。
- 多くの方が、「協働によるまちづくり」は重要と考えています。



## 問36 あなたは、協働によるまちづくり活動に参加したことがありますか

- 「ある」が49.2%（767人）、「ない」が49.1%（766人）となっています。
- 「協働によるまちづくり活動」に参加したことがある人とない人は、ほぼ同数となっています。

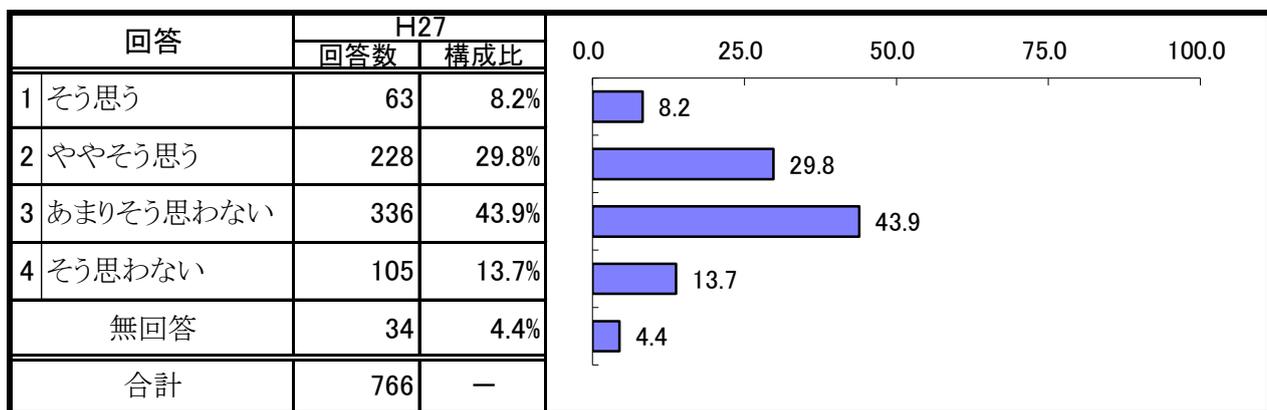




### 問37 あなたは、まちづくりの活動に 参加してみたいと思いますか

◇問36で、協働によるまちづくり活動に参加したことが「ない」と回答した人に、参加してみたいと思うかを回答してもらいました。

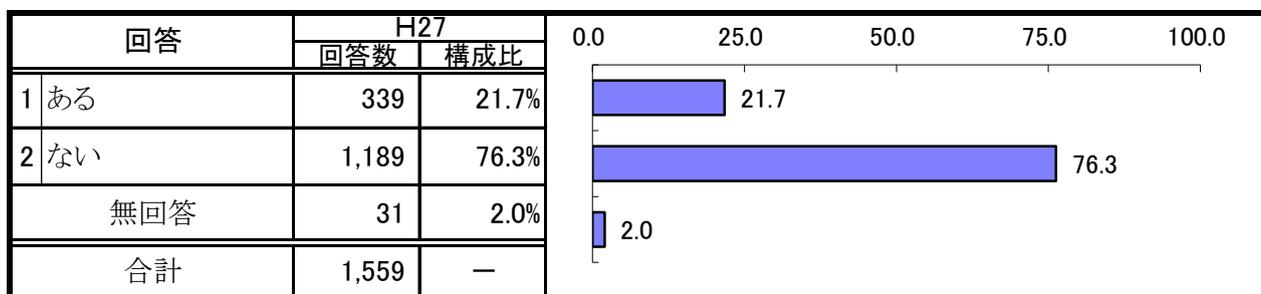
- ☞ 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が38.0%（291人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が57.6%（441人）となっています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した441人のうち、411人がその理由を回答しており、理由として「活動に参加する手間や時間をかけられないから」が最も多く、38.9%（160人）となっています。



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 活動に参加する手間や時間をかけられないから	160	38.9%
b どのようにして活動に参加すればよいか分からないから	115	28.0%
c 参加したい活動がないから	24	5.8%
d 活動に参加しても何も変わらないと思うから	36	8.8%
e 感心がないから	52	12.7%
f その他	24	5.8%
有効回答数	411	—

問38 あなたは、市の仕事や計画などに対して、  
意見を出したことがありますか

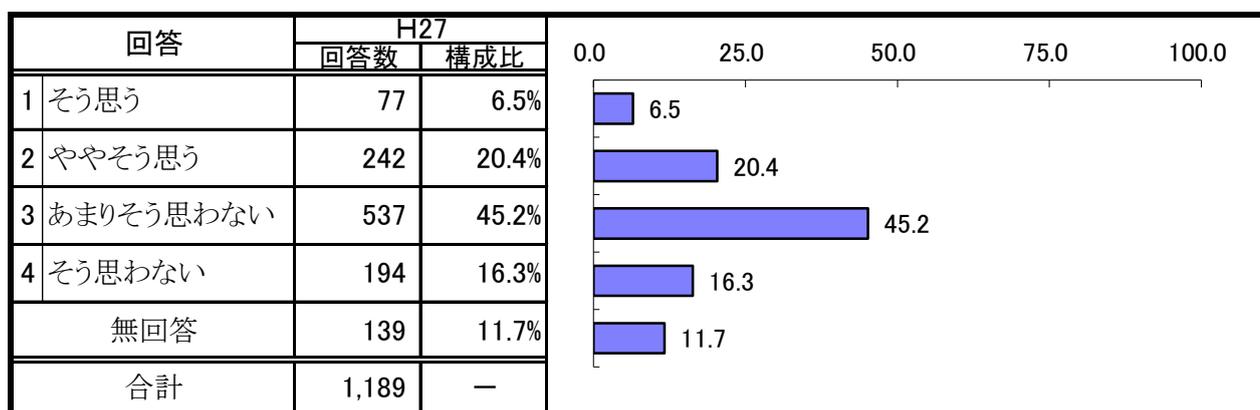
- 「ある」が21.7%（339人）、「ない」が76.3%（1,189人）となっています。
- 市の仕事や計画などに対して、意見を出したことが「ない」人が、「ある」人を大きく上回っています。



## 問39 あなたは、市の仕事や計画などに対して、 意見を出してみたいと思いますか

◇問38で、市の仕事や計画などに対して、意見を出したことが「ない」と回答した人に、意見を出してみたいかを回答してもらいました。

- ☞ 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が26.9%（319人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が61.5%（731人）となっています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した731人のうち、705人がその理由を回答しており、理由として「いつ・どのようにして意見を述べればよいか分からないから」が最も多く、41.7%（294人）となっています。

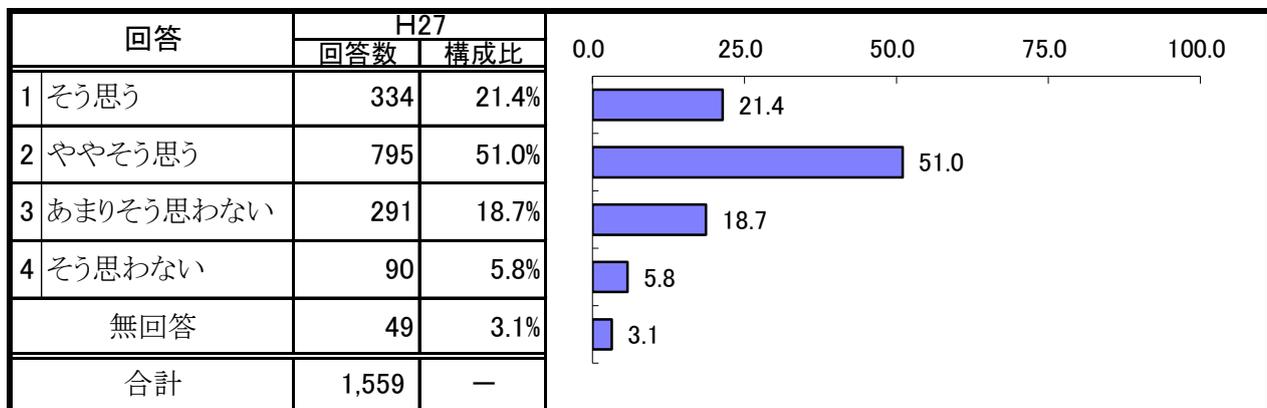


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 意見を述べる手間や時間をかけられないから	81	11.5%
b いつ・どのようにして意見を述べればよいか分からないから	294	41.7%
c 意見を述べても何も変わらないと思うから	236	33.5%
d 感心がないから	71	10.1%
e その他	23	3.3%
有効回答数	705	—



## 問40 あなたは、市からまちづくりや行政サービスに関する情報を得られていると思いますか

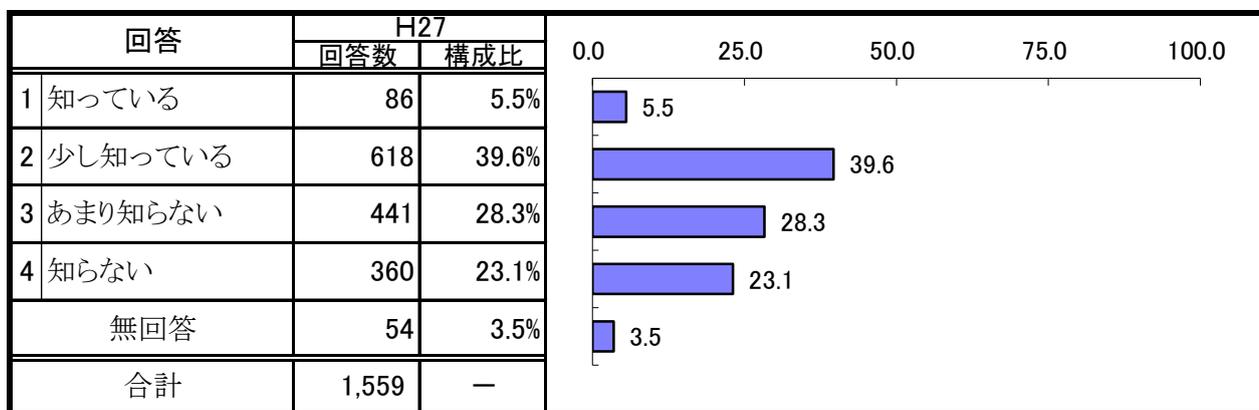
- ☞ 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が72.4%（1,129人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が24.5%（381人）となっています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した381人のうち、361人がその理由を回答しており、理由として「情報を得る機会や手段が少ないから」が最も多く、29.6%（107人）となっています。



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 必要な情報がどこにあるか探しにくいから	90	24.9%
b 情報を得る機会や手段が少ないから	107	29.6%
c 提供される情報量が少ないから	38	10.5%
d 市から情報が提供される時期が悪いから	8	2.2%
e 市から提供される情報が分かりにくいから	94	26.0%
f その他	24	6.6%
有効回答数	361	—

問41 あなたは、市の予算や決算、  
総合計画の状況を知っていますか

- 「知っている」、「少し知っている」の合計が45.1%（704人）、「あまり知らない」、「知らない」の合計が51.4%（801人）となっています。
- 「あまり知らない」と「知らない」と回答した801人のうち、722人がその理由を回答しており、理由として「知ることができる機会や手段が少ないから」が最も多く、42.2%（305人）となっています。

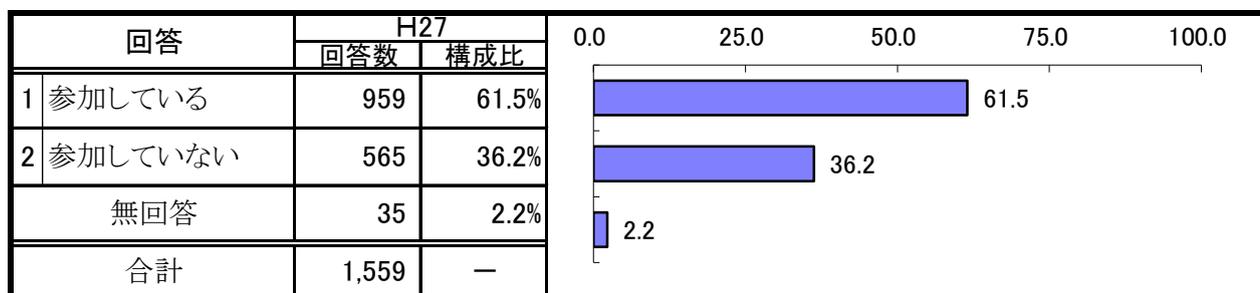


上記の回答で3(あまり知らない)または4(知らない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 知ることができる機会や手段が少ないから	305	42.2%
b 提供される情報が分かりにくいから	208	28.8%
c 提供される情報量が少ないから	130	18.0%
d その他	79	10.9%
有効回答数	722	—



## 問42 あなたは、ご自身が暮らす町内会の活動に参加していますか

- ☞ 「参加している」が61.5%（959人）、「参加していない」が36.2%（565人）となっています。
- ☞ 「参加していない」と回答した565人のうち、521人がその理由を回答しており、理由として「活動に参加する手間や時間をかけられないから」が最も多く、37.0%（193人）となっています。



上記の回答で2(参加していない)を選んだ理由	H27	
	回答数	構成比
a 活動に参加する手間や時間をかけられないから	193	37.0%
b 活動時間や活動内容等が分からないから	121	23.2%
c 活動に参加する必要性を感じないから	96	18.4%
d その他	111	21.3%
有効回答数	521	—

## 7

## 自由記述意見（まちづくりに対する意見・提案）

◇アンケートでは、まちづくりに対する意見や提案について自由に記述していただく欄を設け、521人の方から、704件のご意見・ご提案をいただきました。（お1人で複数の項目に関するご意見などをいただいていることがあるため、人数と件数は一致しません）  
いただいたご意見・ご提案は、今後のまちづくりに活用させていただきます。

✎ いただいたご意見・ご提案を内容別に分類すると、下表のとおり、まちづくり全般に関すること、道路環境・交通ネットワークに関するものが多くなっています。

項目	件数
まちづくり全般に関すること	111 件
道路環境・交通ネットワークに関すること	108 件
産業・にぎわいに関すること	89 件
教育や生涯学習・スポーツに関すること	55 件
行政事務・サービスに関すること	44 件
子育て支援・青少年に関すること	43 件
社会保障と税に関すること	33 件
公園・緑地に関すること	28 件
アンケートに関すること	26 件
環境保全・廃棄物に関すること	25 件
交通安全・防犯に関すること	24 件
地域の活動・支えあいに関すること	24 件
高齢者福祉に関すること	23 件
雇用に関すること	10 件
議会に関すること	10 件
医療・保健に関すること	6 件
防災に関すること	4 件
水道・下水道に関すること	3 件
障害福祉に関すること	3 件
住環境に関すること	3 件
その他	32 件
（計）	704 件

## 参考資料) 市民まちづくりアンケート票

アンケートは、大きく次の3区分について実施しています。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・・・・・・(問 1 ~ 9)
- (2) 市民実感について・・・・・・・・・・・・・・・・(問 10 ~ 34)
- (3) 協働のまちづくりについて・・・・・・・・・・・・(問 35 ~ 42)

※市民実感についての設問(問10~34)は、調査票をA票とB票の2つに分けて実施しています。

## A 票

# 平成26年度 市民まちづくりアンケート

### 1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- A. 男 B. 女

問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で記入してください。）

- A. 20歳代 B. 30歳代 C. 40歳代 D. 50歳代 E. 60歳代 F. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- A. 会社員・店員 B. 商・工・サービス業等の自営業 C. 農・林・漁業 D. 公務員  
E. 自由業 F. 主婦 G. 学生 H. 無職・退職 I. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

- A. 1年未満 B. 1年～5年未満 C. 5年～10年未満 D. 10年～20年未満  
E. 20年以上

### 2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに○をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

- A. 住みやすい B. どちらかといえば住みやすい C. どちらともいえない  
D. どちらかといえば住みにくい E. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

- A. 住み続けたい B. できれば他の市町村に移りたい C. どちらともいえない



問7へすすむ



問8、9へすすむ



問10へすすむ

**問7** 問6で「A.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。  
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 広々としているから      B. 自然に恵まれているから      C. 気候が好きだから
- D. 家族の都合で      E. 人情が厚く、親切だから      F. 親戚や知人が多いから
- G. 教育上の理由から      H. まちに魅力があるから      I. 仕事上の理由から
- J. 都市的な便利さがあるから      K. 生活費が安いから      L. わからない
- M. その他（

**問8** 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- A. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町）      B. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外）
- C. 札幌市      D. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）
- E. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県）      F. 中部圏（愛知県）
- G. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府）      H. 他県（
- I. その他（

**問9** 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 仕事上の理由から      B. 家族の都合から      C. 気候がきれいだから
- D. 住宅地が少ないから      E. 宅地価格が高いから      F. 教育上の理由から
- G. 生活費が高いから      H. まちに魅力が少ないから      I. 自然が少ないから
- J. 知人や親戚が少ないから      K. 人情が薄く、不親切だから
- L. 都市的な便利さが不足しているから      M. 公共サービスの質が低いから
- N. その他（

### 3. 【市民実感】について、お聞きします。

- ◆問10～34について、あなたの実感（イメージでもかまいません）に最も近い選択肢を1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

#### 問10.地震や水害など、災害への備えが整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

防災訓練の実施  
 防災講座・講演会の開催  
 災害用備蓄品の整備  
 災害時要援護者の避難支援体制づくり  
 避難所や学校施設等の耐震化  
 木造住宅の耐震改修に対する補助・貸付  
 自主防災組織の育成 など



→3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 防災に関する意識が低いから
- b. 行政の取り組みや周知が十分でないから
- c. 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから
- d. 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから
- e. 自宅の耐震性が不安だから
- f. 避難所の耐震性が不安だから
- g. その他( )

#### 問11.日常生活において、犯罪にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

公用車による防犯パトロールの実施  
 防犯関係団体活動への支援  
 町内会防犯灯の設置支援  
 ホームページ等による防犯情報の提供 など



→3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 防犯に関する意識が低いから
- b. 暗がりや人目につきにくい場所があるから
- c. 身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから
- d. 地域で見守る防犯活動が十分でないから
- e. その他( )

問12.悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

消費生活アドバイスセンターの運営  
 消費者相談の実施  
 消費者講座・講演会の開催  
 消費者トラブルの情報提供と被害防止啓発の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 消費生活に関する情報提供が十分でないから
- b. 消費者トラブルなどを相談できる場所を知らないから
- c. 消費者トラブルの際の対処方法が分からないから
- d. その他( )

問13.ケガや病気のとくに安心して医療を受けられる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

在宅当番医体制の維持、夜間・休日の救急医療体制の確保  
 休日夜間急病センターの運営  
 急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供  
 看護師・准看護師養成機関への支援  
 公的病院などへの支援  
 休日歯科診療体制の維持 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 病院や診療所の数が不足しているから
- b. 診療科目が不足しているから
- c. 高度な医療を受けることができないから
- d. 緊急時の医療機関の情報が十分でないから
- e. その他( )

問14.高齢者が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

高齢者バス無料乗車証の交付  
 介護が必要な状態にならないための取り組み  
 ひとり暮らし高齢者の訪問活動の実施  
 老人ホームなど高齢者のための居住施設の整備  
 「きづきネットワーク」など高齢者の見守り体制の強化  
 高齢者への虐待防止の取り組み  
 地域包括支援センターの運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 社会参加の機会が少ないから
- b. 在宅の福祉サービスが利用しにくいから
- c. 老人ホームなどの施設が不足しているから
- d. 高齢者を地域で支える環境が整っていないから
- e. その他( )

### 問15. 社会保障制度<sup>※</sup>の周知や適切な運用が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

国民健康保険料の負担軽減、特定健診の実施  
 介護保険料・利用料の負担軽減、制度周知  
 生活保護受給者の就労支援、生活困窮者の相談  
 国民年金の制度周知 など

※社会保障制度  
 国民健康保険、介護保険、生活保護、国民年金などの制度をさします。

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 制度のしくみに疑問を感じるから
- b. 給付が増大していて、安定的な運営に不安を感じるから
- c. 社会保障にかかる家計の負担が大きいから
- d. 制度の周知が十分でないから
- e. その他( )



### 問16. 青少年が健全に育つ環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

青少年リーダーや青少年団体の育成  
 青少年育成活動の実施  
 放課後などに子どもが安心して過ごせる居場所づくり  
 非行防止のための街頭巡回指導  
 大人の集いなどの社会参加促進活動の実施  
 児童会館における体験活動の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

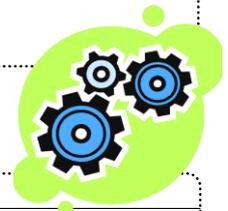
- a. 家庭や地域における子どものしつけが不足しているから
- b. 家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから
- c. 青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから
- d. 有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから
- e. その他( )

### 問17. ものづくり産業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

(公財)とかち財団による研究開発支援  
 製品開発や売れる製品づくり、販路開拓等への支援  
 知的財産の活用促進をはかるための相談会、セミナー等の実施  
 企業立地の促進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから
- b. 地元製品の市場拡大がすすんでいないから
- c. 製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから
- d. その他( )

### 問18.地元の企業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

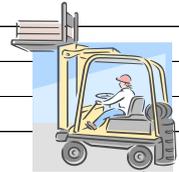
#### 市が取り組んでいる主な仕事

経営相談の実施  
 中小企業の人材育成の支援  
 フードバレーととかち人材育成事業  
 創業・起業への支援  
 雇用創出事業の実施  
 中小企業振興融資の貸付、信用保証料の支援 など

※フードバレーととかち  
 十勝の強みである食と農林漁業を生かした産業振興の取り組み。

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 地元企業の経営が悪化しているから
- b. 中小企業を支える人材が育成されていないから
- c. 地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから
- d. その他( )



### 問19.意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

労働相談の実施  
 季節労働者の雇用対策や相談の実施、生活資金の貸付、通年雇用促進  
 シルバー人材センターへの支援  
 とかち勤労者共済センターへの支援  
 職業能力開発センターへの支援  
 若者の就業支援 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 若い人の働く場が少ないから
- b. 女性や高齢者の働く場が少ないから
- c. 能力や経験を活かせる職場が少ないから
- d. 会社の福利厚生が整っていないから
- e. 働くために必要な能力を身につけるための機関や制度が十分でないから
- f. その他( )



### 問20.自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

帯広三大まつりの開催支援  
 コンベンション(会議や大会)の誘致・開催支援  
 物産展の開催、とかち物産センターへの支援  
 とかち観光情報センターの運営  
 国内外での観光プロモーションの実施  
 観光ポスター・パンフレットの作成・配布 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 魅力ある観光地が少ないから
- b. 観光イベントに魅力がないから
- c. 観光情報の発信やPRが不足しているから
- d. その他( )



問21.ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

ごみ・資源ごみの分別収集及び適正排出指導の実施  
 町内会等の資源集団回収の支援  
 生ごみ堆肥化容器・電動生ごみ処理機の購入支援  
 小学生などを対象とした環境学習の実施  
 ごみ懇談会の開催  
 リサイクルまつりの開催 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. ごみの分別や排出日が守られていないから
- b. 再使用や資源化に関する意識が低いから
- c. 事業者のごみ減量や資源再生利用の取り組みが十分でないから
- d. 行政の取り組みや周知が十分でないから
- e. その他( )

問22.おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

札幌川等の水質調査  
 水道メーターの更新、漏水調査  
 老朽化した配水管の更新  
 稲田浄水場等の改修や耐震化  
 中島配水場の再整備 など  
 ペットボトル水「おびひろ極上水」の製造・販売・PR など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 水道水がおいしいと感じないから
- b. 断水や濁水などが発生したことがあるから
- c. 災害時の不安があるから
- d. その他( )

問23.快適で住みやすい居住空間が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

市街地・公営住宅の整備  
 民間事業者による小規模な開発行為に対する支援  
 若年世帯の住宅取得に対する支援  
 住宅リフォームに対する支援  
 住まいに関する情報の提供  
 市営住宅長寿命化の取り組み など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 住宅地の価格が高いから
- b. 住宅や住宅地に関する情報が少ないから
- c. 公営住宅を希望しても入れないから
- d. その他( )

問24.墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

中島霊園の整備  
火葬場の管理・運営  
既存墓地の管理・運営 など  
合同納骨塚の管理・運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから
- b. 墓地の管理が十分でないから
- c. 火葬場の管理が十分でないから
- d. その他( )

問25.空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

とちか帯広空港の施設整備・維持管理、運航路線の充実  
乗合方式のバス・タクシーの運行  
道東自動車道、帯広・広尾自動車道の整備・利用促進  
石勝線・根室線の利便性向上の促進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 航空の利便性が良くないから
- b. 鉄道の利便性が良くないから
- c. バスの利便性が良くないから
- d. 高速道路の利便性が良くないから
- e. その他( )

問26.小学校・中学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各学校が取り組む特色ある教育活動の支援  
郷土体験学習・自然体験学習などの実施  
リーダーとなる教師の育成  
地域特性を活かした教材の研究 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 子どもの学力が低下しているから
- b. 子どもの体力が低下しているから
- c. 子どもの道徳心が育っていないから
- d. 教師の指導力が不足しているから
- e. その他( )

問27.高等学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

私立高等学校生徒授業料及び教材整備等への支援  
 高校生への奨学資金の貸付  
 帯広南商業高校での検定取得促進と就職指導  
 帯広南商業高校の生徒によるボランティア活動の推進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 特色ある教育が行われていないから
- b. 学習内容が身につけていないから
- c. 社会性を育む教育が行われていないから
- d. その他( )

問28.生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種講座の開催  
 自主的学習活動の支援、学習情報の提供  
 社会教育施設\*での展示・貸出を通じた学習機会の提供  
 百年記念館や動物園など社会教育施設の改修 など

\*社会教育施設  
 百年記念館、動物園、図書館、とかちプラザなど



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 参加したいと思う講座が少ないから
- b. 学習に関する情報が少ないから
- c. 社会教育施設に魅力がないから
- d. 学習成果を活かす機会が少ないから
- e. その他( )

問29.スポーツを楽しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種スポーツ教室の開催  
 スポーツ少年団への支援、指導者育成の支援  
 プロスポーツや全国・全道大会の誘致、開催支援  
 小・中学校の体育館の地域への開放  
 フードバレーとかちマラソン大会などの開催  
 パークゴルフ場の管理・運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. スポーツに親しむことができる機会が少ないから
- b. スポーツ教室・講習会などに魅力がないから
- c. スポーツ施設が利用しにくいから
- d. 一流選手が出場する大会などが少ないから
- e. その他( )

問30.男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

男女共同参画セミナー・講座等の開催  
 各種審議会等への女性の登用推進  
 育児・介護休業制度の周知  
 交際相手からの暴力(デートDV)予防講座の開催  
 配偶者等からの暴力被害者への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから
- b. 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから
- c. 女性の社会参画がすすんでいないから
- d. その他( )

問31.アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

アイヌ民族に関する教材の作成・提供  
 アイヌ文化についての展示会の開催  
 アイヌ古式舞踊保持団体への支援  
 アイヌの人たちの生活相談・教育相談の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. アイヌ民族の歴史や文化を学習する機会が少ないから
- b. アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから
- c. アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから
- d. その他( )

問32.国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

大分市・徳島市・松崎町との交流  
 (アメリカ)スワード市・マディソン市、(中国)朝陽市との交流  
 東京帯広会・関西帯広会との交流  
 国際交流員や外国人講師による異文化紹介  
 森の交流館・十勝における国際交流イベントの実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 国内や国外の各都市との交流が活発でないから
- b. 国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから
- c. 参加したい異文化交流の機会が少ないから
- d. 異文化交流の機会を知らないから
- e. その他( )

問33.健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

新たな自主財源確保の検討  
市税等の収納率向上対策の実施  
市民向け台所事情の作成・公表  
民間委託等の推進、指定管理者制度の活用  
行財政改革の推進  
政策・施策評価の実施  
公共施設マネジメントの推進 など

※公共施設マネジメント  
老朽化が進んでいる公共施設やインフラを、長期的かつ計画的に、管理・活用するための仕組み。

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 市の財政状況に不安があるから
- b. 行政運営の効率化がすすんでいないから
- c. 事業の効果やコストが分からないから
- d. その他( )



問34.市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

接遇の向上や事務改善の推進  
市民相談の実施  
公共施設予約システム・電子申請システムの運用  
コミュニティセンターでの住民票などの発行  
パスポートの交付 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 職員の対応が適切でないから
- b. 市役所における各種事務手続きが分かりにくいから
- c. コミュニティセンターなどの窓口やインターネットでできる行政手続きが少ないから
- d. その他( )

#### 4. 【協働のまちづくり】について、お聞きします。

- ◆問35～42について、あなたの実感（イメージでもかまいません）に最も近い選択肢を1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆選択肢から矢印が伸びている場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問35. あなたは、協働によるまちづくりが重要と思いますか。

1	重要である
2	やや重要である
3	あまり重要でない
4	重要でない

「協働のまちづくり」とは

市民と市または市民同士などが、それぞれの役割と責任に基づいて、互いに尊重しながら協力し合い、より住み良い「まち」をつくるための取り組み。  
 （ボランティア活動、パブリックコメントでの意見提出、町内会活動など、多岐にわたる。）

問36. あなたは、協働によるまちづくり活動に参加したことがありますか。

1	ある
2	ない

まちづくり活動の例

子育てに関するボランティア活動  
 こどもや高齢者の見守り活動  
 学校PTA活動  
 趣味のサークルなどによる老人施設や学校などへの訪問活動、少年団などの活動のお手伝い  
 公園や道路などの清掃・美化の実施、花壇の整備 など

問37. 問36で、「ない」と答えた方にお聞きします。  
 あなたは、まちづくりの活動に参加してみたいと思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 活動に参加する手間や時間をかけられないから
- b. どのようにして活動に参加すればよいか分からないから
- c. 参加したい活動がないから
- d. 活動に参加しても何も変わらないと思うから
- e. 関心がないから
- f. その他( )

問38. あなたは、市の仕事や計画などに対して、意見を出したことがありますか。

1	ある
2	ない

意見提出の例

パブリックコメント  
 事業等の市民意見交換会  
 地区懇談会  
 アンケート調査  
 ホームページや電話、「市長への手紙」  
 各種審議会の委員になって意見を出す など

問39. 問38で、「ない」と答えた方にお聞きします。  
 あなたは、市の仕事や計画などに対して、意見を出してみたいと思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 意見を述べる手間や時間をかけられないから
- b. いつ・どのようにして意見を述べればよいか分からないから
- c. 意見を述べても何も変わらないと思うから
- d. 関心がないから
- e. その他( )

問40. あなたは、市からまちづくりや行政サービスに関する情報を得られていると思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市からの情報提供の例

広報おびひろ  
 ホームページ  
 ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)  
 メールマガジン  
 「くらしのガイド」の発行  
 「ふれあい市政講座」の実施  
 新聞、ケーブルテレビ、ラジオなど報道機関を通じた情報提供  
 地区懇談会、事業等の説明会の開催 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 必要な情報がどこにあるか探しにくいから
- b. 情報を得る機会や手段が少ないから
- c. 提供される情報量が少ないから
- d. 市から情報が提供される時期が悪いから
- e. 市から提供される情報が分かりにくいから
- f. その他( )

**問41. あなたは、市の予算や決算、総合計画の状況を知っていますか。**

1	知っている
2	少し知っている
3	あまり知らない
4	知らない

※総合計画  
まちの目指す姿やまちづくりの目標、その実現のために取り組む施策等を示した計画。

**市が取り組んでいる主な仕事**

「まちづくり通信(政策・施策評価報告書)」の発行  
「帯広市財政の状況」、「帯広市の台所事情」の発行  
広報おびひろや市のホームページへの掲載 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 知ることができる機会や手段が少ないから
- b. 提供される情報が分かりにくいから
- c. 提供される情報量が少ないから
- d. その他( )

**問42. あなたは、ご自身が暮らす町内会の活動に参加していますか。**

1	参加している
2	参加していない

**町内会の活動例**

自主防災活動、防災訓練、防犯パトロール  
資源リサイクル活動  
地域で協力した除排雪、  
公園や道路などの清掃美化活動、花壇の整備  
こども会活動 など

2を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 活動に参加する手間や時間をかけられないから
- b. 活動時間や活動内容などが分からないから
- c. 活動に参加する必要性を感じないから
- d. その他( )



## B 票

# 平成26年度 市民まちづくりアンケート

**1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。**  
問1～4について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

**問1 あなたの性別は？**

- A. 男      B. 女

**問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で記入してください。）**

- A. 20歳代   B. 30歳代   C. 40歳代   D. 50歳代   E. 60歳代   F. 70歳以上

**問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）**

- A. 会社員・店員    B. 商・工・サービス業等の自営業    C. 農・林・漁業    D. 公務員  
E. 自由業    F. 主婦    G. 学生    H. 無職・退職    I. その他（                      ）

**問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？**

- A. 1年未満    B. 1年～5年未満    C. 5年～10年未満    D. 10年～20年未満  
E. 20年以上

**2. 【住みごこち】について、お聞きします。**

問5～9について、あてはまるものに○をつけてください。

**問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）**

- A. 住みやすい    B. どちらかといえば住みやすい    C. どちらともいえない  
D. どちらかといえば住みにくい    E. 住みにくい

**問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）**

- A. 住み続けたい    B. できれば他の市町村に移りたい    C. どちらともいえない

  
問7へすすむ

  
問8、9へすすむ

  
問10へすすむ

**問7** 問6で「A.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。  
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 広々としているから      B. 自然に恵まれているから      C. 気候が好きだから
- D. 家族の都合で      E. 人情が厚く、親切だから      F. 親戚や知人が多いから
- G. 教育上の理由から      H. まちに魅力があるから      I. 仕事上の理由から
- J. 都市的な便利さがあるから      K. 生活費が安いから      L. わからない
- M. その他（

**問8** 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- A. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町）      B. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外）
- C. 札幌市      D. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）
- E. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県）      F. 中部圏（愛知県）
- G. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府）      H. 他県（
- I. その他（

**問9** 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 仕事上の理由から      B. 家族の都合から      C. 気候がきれいだから
- D. 住宅地が少ないから      E. 宅地価格が高いから      F. 教育上の理由から
- G. 生活費が高いから      H. まちに魅力が少ないから      I. 自然が少ないから
- J. 知人や親戚が少ないから      K. 人情が薄く、不親切だから
- L. 都市的な便利さが不足しているから      M. 公共サービスの質が低いから
- N. その他（

### 3. 【市民実感】について、お聞きします。

- ◆問10～34について、あなたの実感（イメージでもかまいません）に最も近い選択肢を1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

#### 問10.消火活動や救急活動が迅速に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

##### 市が取り組んでいる主な仕事

消火栓・防火水槽の整備  
 AED(自動体外式除細動器)の設置促進  
 応急手当普及講習の開催  
 災害弱者世帯への防火訪問  
 消防・救急車両の適正な整備・更新 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 消火や防火の取り組みが十分でないから
- b. 救急車や消防車の到着時間が遅いから
- c. 救急車による病院までの搬送がスムーズでないから
- d. 応急手当ができる市民が少ないから
- e. その他（ ）

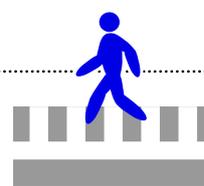


#### 問11.日常生活において、交通事故にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

##### 市が取り組んでいる主な仕事

交通安全教室の開催  
 交通安全街頭啓発  
 歩道の整備や段差の解消 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 交通ルールを守らない歩行者がいるから
- b. 車や自転車を運転する人のマナーが悪いから
- c. 危ない道路や交差点があるから
- d. その他（ ）

### 問12.各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

各種がん検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診の実施  
 託児付き検診(子宮がん・乳がん)の実施  
 健康相談などの保健指導の実施  
 麻しん・風しん・BCGなどの予防接種の実施  
 インフルエンザなどの任意の予防接種費用の助成 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 健康づくりに対する関心がないから
- b. 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから
- c. 予防接種が受けやすい環境が整っていないから
- d. 気軽に健康相談できる場所がないから
- e. その他 ( )

### 問13.地域の支え合いにより、安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

成年後見制度の利用支援  
 民生委員・児童委員の活動支援  
 ボランティアの養成・活動支援  
 地域福祉事業を担う社会福祉協議会の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 地域住民の互いに支え合う意識が低いから
- b. 不安や心配事を地域で相談できる場所がないから
- c. 福祉ボランティアの活動が活発でないから
- d. その他 ( )

### 問14.障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

#### 市が取り組んでいる主な仕事

「ノーマライゼーション」理念の推進  
 手話・要約筆記通訳者などの派遣  
 自動車改造・自動車運転免許取得への支援  
 訪問入浴など各種サービスの提供  
 障害者向けデイサービス事業の実施 など

※ノーマライゼーション

地域の中で、障害をもつ人もたない人も、お年寄りも若い人も区別なくともに笑い、ともに語り、ともに歩いていくことのできる社会を作ること



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 障害や障害のある人に対する理解が十分でないから
- b. 障害のある人を地域で支え合う意識が低いから
- c. 障害福祉サービスが十分でないから
- d. 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから
- e. その他 ( )

問15. 安心して子どもを育てることができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

妊婦・乳幼児健康診査の実施、訪問指導の実施  
 特定不妊治療費の助成  
 保育所や地域子育て支援センターでの育児相談の実施や遊び場の提供  
 保育所や児童保育センターでの保育の実施  
 幼稚園の教育環境の充実、保育料・入園料に対する支援  
 乳幼児等医療費・ひとり親家庭等医療費の助成  
 「子育てメール通信」の配信 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 利用したい保育サービスが受けられないから
- b. 子育てに関する情報が不足しているから
- c. 子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから
- d. 経済的な不安があるから
- e. その他 ( )



問16.安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

クリーン農業技術等の普及  
 農業生産基盤の整備促進  
 農業後継者・新規就農者の支援  
 地産地消の促進(イベントの開催、  
 地場農畜産物販売所マップの作成) など

※クリーン農業  
 堆肥などの有機物の施用や化学肥料の使用抑制などにより、環境に配慮した、安全・安心で、品質の高い農産物の生産をすすめる農業。

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りにくいから
- b. 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから
- c. 農業に関する具体的な取り組み内容が分からないから
- d. その他 ( )



問17.商店や商店街に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

商店街が行うにぎわい創出への支援(夏まつり、  
 イルミネーション等)  
 商店街が取り組む魅力づくりへの支援(空き店舗の解消等)  
 商店街のロードヒーティング設備の維持や防犯灯のLED化  
 などの環境整備に対する支援 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 商店の商品やサービスに魅力がないから
- b. 商店の建物の外観、内装や設備に魅力がないから
- c. 商店街の道路や歩道、街路灯などの整備が十分でないから
- d. 商店街のイベントに魅力がないから
- e. その他 ( )



問18.企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

企業間のコーディネート、資金貸付など企業の新製品開発への支援(抹茶オーレ、小豆オーレ等)  
 地場農産物の付加価値向上の促進(十勝産小麦を使用したパスタ、ラーメン等の開発)  
 大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出支援  
 農業者や企業などの人材交流、人材育成等促進 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから
- b. 地元の企業と大学の連携がすすんでいないから
- c. 新たに開発された地元製品のPRが不足しているから
- d. 具体的な取り組み内容が分からないから
- e. その他 ( )



問19.中心市街地に魅力とにぎわいがある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

歩行者天国・イルミネーションなどのにぎわい創出の支援  
 市民活動交流センターなど交流施設の管理運営  
 市営駐車場の管理運営  
 まちなか居住や開業などの相談対応  
 中心市街地のにぎわい創出の支援  
 駅北多目的広場の管理・イベントなどへの活用促進 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 魅力ある店舗が少ないから
- b. 中心市街地への交通の利便性が悪いから
- c. 各種イベントに魅力がないから
- d. その他 ( )



問20.自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

太陽光発電システム等の新エネルギー導入助成  
 自然環境の保全  
 公害の監視、立入検査や指導の実施  
 環境教育学習の推進  
 バイオディーゼル燃料の利用促進 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 環境保全に関する意識が低いから
- b. 公共施設における新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから
- c. 一般家庭への新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから
- d. 騒音や悪臭が気になるから
- e. 市内の良好な自然環境が守られていないから
- f. その他 ( )



問21.公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる

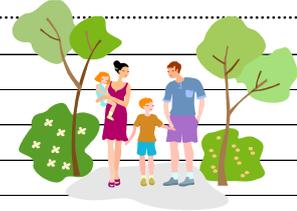
1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公園・緑地の整備  
 帯広の森の整備及び利活用  
 公園の維持管理、街路樹の剪定、植樹帯の草刈  
 フラワー通り整備事業、花壇コンクール事業の実施  
 街路樹の健全度調査(点検)  
 慶事記念樹贈呈事業の実施 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 身近なところに公園が少ないから
- b. 身近なところに緑が少ないから
- c. 公園の管理が十分に行われていないから
- d. 街路樹の管理が十分に行われていないから
- e. 緑化に関する意識が低いから
- f. その他 ( )



問22.生活廃水や雨水が適切に処理されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

污水管・合併浄化槽・雨水管の整備  
 帯広川下水終末処理場の改修  
 下水道接続の普及啓発 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 下水道が普及していないところがあるから
- b. 降雨時に浸水するところがあるから
- c. 災害時の不安があるから
- d. その他 ( )



問23.都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

まちづくりデザイン賞などによる景観意識の啓発  
 景観百選などホームページを利用した景観情報の発信  
 耕地防風林の整備支援 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 駅周辺の景観が損なわれているから
- b. 駅周辺以外の市街地の景観が損なわれているから
- c. 農村部・山林部の景観が損なわれているから
- d. 景観を見て楽しめる場所が少ないから
- e. その他 ( )



問24.幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

幹線道路・生活道路の整備  
 特殊舗装道路の改良、道路側溝の整備  
 自転車・歩行者道の利用環境の整備  
 道路除雪・凍結路面对策の実施  
 町内会を主体とする「パートナーシップ除排雪」の促進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 整備されていない道路があるから
- b. 道路が適切に維持管理されていないから
- c. 道路や歩道の除雪が十分でないから
- d. その他 ( )

問25.高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

情報通信基盤の整備促進  
 高齢者向けパソコン講座の開催 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 高速インターネットを利用できる環境が整っていないから
- b. パソコンやインターネットの使い方が分からないから
- c. 利用したい情報サービスが少ないから
- d. その他 ( )

問26.子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

学校施設の整備、改修・修繕  
 特別支援教育に関する助手・補助員・生活介助員の配置  
 子どもの見守り活動の推進  
 小中学校の適正配置  
 地元産食材を使った魅力ある学校給食の提供  
 就学援助費の支給 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 学校施設の改修等がすすんでいないから
- b. 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから
- c. 教育に関する情報が、保護者に十分に提供されていないから
- d. その他 ( )



問30.誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD）※によるまちづくりが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

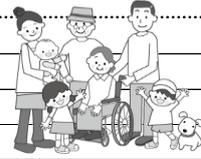
UD教室・講座の開催  
UDの考え方に基づいた道路や公園等、公共施設の整備  
UD住宅の建設・改造に対する助成 など

※ユニバーサルデザイン(UD)

年齢、性別、身体的能力、障害の有無、国籍など、人の持つ様々な違いに関わらず、はじめから、できる限り多くの人にとって利用しやすいように、まち・もの・環境などをつくること。手すりの設置や段差の解消など、社会の中の様々な障害を取り除く「バリアフリー」も含まれます。

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 道路や公園、市役所などの公共施設のUD化がすすんでいないから
- b. 住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから
- c. 市民一人ひとりの思いやりや支え合いの意識が低いから
- d. 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスの提供が行われていないから
- e. その他（ ）



問31.町内会やNPO※・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

町内会自治活動への助成  
町内会への加入促進  
「町内会活性化マニュアル」の配布などの意識啓発  
コミュニティセンターや福祉センター等の耐震化  
ボランティア・NPO活動の支援 など

※NPO

「Non Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、公益的・非営利活動を行なうことを目的とする団体の総称です。

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 町内会への加入者が減少しているから
- b. 地域活動の担い手が少ないから
- c. コミュニティ施設が利用しにくいから
- d. 気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから
- e. その他（ ）



問32.市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

広報紙やホームページ、フェイスブック、ツイッターなどでの行政情報の発信  
市長への手紙や地区懇談会の実施  
計画策定等におけるパブリックコメントの実施  
審議会委員等への女性・若者の登用や一般公募の推進  
市民からの提案事業の支援やまちづくりワークショップの開催 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 行政情報が分かりやすく提供されていないから
- b. 市民がまちづくりに意見を言う機会がないから
- c. 市民意見がまちづくりに反映されていないから
- d. 市民のまちづくり活動への支援が十分でないから
- e. 議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから
- f. その他（ ）



問33.十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている

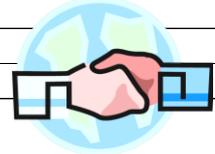
1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

管内町村と連携した十勝圏の振興  
 (フードバレーとかちの推進、管内町村と連携した救急医療等への支援、図書館の広域利用 等)  
 管内町村と共同による事業の実施  
 (高等看護学院の運営、ゴミやし尿の処理施設の運営 等)  
 管内町村や道内各都市と連携した国や北海道への要望活動  
 道内観光地との連携(ルートづくり 等) など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 十勝管内町村と連携した事業が少ないから
- b. 十勝管内町村と連携した事業がよく分からないから
- c. 道内各都市と連携・交流している事例がよく分からないから
- d. その他 (



問34.市民に信頼される行政事務が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公有財産の管理  
 公文書などの管理  
 個人情報保護制度の推進  
 監査等の実施 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 事務処理が適切に行われていないから
- b. 公共施設の管理が適切に行われていないから
- c. 個人情報の保護が十分でないから
- d. その他 ( )



#### 4. 【協働のまちづくり】について、お聞きします。

- ◆問35～42について、あなたの実感（イメージでもかまいません）に最も近い選択肢を1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆選択肢から矢印が伸びている場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問35. あなたは、協働によるまちづくりが重要と思いますか。

1	重要である
2	やや重要である
3	あまり重要でない
4	重要でない

「協働のまちづくり」とは

市民と市または市民同士などが、それぞれの役割と責任に基づいて、互いに尊重しながら協力し合い、より住み良い「まち」をつくるための取り組み。  
（ボランティア活動、パブリックコメントでの意見提出、町内会活動など、多岐にわたる。）

問36. あなたは、協働によるまちづくり活動に参加したことがありますか。

1	ある
2	ない

まちづくり活動の例

子育てに関するボランティア活動  
こどもや高齢者の見守り活動  
学校PTA活動  
趣味のサークルなどによる老人施設や学校などへの訪問活動、少年団などの活動のお手伝い  
公園や道路などの清掃・美化の実施、花壇の整備 など

問37. 問36で、「ない」と答えた方にお聞きします。  
あなたは、まちづくりの活動に参加してみたいと思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 活動に参加する手間や時間をかけられないから
- b. どのようにして活動に参加すればよいか分からないから
- c. 参加したい活動がないから
- d. 活動に参加しても何も変わらないと思うから
- e. 関心がないから
- f. その他( )

問38. あなたは、市の仕事や計画などに対して、意見を出したことがありますか。

1	ある
2	ない

意見提出の例

パブリックコメント  
 事業等の市民意見交換会  
 地区懇談会  
 アンケート調査  
 ホームページや電話、「市長への手紙」  
 各種審議会の委員になって意見を出す など

問39. 問38で、「ない」と答えた方にお聞きします。  
 あなたは、市の仕事や計画などに対して、意見を出してみたいと思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 意見を述べる手間や時間をかけられないから
- b. いつ・どのようにして意見を述べればよいか分からないから
- c. 意見を述べても何も変わらないと思うから
- d. 関心がないから
- e. その他( )

問40. あなたは、市からまちづくりや行政サービスに関する情報を得られていると思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市からの情報提供の例

広報おびひろ  
 ホームページ  
 ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)  
 メールマガジン  
 「くらしのガイド」の発行  
 「ふれあい市政講座」の実施  
 新聞、ケーブルテレビ、ラジオなど報道機関を通じた情報提供  
 地区懇談会、事業等の説明会の開催 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 必要な情報がどこにあるか探しにくいから
- b. 情報を得る機会や手段が少ないから
- c. 提供される情報量が少ないから
- d. 市から情報が提供される時期が悪いから
- e. 市から提供される情報が分かりにくいから
- f. その他( )

**問41. あなたは、市の予算や決算、総合計画の状況を知っていますか。**

1	知っている
2	少し知っている
3	あまり知らない
4	知らない

※総合計画  
まちの目指す姿やまちづくりの目標、その実現のために取り組む施策等を示した計画。

**市が取り組んでいる主な仕事**

「まちづくり通信(政策・施策評価報告書)」の発行  
「帯広市財政の状況」、「帯広市の台所事情」の発行  
広報おびひろや市のホームページへの掲載 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 知ることができる機会や手段が少ないから
- b. 提供される情報が分かりにくいから
- c. 提供される情報量が少ないから
- d. その他( )

**問42. あなたは、ご自身が暮らす町内会の活動に参加していますか。**

1	参加している
2	参加していない

**町内会の活動例**

自主防災活動、防災訓練、防犯パトロール  
資源リサイクル活動  
地域で協力した除排雪、  
公園や道路などの清掃美化活動、花壇の整備  
こども会活動 など

2を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 活動に参加する手間や時間をかけられないから
- b. 活動時間や活動内容などが分からないから
- c. 活動に参加する必要性を感じないから
- d. その他( )





平成27年度市民まちづくりアンケート  
(集計結果)



平成27年8月

帯 広 市

政策推進部 企画課

〒 080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4105

FAX 0155-23-0151

E-Mail [plan@city.obihiro.hokkaido.jp](mailto:plan@city.obihiro.hokkaido.jp)